

創立30周年記念誌



波 濤

第60号

放送大学神奈川同窓会



会報『波濤』の名称は第 2 号から使用され、当時は上記のとおりでした。
第 2 号に次のような記事があります。

会報の名称『波濤』に決まる！

創刊号で募集しました会報のネーミングですが、九候補の中から「波濤」に決定いたしました。

波濤とは、大波、大洋の意味です。学習センターのある横浜から連想される海を表すと同時に波は電波の波でもあります。電波を抛り所に集まった私たち一人一人の小さな存在が、日本に生涯学習という新しいうねり、つまり大きな波を創ってきたのではないのでしょうか。そして卒業した今、更に何かしらの波濤を起こすことができたら・・・という思いも込められています。

出 典：『波濤』第 2 号 4 ページより
発行日：平成 3 年（1991 年）7 月 30 日

放送大学学歌

作詞・・那珂太郎

作曲・・柴田南雄

(一)

あまたの星々のなかの この地球にあって
われらはまなぶ 世界を 自分を
われら どこから来て どこにゐるのか
生きるとはまなぶこと まなぶのはたのしみ
知は光 みどりの未来を 展(ひら)くため
いつでも どこでも

見えない友と 共に生き 共にまなぶ
開かれた大学 放送大学

(二)

はるかな永劫のなかの この時代にあつて
われらは知らう 社会を 自然を
われら どこから来て どこへ行くのか
生きるとは知ること 知ることほよろこび
知は力 よりよい生(いのち)を拓(ひら)くため
朝(あした)に 夕(ゆうべ)に
親しい友と 語り合ひ 共にまなぶ
開かれた大学 放送大学



目 次

| 内 容 | 執 筆 者 | 頁 |
|-------------------------------------|-------------------|----|
| 『波濤』命名の由来 | | 1 |
| 放送大学学歌 | | 2 |
| 目次 | | 3 |
| 放送大学神奈川同窓会創立 30 周年に寄せて | | |
| 「ともに生きることを学ぶ」 | 神奈川同窓会会長 金田保男 | 4 |
| 新しい同窓会活動を目指して | 神奈川同窓会前会長 佐栞慎二 | 5 |
| 神奈川同窓会創立 30 周年によせて | 神奈川学習センター所長 福富洋志 | 6 |
| 神奈川同窓会創立 30 周年記念にあたって | 神奈川学習センター事務長 藤井明宏 | 7 |
| 神奈川同窓会創立 30 周年記念に寄せて | 神奈川学習センター元所長 濱田嘉昭 | 7 |
| 神奈川同窓会創立 30 周年に寄せて | 神奈川学習センター元所長 池田龍彦 | 8 |
| コロナ禍後の同窓会活動 | 同窓会連合会会長 北野敏夫 | 8 |
| 創立 30 周年記念品贈呈式開催 | 佐藤 敬 | 9 |
| 会員投稿 | | |
| コロナ禍 2020 放送大学と神奈川同窓会の対応 | 高橋照夫 | 10 |
| 創立 30 周年特別企画 会員からの一言メッセージ | 会員 | 11 |
| 会員特別寄稿 木村勝紀さんを偲んで | 永井藤樹 | 25 |
| 20 周年後の活動報告 | | |
| フェスタ・ヨコハマにおける活動 | 植地勢作 | 26 |
| 卒業・修了祝賀茶話会 | 浅井公子 | 28 |
| 春・秋の行事 | 勝山悌治 | 29 |
| 社会貢献活動 (プラン) | 石橋正彦 | 31 |
| 社会貢献活動 (あしなが育英会) | 村田カズ子 | 32 |
| 会内同好会 映画研究同好会 | 寺村紀美夫 | 33 |
| 会内同好会 茶道同好会 | 渡邊久江 | 34 |
| 会内同好会 太極拳クラブ | 澤村雅嗣 | 34 |
| ホームページとメーリングリスト | 筥崎博之 | 35 |
| 思い出のスナップ写真 | 金田・佐藤 | 36 |
| 60 号定期会報記事 | | |
| 2020 年 9 月学位記授与式 | 金田保男 | 40 |
| 卒業生の言葉 道半ば・・・まだまだです | 小笠原郁恵 | 40 |
| 卒業生の言葉 これからの生き方を求めて | 山田悦子 | 41 |
| 卒業生ショートメッセージ | 新会員 | 41 |
| 「ミニサロン」開催のお知らせ・2020 年神奈川の秋 | 佐藤 敬 | 42 |
| 事務局だより | 金田保男 | 42 |
| 資料編 | | |
| 神奈川同窓会 30 年の歩み (1990 年～2020 年) | 金田保男 | 43 |
| 20 周年後の歴代役員一覧 (2011 年～2020 年) | 金田保男 | 52 |
| 20 周年後の『波濤』の歴史 (2011 年～2020 年) | 佐藤 敬 | 54 |
| 歴代波濤編集責任者一覧 (1990 年～2021 年) | 小田妙子 | 59 |
| 弘明寺サロン開催の歴史 (2011 年～2019 年) | 高橋照夫 | 60 |
| 神奈川同窓会会員数の推移 (1990 年～2020 年) | 金田保男 | 63 |
| 神奈川学習センター入学生の推移 (1985 年～2019 年) | 金田保男 | 64 |
| 神奈川学習センター卒業・修了生数の推移 (1988 年～2019 年) | 金田保男 | 65 |
| 編集後記・発行記録 | 佐藤 敬 | 66 |

～Learning to live together
「ともに生きることを学ぶ」～



神奈川同窓会会長 金田保男

この度、神奈川同窓会創立 30 年を迎えることができ大きな喜びであります。記念にあたり感謝の意を込めて学習センターに「絵画」を寄贈することとし、佐

前会長の伝手により心休まる絵画を贈ることが出来ました。皆様、学習センターに来所のおりご覧ください。1990 年 10 月放送大学同窓会神奈川学習センター支部設立から今日に至る 30 年を導いて下さった歴代会長、役員、会員の皆様、同窓会を支えて下さった同窓会連合会、神奈川学習センター歴代所長および教職員の皆様に改めてお礼申し上げます。また今回『波濤』60 号(記念誌) 発刊にあたり「新型コロナウイルス」感染症 (COVID-19) の流行により十分な会話が困難な状況の中、黙々と編集作業に取り組んで下さった皆様に深く感謝申し上げます。

[30 年を顧みて]

2010(平成 22)年 神奈川同窓会 20 周年『波濤』40 号(記念誌) 発刊時、神奈川学習センター渡邊慎介所長より「困難を乗り越えるという点で、日本一になれ!」とエールを頂きました。試練は凶らずも直ぐに訪れ、2011 年 3 月所謂「東日本大震災」により「地震・津波・原子力発電所の事故」という 3 重苦に立ち向かわなければなりません。この時は放送大学総力を挙げ支援活動を行いました。その後は諸先輩が築いてくれた諸活動は花開き、安定して楽しく素晴らしい 10 年となりました。

そして 2 回目の困難は、今回 2020 (令和 2)年の「新型コロナウイルス感染症」の世界的大流行です。感染予防の為、学習センター施設は利用不能となり目に見えない敵との対峙です。創立 30 周年記念に向け 2 年前から諸準備を進めてきましたが、通常総会も記念行事も足踏み状態を続けざるを得ませんでした。

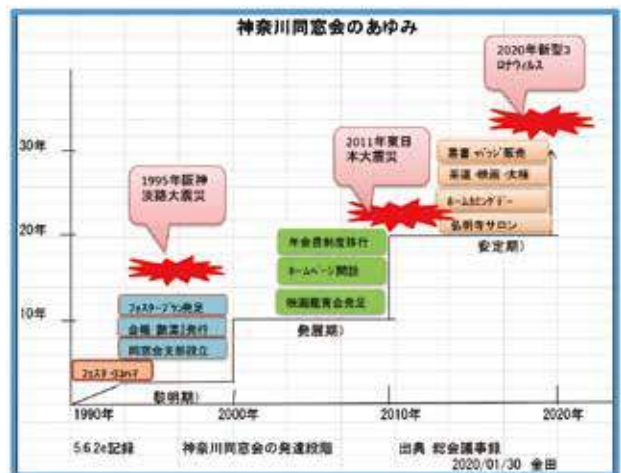
新型感染症は人が大勢集まること自体難しく ICT 利用による対話が増え、生活習慣も変化するものと思われま

[人とともに生きることを学ぶ]

自然災害も感染症も、個人でできる対策には限界があります。人とともに生きることを学ぶためには、自分のことをよく知ると同時に他者のことも学ばなければなりません。一人だけの個人学習ではなく、集団としての共同学習の重要性が考えられて久しい。

ロバート・パットナム (Putnum, R) のベストセラー『孤独なボウリングー米国コミュニティの崩壊と再生』は、米国社会が地域の共同体意識を低下させる方向に向かっていると論じています。通勤に長時間を費やし、テレビを孤独に見る時間が増えるに従い、共同体のグループやボランティア組織への参加が減り、近所付き合いや友人、家族との交流時間も減少していく。多くの米国人が楽しむスポーツ、ボウリングを観察した。その利用人口は必ずしも減少していないがその形態が変わり、孤独にボウリングする人々が増えてきたというのである。この現象から彼は、共にボウリングする共同体のつながりが減少し、ソーシャルキャピタルが失われつつあると主張しています。

コロナ禍以降の日本の現状によく似ていると思いませんか? 私たちが友人や家族と過ごすことによって得られる楽しみが、私たちのストレスを退治したり、抵抗力を刺激するような身体的リアクションを引き起こしたりするのではないのでしょうか。「孤独に生きる」のではなく、「ともに (人とともに) 生きる」を学んで参りましょう。



コロナ危機を乗り越えた 新しい同窓会活動を目指して

神奈川同窓会前会長 佐栞慎二



放送大学神奈川同窓会創立
30 周年おめでとうございます。
神奈川同窓会は会員 600 人を
擁して、多様で充実した活動
を展開し、全国の放送大学同
窓会の中でも有数の存在と

なっています。このような素晴らしい発展にご協力・ご支援いただいた会員の皆様と、ご尽力いただいた歴代の役員の方々に厚くお礼申し上げます。

放送大学同窓会は、1989 年に放送大学が最初に卒業生を送り出した翌年の 1990 年に設立され、神奈川支部も同年に設置されました。振り返ってみますと 1990 年は、日本経済のバブルが崩壊してそれまでの成長神話が終わった年でした。またその後 1995 年に阪神淡路、2011 年に東日本と大震災が相次いで発生し、経済も社会もさらに大きな打撃を受けました。世界的にも急速なグローバル化や環境問題が深刻化し、2008 年にはリーマンショックが発生し、冷戦終結後の安定した時代の終わりを感じる時代に入りました。

この間放送大学は 118,000 人の卒業生・修了生を送り出し、学生数は一時 100,000 人まで増加しましたが現在 86,000 人となっています。同窓会も全国に 51 か所設立され、会員数は 12,000 人と大きく成長してきました。バブル崩壊後の大きなパラダイムシフトの中にあって、我々は冷静で的確な判断に基づいた行動を取ることを求められましたが、放送大学での豊富なカリキュラムと錚錚たる先生方のご指導による幅広い学習は大きな支えになりました。また放送大学では多様で豊富な人生経験と知見を持つ多くの仲間を得ることができました。同窓会はこのような仲間と切磋琢磨しながら会員同志の親睦や研究発表会や研修会、地域貢献活動を行い、さらに大学の運営に協力・支援をしながら大学とともに発展してまいりました。私も 13 年前の会社の退職を契機に放送大学に入学し、卒業した後も学生を続けながら同窓会に所

属しています。この間同窓会会長や連合会会長を務めましたが、学ぶことの喜びと友人達との強い絆を得られことで、放送大学への感謝の気持ちで一杯です。

ただ近年の急速な少子高齢化や高学歴化の進展、価値観の多様化などを受けて、放送大学の学生数は最近頭打ち傾向となっています。そのため大学はオンライン授業の推進や 2 チャンネル化による学び直しの機会の拡充などの新たな試みを展開しています。ところがこのような環境の中で、現在我々は新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の危機に直面しています。人間はパンデミックとの戦いの歴史を繰り返してきましたが、グローバル化が急速に進む中で、今回は感染のスピードと世界的な拡大は桁違いに大きくなっています。放送大学は昨年 3 月の学位記授与式の中止や、学習センターの閉鎖、面接授業の閉講、単位認定試験の郵送への切り替えなどの緊急対応を行いました。

神奈川同窓会も卒業・終了祝賀会の中止や定時総会の延期と書面総会への切り替え、Zoom を使った役員会の Web 化などをいち早く実施しました。しかし会員との貴重な対面交流の機会である講演会や研修会などが実施できなくなりました。今後有効なワクチンや治療薬が開発され、この混乱状態が収束するまでは、我々は放送大学で得られた合理的な判断力と仲間との強い絆を十分に生かしてコロナ禍に賢く対応することが必要です。

幸い神奈川同窓会には会報『波濤』や波濤ネット、HP 等の情報交換手段が整えられています。まずはこれらへの参加者の増大と活用の拡大を推進して会員間のコミュニケーションを図ることが大切です。合わせて Zoom システムなどを利用して、画面を通じた交流機会の場を構築する必要があると思います。ウィズ・コロナの対策としてのリモート化やデジタル化の促進は同窓会にとっても避けて通れません。これまで常に全国同窓会の先駆者として活動してきた神奈川同窓会が、コロナ禍の中でも新しい活動にチャレンジし、会員の期待に応えながら新しい時代を切り開き、更に大きく発展することを期待いたします。

放送大学神奈川同窓会 創立30周年によせて

神奈川学習センター所長 福富洋志



放送大学神奈川同窓会創立 30 周年、誠にありがとうございます。お祝いを申し上げますとともに、神奈川学習センターの運営に対する同窓会の皆様の平素より

のご支援、ご協力に改めて御礼を申し上げます。

放送大学が群馬、埼玉、千葉、東京第一、東京第二そして神奈川の計 6 センターで初めて学生を受け入れたのは 1985 年、35 年前になります。以来、神奈川学習センターは着実に歩みを進め、学習センターが全国で 50 に達した今も、所属学生数は東京文京学習センター、東京渋谷学習センターに次いで 3 番目、大学院修士課程の入学者も多く、2014 年に設置された大学院博士後期課程の初めての修了生 4 名のうちの一人も神奈川学習センター所属学生です。

放送大学に入学される皆様の目的は様々ですが、このような、学問や知識の習得への強い意欲をお持ちの学生が多いのは、卒業生の皆様が創ってこられた伝統であり、同窓会の皆様の 30 年にわたる活動の賜物であると思います。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために今年度は見送りましたが、例年同窓会との共催で開催している卒業生の集いの場で卒業生お一人お一人からお話をいただくと、いろいろな困難を乗り越えて卒業を達成された喜びだけでなく、次の学びへの意欲を語る方が多く、毎回、大変うれしく感じてきました。

本学習センターが創設された当時、私は西ドイツのハンブルグにある工科大学でアレキサンダー・フォン・フンボルト財団の奨学研究員として材料開発の研究に従事していました。日本の大学に大学院修士 3 人、学部 4 年生 4 人の学生を残していましたので、修士論文研究も卒業

研究も、代行をお願いした先生と郵便でやりとりしながら指導をしました。国際電話はありましたが、5 マルク（約 400 円）で約 1 分つながら高額料金でしたから頻繁に使うことはできず、本当に歯がゆい思いを致しました。

これが 30 年の間に激変しました。今や e-mail はあたり前のツールになり、インターネット環境があれば音声も画像も簡単にやりとりできるようになりました。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染防止策としてテレワークが普及し、オンライン授業が通信制、通学生を問わずすべての大学で行われました。会議も双方向性の高いオンライン会議が普通になり、海外からの学生指導には時差が最大の問題になりました。

放送大学の講義も、数年前に地上波デジタル放送から BS デジタル放送とインターネットによる授業に変わり、科目登録、最近では臨時的措置ではありますが、単位認定試験の問題配布もインターネットで行われました。しかし、これに伴い、新たな問題が生まれました。

デジタル機器の発展の成果を活用しながら育ってきた方が急速に増えている一方、インターネットの普及に追いつけなかった方が少なからずいらっしゃいます。この方々にとっては、利便性の高い IT 化の進展が逆に学習の困難さを生みつつあるという問題、いわゆるデジタルデバイドとよばれる問題です。高等教育のセイフティネットを標榜している放送大学にとって、解決が急がれる課題であると考えています。

神奈川学習センターは、ご自宅にインターネットを利用できる環境がない方であっても、学習センターのパソコンを自分の力で放送大学での学びに活用できる最小限の力を身につけていただく、この方策を模索したいと思っています。このためには、放送大学での学びをよくご存じの同窓会をはじめとする皆様のお力をぜひいただきたいと思っています。次の 30 年を新たな発展の 30 年にするために、どうぞ今後ともよろしく願い申し上げます。

放送大学神奈川同窓会 創立 30 周年記念にあたって

神奈川学習センター事務長 藤井明宏



放送大学神奈川同窓会が創立 30 周年を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。

これまで、神奈川学習センターの発展に寄与された歴代の所長をはじめ、教職員の方々、そして、創立 30 周年を迎えられました神奈川同窓会の皆さまのご協力に対し、心から感謝申し上げます。

神奈川学習センターは昭和 59 年 4 月に横浜国立大学旧工学部図書館会議室に仮事務所が設置され、昭和 60 年 4 月から学生の受け入れを開始しました。同時期に事務体制も整備され、事務長、事務スタッフは横浜国立大学の協力を得て、スタートしました。歴代事務長は、現在の私で 13 代目となります。現在も事務長、事務スタッフは横浜国立大学からの出向や経験者が中心となっています。

2020 年はコロナ禍により、4 月の緊急事態宣言後、学習センターの一時閉所及び業務の縮小に伴い、職員の勤務体制も在宅勤務、時短勤務等今までにない事態を経験しました。このことによりネットワーク、インフラ等の整備課題もわかってきています。また開所後の新型コロナウイルス感染防止のため、センター利用者の検温、手指消毒、使用後の消毒等の作業も課題になっています。

学習センター施設の利用は制限付きながら徐々に利用を開始し、感染防止のため、様々な対策を講じていますが、来所される学生の方自ら感染防止対策をしていただくことが必要です。

本来であれば、神奈川同窓会創立 30 周年を祝う年でしたが、世の中がイベント中止・延期に追い込まれている状況を鑑みれば、学習センターで記念式典を行うことが叶わず、大変残念に思います。しばらくは新型コロナ感染症とは付き合っていかなければなりません。同窓会の皆様と一体となって、神奈川学習センターの運営をしていきたいと考えています。創立 30 周年という大きな節目を機に、神奈川同窓会が更なる発展を遂げられることを祈念し、結びのことばとします。

放送大学神奈川同窓会 創立 30 周年記念に寄せて

神奈川学習センター元所長 濱田嘉昭



神奈川同窓会は、「誇りを絆に結ぶ」、「母校意識を結ぶ」、「社会貢献で結ぶ」という高い理念の基に活動されています。実際には「弘明寺サロン」でレベルの高い話題を提供し、「映画鑑賞」では映像文化を共有し、「フォスタープラン」(現在は略称「プラン」)で国際貢献を、「あしなが育英会」では国内の子どもの支援をされています。

フェスタ・ヨコハマでは「抹茶立て」や「ホームカミングデー」で出会いの場を広げています。そして、これらの活動はネット上の独自のホームページで発信され、横浜の海の波に負けない(電波もかけた)うねりを表す『波濤』という会報で会員以外にも、現役の学生の皆さんとの絆を結んでおられます。冒頭の 3 つの理念を見事に実現しているわけです。そして何よりも、すべての同窓会会員が積極的に活動されているところが、神奈川同窓会の誇りと伺っています。

同窓会の英語名の語源はラテン語(男性形は alumnus)で、その意味は「養子、門弟」ということになっています。そしてその元となる動詞は“alō”で「養成する、強める、促進する」という意味が含まれています。大学で学んだ(養成された)ことを活かして、その学問の目的をさらに強化するという意味が含まれているように思います。神奈川同窓会はその原義を実現しているということができないのでしょうか。

神奈川学習センターでは、同窓会のほかに、サークル協議会のもとに多くのサークルが活動され、また、所長および事務室の支援と協力のもとに「K サポート」という、学生自身による「チーム制サポーター」が活動されています。それぞれのメンバーは複数の組織に属して互いに顔見知り、仲間たちです。互いに打てば響き合う仲間です。「出あい、触れあい、学びあい」、「メダカの学校」などのスローガンを共有する皆さんが、現状の成功を寿ぎ合うと同時に、さらなる高みを目指して発展されることを祈っています。

神奈川同窓会創立30周年に寄せて

神奈川学習センター元所長 池田龍彦



30 周年おめでとうございます。所長に就任した 2013 年 4 月から 4 年間にわたり同窓会のみなさんと充実した時を過ごしました。濱田嘉昭先生の所長時代にできた

K- サポートが、学習センターと協力して活発な活動を展開していました。これに神奈川同窓会とサークル協議会が混然一体とした形で協働して、学習センター・在学生・卒業生が多様な活動を行い、特に社会経験豊富な卒業生・修了生が集う同窓会は頼もしい存在でした。面接授業は別として、普段は放送とインターネットを通しての一人での学習が主体の放送大学では、学生間の交流を促進する活動は大切です。

同窓会のみなさんから多くのアイデアをいただき、学習センターの活動の幅を拓けました。ボランティア学生が集い、パソコン技術を持たない学生を支援するための、地道なパソコンサポート活動が続いています。また、「若者集まれ」プロジェクトを通して、若手の学生同士で少しずつコンタクトが取れるようになりました。このように学生の交流を通して、ひとり一人の学生が放送大学ライフを充実して行く姿は、放送大学ならではの姿だと思います。

新型コロナウイルスの出現によりこれから暫くは、学生同士が「密」になって交流する時代から「三密を回避する」方式で交流するよう変化すると思います。否が応でもデジタル化が単位認定試験や授業においても進みます。サイバーセキュリティを理解し、パソコンやスマホで最低限 Web サイトにつなげる技術を学生みんなが持つ必要があります。更に、最近では若者の入学が増えています。同窓会のみなさんが、パソコン・Web ができない仲間を助けたり、若者を巻き込んで活動するなど、更に工夫を凝らして活動を盛り上げて行くことを期待します。

神奈川同窓会のますますのご発展をお祈りします。

コロナ禍後の同窓会活動

同窓会連合会会長 北野敏夫



神奈川同窓会が、平成 2 年（1990 年）にスタートし、30 周年を迎えられたことに心よりお祝い申し上げます。また、同窓会設立から今まで発展に尽力された関係

者の皆様に敬意を表したいと思います。

さて、神奈川同窓会が、めでたく 30 周年を迎えられましたが、新型コロナウイルスが猛威を振るい、未曾有の経験をする年となりました。このコロナ禍により社会が大きく停滞し、日常生活にも影響がでています。全国の同窓会の活動も、卒業祝賀会や学園祭など同窓会の主要な事業の中止が相次いでいます。

この混乱はいずれ収束しますが、その際社会のあらゆる面において、大きな変革が起き、特に教育分野に関しては、大きな転換点になっています。私達同窓会は、この危機を未来に大きくステップアップする機会と捉え、大胆な改革に取り組む必要があります。

未来を見据えた改革の方法として、Web を大胆に取り入れることが重要かと考えます。Web の利用については、神奈川同窓会においては、既に同窓会内の諸活動に利用されているとのこと。Web 利用の流れはコロナ禍が収束した後も、後戻りすることなく利用されることになると思います。さらに、全国の同窓会同士の交流等、工夫次第で今までにない多様な使い方が期待できます。Web の普及には、学習センターと同窓会が一体となり進める必要があります。神奈川同窓会におかれては、この流れの先頭に立ち、Web 利用のモデル同窓会になり全国の同窓会を先導することを期待しています。同窓会連合会として、その活動をサポートしていきたいと思っています。

最後に、神奈川同窓会の皆様方が、未来に夢と希望を持ち、健康で活動的な日々を過ごされることを願っております。

放送大学神奈川同窓会 創立 30 周年記念品贈呈式開催

佐藤 敬

放送大学神奈川同窓会は 2020 年創立 30 周年を迎え、神奈川学習センターに記念品を贈呈するため記念式典の中で行う予定でしたが、記念式典が新型コロナウイルス感染防止のために中止となってしまいました。

そのため、12 月に記念品贈呈式として少人数で行うこととなり、12 月 11 日（金）、第 8 講義室の入り口付近に設置された記念品の絵画の前で行われました。神奈川学習センターからは、福富所長、藤井事務長、下田様のご出席をいただき、神奈川同窓会から金田会長、佐藤前会長他 5 名が参加し、10 名で行われました。

式は高橋副会長の司会で進められ、まず金田会長の開会挨拶があり、続いて佐藤前会長より神奈川学習センターへの記念品の目録が福富所長に贈呈されました。所長からはお礼の挨拶をいただき、さらに神奈川同窓会への感謝状が金田会長に贈呈されました。その後、記念品の絵画の前で参加者の記念写真を撮影し贈呈式は滞りなく終了しました。

記念品の絵画は、佐藤前会長の出身高校（岡山県立津山高校）の先輩で、90 歳になられた一陽会会員・審査員の豊岡知世枝画伯より進呈していただきました。画題は「園庭秋色」で、120 号（額装横 2000mm、縦 1380mm）の大きな作品で大変迫力のあるすばらしい油絵です。皆様にも早く見ていただけるようになればと願っております。

このコロナ禍のなか、神奈川学習センターの福富所長をはじめ、教職員の方々には大変ご協力をいただき、無事記念品贈呈式が開催できましたことに感謝しております。



記念品の絵画（園庭秋色）



金田会長の開会挨拶



福富所長から神奈川同窓会に感謝状贈呈



佐藤前会長から神奈川学習センターに記念品目録贈呈



参加者の集合写真

コロナ禍2020 放送大学と神奈川同窓会の対応



高橋照夫

武漢を起点とするコロナ禍は世界規模に拡大する大災害となりました。わが国では中国の訪日旅行者からの感染で幕を開けました。

大学本部と神奈川学習センターの対応、それに基づく神奈川同窓会の対応を整理してみました。

放送大学および学習センターの対応

- 2月20日、大学本部は3月20日の学位記授与式の中止、併せて同窓会連合会と大学本部共催の卒業・修了祝賀パーティも中止を決定しました。
- 2月28日、文部科学省、都道府県教育委員会は管轄する小・中・高校に対し、一斉臨時休校を要請。この休校要請を鑑みて、大学本部ではその対応について検討しました。
- 3月27日、4月18日から5月2日までの面接授業の閉講を決定しました。
- 4月7日、政府は緊急事態宣言を発令、各都道府県知事に具体的な計画の推進を指示。各学習センターでは同日から5月6日の間、センターの入館禁止と窓口における受付業務の時間制限を実施しました。
- 4月27日、1学期の面接授業の全面中止と単位認定試験の通信方式への変更を決定しました。
- 6月2日、神奈川学習センター後援のフェスタ・ヨコハマ（学園祭）の中止を決定しました。
- 8月20日、神奈川学習センターの1学期卒業生の集い（学位記授与式）の中止を決定しました。
- 8月22日、2学期の単位認定試験も通信方式での実施を決定しました。

第1波が収まりかけ、5月7日の緊急事態宣言の終了で自粛対応が緩んだ8月、東京を起点とする首都圏、近畿圏、中京圏、北九州圏の大都市圏に拡大が始まり、特に南関東地区の学習センターは施設利用規制が継続されました。

神奈川同窓会の対応

このような状況下、神奈川同窓会はコロナ禍による諸問題に次のように対応しました。

- 神奈川同窓会創立30周年記念事業関連
神奈川同窓会にとって2020年度は創立30周年の大きな節目の年でした。ほぼ1年前から

定例総会に30周年記念式典を織り込んだ記念総会として開催すべく、30周年記念事業委員会を、またその中核事業となる30周年記念誌編集委員会を設置して準備を進めてきました。

施設使用の禁止により、総会の開催が不可能になったため書面総会としました。30周年記念式典も中止となり、神奈川学習センターへの記念品の贈呈は12月11日に少人数で記念品贈呈式として開催されました。『波濤』60号（記念誌）は2021年2月発行の予定です。

● 初の書面総会

学習センターの施設使用の禁止により議案書をホームページに公開し、全会員にハガキで経緯の説明、ホームページに議案書の掲載を告知しました。

役員改選の承認が総会議決事項のため、書面総会の実施を決定し、開催時期がずれ込んだため、予算案は実情に合わせ修正予算に組み替え、資料と議案賛否の回答用ハガキを郵送しました。

議決は7月7日締め切りで回答をいただき、会員587名中304名（回答者305名）の承認を得、新体制のスタートを切りました。

● 各事業・行事の中止

当初の活動計画のうち、会報『波濤』59号の発刊以外は春の行事、映画上映会、弘明寺サロン等実施できておりません。茶道同好会も例会を中止、また国内社会貢献活動の一環である放送大学叢書販売の実施、ホームカミングデーの開催もできませんでした。

● Web会議の活用

学習センターの使用制限と「三密」の回避から定例の会議は開催が不可となりましたが、直ちにZoomを活用したWeb会議を採用しました。役員、准役員のほぼ全員が対応可能でスムーズに移行できました。また、波濤編集委員会、30周年記念誌編集委員会もWeb会議を採用しました。

ウィズ・コロナに向けて

今しばらくはウィズ・コロナ（コロナウイルスとの共存）の状態が続きそうです。

コロナ禍は社会全般にテレワーク、オンライン授業、ソーシャルディスタンスなど大きな変革をもたらしました。

同窓会活動もまたもこの新しい潮流に対応を求められています。Webを活用した交流機会の構築、リモート化、デジタル化の推進など課題も多々あります。積極的な行動で、さらなる発展を目指しましょう。

創立30周年特別企画

会員からの一言メッセージ

◆青井泰子 横浜市旭区：神奈川同窓会創立 30 周年おめでとうございます。2019 年 3 月に修士課程を修了し、研究テーマの生涯学習と市民活動の関わりについて少しずつですが実践と結びつけて活動を継続しています。よき指導者（学部在学中も含め）、よき学友に恵まれて学生生活を過ごせたことは大きな喜びです。これからの同窓会と皆様のご発展をお祈りします。

◆青木利澄 横浜市都筑区：私は平成 14 年 4 月に放送大学 3 年次に編入学（65 歳で）、平成 21 年 3 月に卒業しました。卒業式は東京 NHK ホールで行われ、私は身体障害者 3 級で補聴器を利用していますので、万が一聞きとれないことがあってはいけないと思って妻が同行いたしました。短大も通信教育部で、入学前、在学中、卒業といろいろとありましたが無事卒業できたことは私の一生の良い思い出となりました。（卒業は 72 歳でした）

◆赤嶺治美 横浜市港南区：30 周年イコール 30 才だとすると、仕事（社会）にも慣れ色々困難も沢山あり苦しいが、たまには解決し、より満足感を味わう。100 の失敗 1 つの成功か。放送大学は、あるいは学習センターはそういう私を受け入れてくれた。知識は又次の疑問を生みその解決のために観察や実験・研究を迫られる。そういう事の繰り返し、だがこれを苦痛だとは思わない。このプロセスがこれまでの我が人生そのものだ。幸せで面白く楽しい。

◆秋田栄子 横浜市戸塚区：役員の皆様、本当にいつもていねいに通信いただき有り難うございます。協力できる所があれば少しですが継続していきます。活動感謝しています。

◆秋本功子 横浜市磯子区：放送大学と出会えて良かったです。苦境と共に学びがあり、支えられながら自分のペースで学び続けることができました。卒業できましたことは大きな喜びであり感謝です。生涯学び続ける姿勢を大事にしたいと思います。

◆浅井公子 横浜市瀬谷区：放送大学での貴重な体験は、国策の「長期優良住宅」に取り組み、次々と展開する諸問題の体験や知識を積み上げ論文を纏め、その後、教授宅の建築プロジェクトへの参画を促され専門の方々の中で、私の研究分野での協力が出来た事です。毎回、緊張しながらでしたが、充実した時を過ごし最初で最後の忘れられない体験でした。

◆芦田澄枝 鎌倉市：前略御免ください。いつもお世話になっております。最近 YouTube で四国徳島剣山の事を知りました。目からウロコ、本屋さん図書館にその関係の本は有りませんでした。放送大学でその関係の講座があれば受講したいです。日本の歴史が世界の歴史と繋がった気が致しました。日本書紀、古事記以前の事が四国を調べると今までの認識と変わると思います。四国を調べようの講座が出来ましたら受講したいです。

◆安達美帆子 鎌倉市：卒業の時、同窓会案内の「学習センターの施設を利用できます」との文を読んで、卒業後も利用できるならと直ぐに入会しました。単に所属するだけのつもりでしたが、楽しそうな行事のご案内をいただき、興味を覚えて参加するようになり、魅力的な会員の方々とお話しする機会も増えました。この年齢になっても新しい世界や人間関係が広がっていく事を、嬉しく有難く思っております。

◆雨宮 智 厚木市：元気になっています。コロナ対策として近所にて活動しています。

◆荒川太郎 横須賀市：昨今、コロナで大変ですのでご自愛ください。

◆栗竹慎太郎 横浜市港南区：一生勉強、一生青春です。

◆飯塚武夫 横浜市瀬谷区：2005 年 4 月に入学してから 15 年になります。「人間と文化」、「心理と教育」、「生活と福祉」を卒業して、今は「社会と産業」を学んでいます。この間、神奈川放友会でサークル活動を楽しむとともに 2012 年に同窓会へ入会しました。放送大学を生涯学習の場として多くの人と触れ合う中で有意義に過ごしていきたいと思ひます。

◆**飯豊祥子** 横浜市港北区：2020 年、新型コロナウイルスはまだ終息に遠く、第二波に備えなければなりません。同窓会役員の皆様にはご多忙の折感謝申し上げます。当方もまだ高齢にもかかわらず看護師として仕事場ではフェースガード、マスクを着用し、特に通勤ではゴーグル、時に二重マスク着用で身の危険を感じながら身を守っています。皆様もそうですが時に息抜きが必要ですね。当方はゴルフに力を注いでいます。『波濤』お待ちしております。

◆**五十嵐一成** 横浜市港南区：書面総会、素早い対応感謝しております。コロナが落ち着き皆さまと集うことができる日を楽しみにしております。また、お手伝いできることがございましたらご連絡下さい。よろしくお祈りいたします。

◆**五十嵐文雄** 横浜市港南区：今年もよろしくお祈りいたします。

◆**池田美智子** 横浜市戸塚区：初期から入学し、肥田野直先生ゼミの卒業同期生としばらくは先生指導のもと勉強会を続けていましたが、今は生徒のみでずっと 20 年間「心理学を学ぶ会」と名前をつけて勉強会を 2 ヶ月に 1 回続けています。当初からの人数よりは減りましたが、今では勉強会で顔を合わせ学べる事によって人生の支え合いの仲間となっています。

◆**石川明良** 横浜市保土ヶ谷区：神奈川同窓会が発足した当時、商社勤務で香港に駐在していました。その時は放送大学を知りませんでした。あれから 30 年。仕事は引退し 2020 年 3 月には 1 回目の卒業。4 月より学士入学し再び勉強を始めます。大学院修士選科生としても並行して勉強を始め、充実した「老後」を過ごしております。

◆**石川 弘** 横浜市港南区：いつも同窓会の運営にご尽力いただきありがとうございます。私はとうに定年は過ぎているのですが、相変わらず仕事と親の介護に忙しくしております。時折、学習センターの図書館等で学生気分になるのが楽しみです。一日も早い再開を願うばかりです。今後とも宜しくお祈りいたします。

◆**石黒敬彦** 横浜市港北区：修士全科生として 2 年目もいよいよ半ばとなり、修論の草稿を始めたところ

です。ゼミも完全にリモートになり、自宅でするのは便利ですが運動不足になって困りますね。朝夕の 30 分ノロノロ散歩を楽しんでいます。

◆**石橋正彦** 大和市：私は多発性嚢胞腎という遺伝病の患者さんの相談にのる為に“傾聴“の学びをする必要を感じて 2001 年に放送大学に入学して以来学びを続け、沢山の方々と知り合い、沢山のことを教えて頂きました。これまでに 5 回卒業し、お陰様で同窓会の活動を通して多くのことを教えて頂きましたが、齢 80 を過ぎ、残された時間を思う時、改めて教養の意味を考えているところです。

◆**石丸迪子** 鎌倉市：近況です。コロナ禍がはじまり、マスクが市中から消え手に入らなくなったので、自分で作ることにしました。幸い縫物が好きでお針子クラブにも入っています。この数ヶ月の塾居生活の中家族の分のみならず沢山作り、親戚、知人等に贈呈しております。でもやはりマスク姿は不自然なので一日も早いコロナの収束を願ってやみません。

◆**板倉昭子** 藤沢市：長い間お世話になりましたが退会することになりました。現在自宅のテレビ、ラジオでは放送大学の講義を受けることができません。パソコンも持っていないので学習センターの視聴覚教室へ行くより方法がありません。只今閉鎖中です。同窓会の発展を祈ります。

◆**市川つわ** 相模原市南区：“大学卒“に憧れて入学しました。関心があった「生活と福祉」を専攻し、現在はケアマネジャーとして高齢者や障害者と関わっています。その人らしく日常生活を営むことができるよう、また人としての尊厳が保持できるよう支援することが大事と思っています。大学では新たな知識を学ぶ喜びと、やればできるということを実感しました。これからもワクワク、ドキドキ感じながら日々を過ごしたいと思います。

◆**伊東廣明** 横浜市港南区：「仲間との思い出」、在学中思う様に単位が取得出来ず悩んでいた時に若い仲間にも励まされヤット卒業に手が届き生涯学習の拠点が出来ました。神代所長の「年金改革で老後の暮らしはどうなるのか」と題する初の公開講座では近隣の商店主、町会役員に参加を呼びかけ、

また、教職員、在校生、他サークルとの交流を深めるために、在校生の仲間の協力を得てフェスタ・ヨコハマに初参加し、神奈川スタイルとして定着していることを大変嬉しく思います。今後も生涯学習の初心を忘れず自己研鑽に努めたいと思います。

◆**伊藤徳津美** 横浜市鶴見区：お世話になります。新型コロナウイルスで予定 etc 大変な時期、色々と有難うございます。以後よろしくお願い申し上げます。

◆**伊藤洋子** 横浜市港南区：私が放送大学に入学したのは自分の時間を持ちたいことも入学の動機でした。興味の赴くままあれこれ学び、気が付けば在学 20 年！これから先の 20 年も好奇心や探求心を満足させるべくマイペースで学べたら最高です。コロナ禍の自粛中に自分の過去・現在・未来に色々想いを馳せました。今後、社会の構造や秩序が新しく生まれたら、私も変わることを恐れずに人生をしなやかに楽しみたいです。

◆**今井 勇** 横須賀市：今後ともよろしく願いします。

◆**岩間吉男** 横浜市戸塚区：同窓会が発足して間もない頃のこと。運営の一員として会報の記事集めや郵便局へ会報発送手続きなど、少ない人員であったが効率よく楽しく行っていたことを思い出した。会報記念誌に一言で当時の人に会い、同じように居酒屋で歓談できればと懐かしさが湧いた。

◆**尹 秀蘭** 港区：皆様こんにちは！新型コロナに振り回され不自由な暮らしを強いられる中、同窓会運営お疲れ様です。何の制約も無く同窓会の皆様とお目に掛かれるようになって欲しいですね。

◆**植地勢作** 中郡：放送大学は私の人生観を大きく変えてくれました。退職した後、自分の知識や知恵の偏りに気づき放送大学に入学しました。最初は大学院へ、さらに学部にも再入学して現在 4 つ目のコースに挑んでいます。成果は大きく、大学院で取り組んだ論文は地域活動で活かされ、学部で研究した論文は『評伝、藤原銀次郎』という書物に結実し、私にとって大きな記念碑になりました。

◆**上原澄男** 横浜市南区：コロナ禍の社会が長く続く予感がします。そんな社会を生き抜く知恵を身につけなければと思っています。同窓会を通じて学びたいと思います。

◆**白井芳枝** 平塚市：70 歳の定年を迎える頃、放送大学が有ることを友人から聞き、神奈川校は弘明寺にあることを知り、その年 4 月から入学し、始めは「人間と文化」コースに入りました。誰も知らず、何もわからずでしたが、サークルに入り徐々に大学にも慣れて、現在 4 コース目に入っております。自分の苦手な科目が多くなかなか単位が取れずに過ぎていますが、生涯勉強と少しずつ無理せずに続けていこうと思っています。

◆**内波 隆** 横浜市戸塚区：平成元年 3 月に第一期生として卒業し、早いもので 31 年が経過しました。この間、同窓会の皆さんにも大変お世話になり感謝しております。現在、健康のためにスポーツジム通いや県内の歩くイベントを楽しんでいます。今後ともよろしく願いいたします。

◆**江上哲夫** 横浜市港南区：いつもご苦勞様です。『学ぶことは、自分自身を強くすること』

◆**王丸文八** 横須賀市：新型コロナウイルスが猖獗を極める中、役員の皆様には同窓会運営に心を配られ大変ご苦勞様です。このような時ですので感染などなさらぬよう心からお祈りしています。

◆**大木賢三** 茅ヶ崎市：新役員の活躍と同窓会の一層の発展を大いに期待しております。

◆**大木陸男** 横浜市戸塚区：2003 年「人間の探求」で入学、奈良や京都、青森での面接授業は、発掘現場などでも行われ、充実の 5 年間でした。2 回目は「生活と福祉」を 2 年で卒業。3 回目は「自然と環境」専攻で、特筆は卒業研究の「オオバコの植生」で、茎が短く、人に踏まれても生き、その種は粘性を持ち、人の足に付いて運ばれます。野外調査は河川敷や寺社境内で行い、種子を鉢に播き成長の実験もしました。現在は、4 回目で「社会と産業」コースです。

◆**大津幸雄** 横浜市南区：私は平成元年度 1 学期に入学以来今日まで放送大学に席を置いています。

特に面接授業は地域福祉活動や趣味の音楽等、欠かす事が出来ない授業です。保護司 24 年間、町内会長 25 年間、ロータリークラブ活動 30 年間、社会福祉協議会会長 20 余年間、これら奉仕活動の原点は放送大学で学んだ事に尽きます。同窓会活動のお役に立てず残念ですが、これからも頑張るつもりです。

◆**大森百合子** 横浜市緑区：放送大学との出会いは新聞記事を目にしたことでした。早速願書を取り寄せ第 1 期生として入学しました。当初は 3 学期制でただただ忙しかったことを覚えています。仕事、妻、母として奮闘していましたが、多忙で途中、大学を断念してしまいました。その後 20 数年の時を経て再入学し、現在もゆっくりながら学びを続けております。

◆**小川みのり** 相模原市南区：初年度の卒業で「人間の探究」専攻を選択しました。予定した訳ではないのですが卒業後 30 余年、ボランティアに携わることになりました。平成元年～8 年自治会役員、9 年～31 年保護司として 21 年 7 カ月。今思い返す時、ボランティア活動に携わる基本的な姿勢は放送大学で学んだ思考方法が基礎となっていた事を実感し感謝しています。保護司終了時、藍綬褒章を頂けたのは本当に思いがけないことでした。現在は近現代史を学び始めています。とても興味深い分野です。

◆**奥隅廣介** 茅ヶ崎市：90 歳になりますが相変わらず学習を続けています。元気なうちはまだまだ続きます。しかし少し筆圧が弱くなってきました。

◆**小澤清子** 横浜市戸塚区：横浜子育てサポートシステム「地域における子育て支援」に提供会員として活動し、子供を取り巻く変化や進歩する環境で、かわいいお子さんの成長期に関わらせて頂き大きな糧となっている。高齢者施設入所者への傾聴ボランティア活動では、お気持ちを尊重し寄り添い丁寧に接するよう配慮を心がけています。

◆**小田妙子** 横浜市戸塚区：思い出に残る面接授業は 2007 年の遠山先生の「問題解決の発想と表現」です。グループ毎にテーマを決め、模造紙の周りに集まり KJ 法で皆の考えを書いたラベルを沢山貼る。それを図解化し、文章にして発表しま

した。我々のテーマは「高齢社会に向けて」で、額を寄せ合つての共同作業をしました。コロナ禍の新生活様式では、できない授業でした。この授業は後日、テレビで放映されました。(私は 1 秒も映っていませんでしたが・・・)

◆**小野寺愛子** 横浜市港南区：新型コロナウイルス禍の中で迎える 30 周年。感染者の治療に懸命に携わる医療、介護従事者の姿から「自分には何ができるだろうか」日々自問自答し、多くの学び、気づきがありました。孤独になりがちな自粛生活もネットで繋がっているという安心感があり、私にとって 30 周年はコロナ禍でより絆が深くなった実感と生涯忘れることのできない思い出となりました。今後の益々のご発展をお祈りしております。

◆**片岡久雄** 横浜市神奈川区：同窓会発足 30 周年「会員名簿」発行を検討してみたいかですか。

◆**片山洋子** 鎌倉市：初期にフォスター・プランに関わった者として、この活動が連綿と受け継がれていることに感謝しております。

◆**勝山悌治** 横浜市戸塚区：人生の楽しみのもとには体と頭の健康(寿命)との思いから、体の健康のためには、水泳(25 年間継続：およそ 5 千 km)・サイクリング(江の島などへのツーリング)・卓球(週 1～2 回、スポーツセンター)など。そして頭の健康のためには、放送大学での学び・読書・カラオケなどを「継続は力なり」をモットーに、現在に至っております。

◆**加藤あいし** 横浜市旭区：神奈川同窓会の今後、ますますのご発展を祈念いたします。

◆**加藤佐榮子** 横須賀市：私にとって大学生活は憧れでした。無事 5 年間で全科履修生課程を卒業出来た事は、人生最高の喜びでもあり自信を持つ事が出来た瞬間でした。

◆**加藤弘子** 横浜市戸塚区：新型コロナウイルスにより大変な時期、いろいろご苦労様です。神奈川同窓会第 31 回通常総会における議案について賛同します。よろしくお祈りいたします。

◆**兼子弘司** 横浜市瀬谷区：2016 年 3 月、3 コース目の「自然と環境」を 4 年がかりでやっと卒えたあと、暫く休んでいましたが今年の 4 月、4 度目の全科履修生となり心理学の学習を始めました。

すでに年齢は 80 を超えておりいつまで続けられるか分かりませんが、1 学期に 2 科目ずつとスローペースで脳のトレーニングのつもりでやっています。先週「生理心理学」の授業で認知症の話をお聞き全く他人事ではないと心しております。

◆**金田保男** 横浜市保土ヶ谷区：創立 30 周年に向け各種資料を纏めてきましたが、諸先輩の努力に頭が下がる思いでした。また、思わず涙が出るような記事にも遭遇しました。このような仲間が大勢いる神奈川同窓会の明日は、明るく成長する事間違いないと確信しています。

◆**加部一宏** 横浜市栄区：卒業してから早 2 年が経ちました。又学校へ戻りたくなくなってきました。今度は「情報」コースか「人間と文化」コースへ行こうと思います。AI を使った情報システムの制作か自分の体験の本を書こうと思っています。また学生に戻った時にはよろしくお願ひいたします。

◆**軽部実保子** 川崎市幸区：同窓会を退会させていただきたく名簿よりの削除をお願いします。同窓会のイベントを楽しみに入会しましたが仕事が忙しく出席できそうにありません。よろしくお願ひします。

◆**川崎 正** 横浜市泉区：ご苦労様です。

◆**木内 勝** 横須賀市：放送大学では会社勤務の傍ら全科履修生として 1985 年から 5 年間学び、関係の皆様大変お世話になりました。思い出は語り尽くせぬ程ありますが、中でも単位修得の手段の一つとして「歩け歩け大会」に参加し、連続 3 日間毎日 30 キロを、足をマメだらけにして走破した事が挙げられます。その経験等が、今の自分の健康の土台になっているのは明らかです。

◆**橘川昌弘** 藤沢市：役員の方頑張ってやってください。（お世話になっています）

◆**木村 顯** 横浜市青葉区：大変な状況の中、同窓会の運営誠に感謝に堪えません。今後ともよろしくお願ひします。

◆**木村幸子** 那須郡：皆様のご活躍ご健康をお祈り申し上げます。

◆**木村多一** 海老名市：放送大学に入学して 10 年、今年で 71 歳になります。仕事と母の介護で同窓会の行事になかなか出られませんでした。5 月に母

が天国に旅立ち、これから少しずつ同窓会の行事に参加したいと思っています。今思うのは放送大学に入学して本当によかったということです。興味がある事を気軽に安く勉強できることは有難いことです。これからも続けたいと思っています。

◆**木村吉雄** 横須賀市：「老いたらピン・コロ」を夢見て、約 1 時間の早朝散歩を継続中。その姿勢に自信がない故、人目を忍び薄暗いうちに起床し、ムラの辻々を一筆書き状に辿って汗をかいている。それ故か、外見は兎も角、人間ドックでは血液だけはキレイ。散歩後は、昔に買い込みツンドク状態の本を乱読していたが、底も尽いたので最近専ら図書館から。お陰様で「同じ本を買う」ドジを繰り返さずにいる。

◆**國岡紀子** 草加市：在職時 1987 年より 5 年かけて「人間の探究」専攻を卒業しました。退職後の現在、学生登録はしていませんが、毎日興味ある科目を視聴させて頂いております。単位取得に追われることもなく、又関連書籍もゆっくり読むことが出来、脳をさび付かせないように楽しんで勉強しております。

◆**熊倉小六** 横浜市保土ヶ谷区：以前、鶴見大学の先生方による口腔衛生の面接授業を受け、以来今日まで 1 日 4 回、歯を磨いています。特に夕食後は入念に磨いた後、歯間ブラシで全歯間の食品破片を除去して口腔衛生の保持に努め、口を通して自身に禍が入らぬようにしています。今後も続けます。尚、小生 91 歳。歯は 28 本残っていて、アーモンドをバリバリ食べる快感を楽しみにしています。

◆**桑 百合子** 鎌倉市：私の放送大学との出会いは会社に勤めながら社会福祉等について学べる大学を考えた時、放送大学が一番と思い決めました。

◆**倉田寿代子** 横浜市南区：当初、必修科目であった卒業研究は、私にとって一番の思い出です。苦労しましたが有意義な体験でした。研究とは何か？どのような切り口から入っていくのか？すべて未知の世界ですので、興味深く日夜頭をなやませました。参考文献を探し歩き、先行資料の調査、そして実際に体験までしました（焼物）。今は懐かしい思い出です。

◆**栗山芳光** 横浜市保土ヶ谷区：面接授業（ゼミ含め）が楽しい！全国の学習センターでの面接授業に数多く参加し、世界遺産を初めとして各地域の歴史・産業・地理・課題など多様なテーマを学ぶことができ、よき思い出や再発見にもなり、次の学習意欲に大いに役立っている。神奈川では地球科学ゼミ（有馬ゼミ）に参加し、岩石学を通し、県内各地の露頭を訪ね歩き有意義だった。今では自分で地元の巡検で歩き回り、足腰の鍛えにもしている。

◆**小泉民介** 横浜市保土ヶ谷区：残り 5 単位を修得できれば、6 回目の卒業達成の予定でしたが、新型コロナ禍で、ゴールは少し先に延びそうです。

◆**小須田正孝** 綾瀬市：よろしくお願ひ致します。

◆**後藤初江** 横浜市旭区：20 年前に入学し、6 コース卒業しました。名誉学生の称号もいただきました。好き嫌いな科目もあり、大変苦勞するなど苦い経験もありました。しかし、1 人で勉強することの意義や喜びも体験しました。非常に皆様感謝しています。現在は大学院修士選科生として、これからも頑張っていくつもりです。ありがとうございました。

◆**後藤雄二** 横須賀市：いつもありがとうございます！！

◆**小林公子** 相模原市南区：長い間お世話になりました。放送大学とは 30 年もの間おつきあいさせていただきました。現在 93 歳、老人ホームで一人の生活を送っています。会費の払い込みで郵便局に行くのも大変です。今年度を最後に退会させていただきます。

◆**小林隆次** 横浜市港南区：新型コロナウイルス感染症については、役員の皆様も大変ご苦勞されたと思います。たまたま「感染症と生体防御」という講座を取っておりましたので、びっくりした次第です（タイミングに）。一日も早い終息を願うばかりです。

◆**小正隆子** 横浜市港南区：放送大学では他の大学の先生方からの講義も受けて多くのことを学びました。もう一度受きたい講義も多くあります。その中で、電気通信大学の島内景二先生が面接授業で講義された源氏物語は、読者の生きる現代を

共に体験するために源氏物語は生き続けていると、先生の物語に対する熱い想いが伝わって心に残り、もう一度受きたい講義のひとつです。

◆**斎藤 悟** 横浜市都筑区：コロナ後の新しい日本の進む道を、皆で切り開く努力が必要と思います。

◆**酒井雄志** 秦野市：放送大学学生団体アマチュア無線クラブ（東京文京学習センター）の立ち上げに参加しました。SNS 上で情報交換をしています。アマチュア無線は災害時、携帯電話が不通になった時などには、非常手段として認められています。各地地域にある防災団体では活用していたりします。またインターネット回線を利用した無線で、海外との通信により語学の学習にも使えるかもしれません。メンバー募集中です。

◆**阪田照子** 大田区：私は濱田名誉教授が神奈川学習センター長でおられた頃、学生でした。教授がセンターを去られるある日、ロビーに沢山の書籍が置かれており、それは学生達に教授が残して行って下さった書籍でした。私は欲しかった和英辞典をいただきました。裏表紙に濱田先生の署名があり今も活用させて頂いております。使う度に先生を思い出し感謝しております。この心のぬくもりは神奈川学習センターのぬくもりにもつながります。

◆**佐栞慎二** 横浜市保土ヶ谷区：同窓会創立 30 周年おめでとうございます。私は、2007 年に放送大学に入学し、2009 年に卒業と同時に同窓会に入会し、その後も学生を続けています。放送大学で自ら学ぶことの喜びと大切さを実感し、同窓会で様々な知識と経験を持った友人と知り合うことができました。このような貴重な機会を与えてくれた放送大学と同窓会に心から感謝申し上げますとともに、益々のご発展をお祈りします。

◆**佐々木恭夫** 横浜市戸塚区：高齢につき退会させていただきますたくよろしくお願ひします。発展をお祈り致します。

◆**笹路康子** 横浜市港南区：じきに米寿を迎えます。在学中は「楽しかった」との思い出ばかりです。お忙しいところお役で大変でしょうと思いますが、よろしくお願ひ申し上げます。

◆**佐々本幹夫** 横浜市旭区：With コロナ社会は、

非地位財が大切だよって教えてくれました。「数字でみる放送大学」によると学位を目的とする人が減って、専門知識を求める人が増えています。「同窓会 30 周年」を寿ぎ、新しい技術と思慮深さで、同窓生と大学の協働を語り合いたいですね。

◆**左雨悦子** 横浜市瀬谷区：65 歳の定年退職を機に始めたのが図書ボランティアです。区内の小中学校で傷んだ本を修復してまわります。製本という技術を受講してからの参加でした。その大切な活動がコロナ禍で 3 月から停止に。分厚い図鑑も辞書も、人気シリーズもの、伝記に昔話、絵本も、傷んだ本は一旦解体して仕立て直していきます。休み時間になると子ども達のキラキラした目であふれる図書室。たくさんの元気をいただいてやりがいのあるあの現場に早く戻りたいです。

◆**佐藤邦雄** 横浜市金沢区：学習センターで学んで 25 年になりますが、当初の気持ちを“初心忘るべからず”としています。

◆**佐藤公一** 横浜市港南区：コロナが早く収まってみんなで会えるといいですね。

◆**佐藤 敬** 横浜市港南区：私が同窓会に入会したのは 2009 年 3 月の最初の学位記授与式の時でした。同窓会の活動内容も良く分からなかったのですが、入会してから活動内容や、多くの方が卒業しても勉強を続けられていることなどが分かり共感しました。あれから 11 年、この 2020 年に神奈川同窓会は創立 30 周年を迎えました。そして今は同窓会活動に参加しながら勉強も続けられる定年後の生活に、良かったと満足しております。

◆**佐藤紀子** 富士市：坂井先生、高橋先生の楽しかった面接授業がなつかしく思い出されます。(高橋先生は中東問題等で元気なお姿をテレビで拝見しますが、坂井先生は、今どのようにお過ごしなのかしら…と思います)

◆**佐藤ひろ子** 横浜市神奈川区：皆様のご努力に感謝致します。

◆**佐藤真弓** 横浜市港南区：「人間は考える葦である」の格言のように、コロナ禍でも知恵を出しあって、乗り切っていきたいですね。

◆**澤村雅嗣** 横浜市金沢区：以前、放送大学で「レジリエンス」という概念を学んだことがあります。

突然の災害や危機に柔軟に対応できる能力、しなやかな精神力を意味します。現下のコロナ危機に対するレジリエントな身の処し方とはどうあるべきなのか、日々自問しています。コロナ後の時代が、国家、民族、人種、宗教、思想の枠を乗り越えた連帯と協力の世界に開かれることを切に願っております。

◆**新谷州巨** 秦野市：お世話になります。これから暑くなります。大変なお仕事だと思いますが、頑張ってください。

◆**杉山秀雄** 海老名市：私は平成元年 3 月に放送大学第一回卒業生になりました。同時に神奈川同窓会に入会し、途中ブランクをあげましたが、平成 31 年 3 月にはグランドスラムを達成しました。これらのことは『波濤』にも掲載され、また、講演会でも「グランドスラムを超えて、私の生涯学習」で発表させて頂きました。神奈川同窓会には種々、お世話になっております。放送大学で楽しく学ぶ楽習生活は、神奈川同窓会と共に生涯続けていきたいと思っております。

◆**鈴木裕子** 横浜市保土ヶ谷区：私が放送大学に入学したのは、心理学を学びたいと思ったからです。勉強を始めてみて、どの科目も魅力的でとても楽しく学習できました。一番好きな放送授業は菊池聡先生の「錯覚の科学」です。単位を取ったあとでも何回も見直しています。「シェパード錯視」を初めて見た時の驚きは忘れません。職場の新人研修で必ず紹介して新人の職員を驚かしています。これからもグランドスラムを目指して、又ゼミやサークルの入会もして…などと夢はふくらむ一方です。

◆**鈴木美子** 横浜市磯子区：いつも有難うございます。この数年体調不良につきセンターにも行けず、同窓会を退会させて下さい。大変申し訳ありません。よろしくお願い致します。

◆**関口静子** 鎌倉市：放送大学に入学してから 7 年目に入りました。「人間と文化」、「大学院」、今は「社会と産業」のコースを取っています。印象に残った授業は、「日本古代中世史」「舞台芸術への招待」「和歌文学の世界」「日本美術史」です。どの本も書き込みとマーカの印でいっぱいです。

今はもうあれほどの勉強欲がなくなったみたいですが、いつまでも学びは忘れたくないです。みな様、よろしくお願いいたします。

◆**関野利絵** 小田原市：新型コロナウイルス感染症と闘う医療従事者の一人です。この半年間、とにかく新型コロナウイルス感染症に振り回されています。一刻も早くワクチンや治療薬が開発され、感染が終息し、以前のような安全で安心な日常に戻りたいです。

◆**高尾裕美** 横浜市保土ヶ谷区：平成 22 年 9 月に卒業いたしました。以前は別の学習センターから神奈川学習センターに移り、短い期間でしたが、とても充実した学生生活でした。私は当時、学校事務に勤務しておりました。仕事上で必要な教科があり、貴センターの視聴学習室と図書室で必要な書籍やレポート等によく利用していたことがあり、お世話になりました。放送大学では、自分に必要なことを必要なときに学ぶことができ良かったです。

◆**高田みつ子** 横須賀市：同窓会役員の皆様、大変な時期に総会の準備ご苦労様でございます。新型コロナウイルスは未だ治療薬もワクチンも開発途上のため、常に感染の危険性があります。しかし、手洗い・手指の消毒・咳エチケットを徹底し、こまめな換気・「3密」の回避等を守り、共存していくことで、安全な日常生活が保てると思います。そのためには常に体力を維持していくことです。1 週間に一度位は 1 万歩を目指して健康な毎日をお互いに送って参りましょう。

◆**高橋昭善** 逗子市：学生番号 875 …であり、在学（選科生も含め）してすでに 30 余年になる。この間、趣味の海藻調べに海辺を歩いて、また放大では生物科学の専門授業はすごく参考になった。コロナの自粛期間を利用して、これまで 50 余年間相模湾を中心に集めた貴重な海藻約 250 種を同定し、自宅の標本庫に学名をつけて収納した。これらは私的なものでなく、自然史の一端として次世代へ伝える貴重な財産と考える。

◆**高橋照夫** 伊勢原市：13 年前、学部の卒業後、役員の方の勧誘を受け、同窓会に入会しました。活動に携わることで多数の会員の方々を知遇を得

て、新たな分野でネットワークを築くことができました。今後ともよろしく願いいたします。

◆**高橋 寛** 横浜市栄区：神奈川同窓会創立 30 周年、誠におめでとうございます。わたくしは、2018 年の 9 月に「自然と環境コース」を卒業し、新たに「心理と教育コース」で認定心理士の資格取得を目指して勉強中です。新型コロナウイルス感染症の影響で大変な状況ですが、神奈川同窓会が今後ますます発展されますよう、お祈り致します。

◆**武井 宏** 横須賀市：創立 30 周年おめでとうございます！私も著名な教授にご指導を頂き、「自然の理解」を専攻し、卒業して早 30 年近くになります。当時は卒業生も 500 人程度と少なく、卒業式は虎ノ門ホールでした。思い返せば、同窓会とともに永いこと歩んできたのですね。この 30 周年記念も、コロナウイルス感染という非常事態の影響を受けていますが、今後さらなるご発展を願っております。

◆**武田きみよ** 藤沢市：リタイア後、ひよんな事から放送大学を知り、4 年半かけて頑張って卒業した頃が懐かしく思いうかびます。やりたいと思ったら行動!!と実践しつつあります。

◆**竹本良夫** 横浜市南区：いつも御指導御教示して頂き、心より感謝しています。今後も宜しく御願いたします。同窓会の発展と皆様の健康をいつも祈っています。

◆**田澤誠一** 横須賀市：放送大学設立の 1985 年 4 月に入学。1993 年 9 月に卒業し、放送大学同窓会神奈川支部に入会。役員として活動を始め、放送大学で初めて仲間が出来ました。2000 年 2 月 9 日から 13 日に、フォスターチャイルド訪問でタイのウドンターニーへ、ソムチャイ君に会いに行きました。同年、創立 10 周年記念誌波濤特集号の編纂、学士会館に於けるタイ訪問の報告からふた昔も経ちましたが、少し前に思えます。

◆**田嶋順子** 厚木市：医療崩壊と知り助けに行きたいと願い連絡するが、“大丈夫”といわれ、まず自分の身を守ると決めた。友人の紹介により、近くに職を得ました。主に相談業務ながら、充実した、緊張する毎日を過ごしています。“つなぐ”ことが大切だと思います。知識を智恵に行動にして

いきたいと思います。多くの人に感謝と笑顔で、安心とよろこびが増えていること実感していただけるようにしたい。そのため、学び続けることは大切です。学び続けられたことに心から感謝しています。ありがとうございます。

◆**田中 昶** 相模原市南区：コロナの収束を願う毎日です。少し体重が増えました。

◆**田辺桂子** 横浜市金沢区：放送大学に入学し 17 年が経ち、思うに、一番良かったことは仲間が出来たことです。特にサークルの神奈川放友会音楽部では音を楽しむ仲間に出会えたこと、リズムを刻む難しさ、合奏の大変さなどの経験を共にできる仲間が居ることに幸せを感じています。また神奈川同窓会では役員として行事、映画を担当しています。皆様のご参加をお待ちしています。

◆**谷本美知子** 横浜市戸塚区：神奈川同窓会創立 30 周年おめでとうございます。この記念すべき年に会員でありますこと大変うれしく思います。ところがコロナ禍の影響で行事が中止や延期になったりしています。NHK ホールでの学位記授与式も祝賀パーティーも中止になり、当事者の卒業生としては寂しい限りですが、減多にないことで記憶に残る卒業式だとポジティブシンキングでいきたいと考えます。後世の人々に記録として残すことができればとも思います。これからも皆様のご健勝と会の益々の繁栄をお祈り致します。

◆**田端和子** 藤沢市：放送大学との出会い！娘の大学受験を前にして、息子達の受験から 10 年と 7 年を経て、頑張れとの声かけがきつなくなりました。平成元年私の背中を見て勉強してくれるのを願って入学しました。とにかく英語が辛かったこと！なかなか単位がとれず 4 年がかりで単位が取れた時の嬉しかった事！嫁として両親を見送る迄の老人問題をテーマにして卒論を書いた事等今の介護保険への経過が夢のような時代でした。今 80 歳となり今度は自分がお世話になる年頃となり、娘の孫との楽しいやりとりが生きがいのこの頃です。

◆**土屋悦子** 足柄上郡：今後ともどうぞよろしくお祈りします。

◆**寺村紀美夫** 横須賀市：私が健康のために取り組んでいること。それは後期高齢者となっているため健康に留意し、毎朝実施している①NHK ラジオ体操（10 分間）②TV（DVD）による「120 歳まで生きるロングブレス」（20 分間）③TV（DVD）による「筋肉体操」（5 分間）です。これによりすこぶる快調である。

◆**時崎文夫** 三浦市：今から 52 年前、NHK 学園高校の通信制に入学したのが学びの原点でした。卒業後私立大学の通信課程に入学するも続かず断念。その頃、放送大学という新しい通信制の大学ができるらしいと聞き、NHK 学園高校の経験から親近感もって開校を期待しました。それから 38 年、定年を迎えてようやく念願の放送大学に入学しました。7 年で 2 つのコースを卒業して現在は、学び直しの毎日です。

◆**鳥羽徹志** 大田区：一度何かの催しに出席しようと思いきやセンターまで行って、雰囲気気が引けて帰ってしまいました。仲間内感が強い雰囲気なので・・・。

◆**鳥海邦博** 川崎市高津区：銀行勤務を 38 歳で退職して不動産業を開業し 30 年が経ってから放送大に入学、68 歳でした。卒業まで 11 年かかりましたが楽しい思い出です。現在 84 歳で在職、車も運転しています。（そろそろ免許返上？）

◆**永井藤樹** 横浜市泉区：台湾の大学に赴任された天川晃先生の訾咳に接する機会をなくし、淋しく思っていたゼミ生 20 数名が先生を訪問したことがありました。旧交を温め、夜のゼミでも歓談が尽きませんでした。いよいよ先生とお別れの時が迫り、使い残した少額コインを先生に差し上げ、先生は財布を広げて「ありがとう、ありがとう」と言いながら、みんなから受け取り重くなった財布を揺すり「これで僕も、お金持ちになった」と言って笑い、私たちも誘われて笑いました。先生がお亡くなりになり 3 年が経ちましたが、私たちの心の中には今も先生が生きておられます。

◆**長尾壯七** 横浜市瀬谷区：まず 30 周年お喜び申しあげます。この間に 3 回卒業させて頂き、勉強することの喜びを在職中も定年後も味あ

わせて頂いたことは、自分の一生の間の宝と思っています。やってみれば専門以外のことも結構本格的にやれることを知りました。新たに専門家になった自信とウヌボレが、90 歳も生きている自信にも子孫に対する手本にもなる事を実感して生きています。本当はもう一度入学したいのですが、大学までの歩行が少し重くなりましたのであきらめます。

◆**中尾弘子** 相模原市南区：同窓会創立 30 周年おめでとうございます。放送を卒業してから 25 年が経ちました。働きながらの入学で初めの頃は、暗中模索の毎日。卒業まで 10 年かかってしまいました。授業もスクーリング出席も面白くて、やり通せたのだと思います。卒業できた事が少々の自信につながり、その後のやる気と視野も広がっているように感じます。再入学がかなわなかったのは残念ですが。

◆**中島悦子** 横浜市港北区：放送大学での学び始めは以前から興味があった歴史、特に日本史についての興味を深くし、さらに色々な角度から勉強したいと思ったことでした。しかし徐々に日本の思想、政治、教育、福祉等に興味がわき、我ながら思いがけない分野にまで裾野が広がっていきました。次は、これまでの身に付いた学びをどんな形で還元することができるのか、を考える時だと思っております。

◆**永田嘉巳** 横浜市緑区：神奈川同窓会創立 30 周年。会社の OB 会も創立 30 周年を迎えましたが、コロナ感染防止のため記念行事等中止、何か縁を感じてしまいました。

◆**中谷英子** 秦野市：子供 2 人の子育て中に、主人の母を介護したことで、福祉の世界、領域で自分の知識を高めたことと、思いで放送大学に入学させていただきました。これにより現在、介護支援専門員として約 13 年仕事と学生、両立を続けています。仕事が忙しくて単位を落とすことも多く、その都度授業料の事を考えると、もったいなく何度か挫折しそうになり、学ぶことを止めれば気持ちは楽になろうかなあと、それでも私にとっては学ぶ事が人生の挑戦です。

◆**中野 昭** 横浜市栄区：大変な状況下での御活

動に心から感謝致します。今後ともよろしくお願い致します。

◆**中村忠司** 浜松市浜北区：浜松市という遠方で何も活動できないのが残念です。今、学校の用務員をやって過ごしております。いつも放送大学で学んだ精神を忠実に守り、誇り、母校意識、社会貢献と言う基本理念を常に思い社会生活を営んでおります。これからも神奈川同窓会を影ながら応援していきたいと思えます。

◆**長屋比佐子** 横浜市旭区：19 歳で教員採用試験に合格し 20 歳で大阪の教員になる。結婚して三重県へ転勤し臨時任用で教員を続ける。35 歳で横浜に来て放送大学で学び、四年制大学卒業の資格を得て横浜で教員になり勤める。54 歳の時、採用試験を受けることのできる特例ができ、合格して再び正規の教員となる。四年制大学卒の資格と放送大と短大と横浜国大の単位の合算で一種免許状を取得することができた。68 歳の今も元気いっぱい教師の仕事をしている。感謝です。周りの同僚が国立大卒ばかりの中で、短大卒の私は学歴コンプレックスがありました。放送大学は私に教師としての力と自信を与えてくれました。

◆**西浦久晏** 横浜市金沢区：以前同窓会で映画の話と上映を 10 年間行いましたが、今も映画の催しを行っていることに嬉しく思っています。何か役立つことがあれば言ってください。

◆**野須 潔** 横浜市磯子区：総会のご成功と同窓会の今後のご発展をお祈りします。

◆**袴田江美** 座間市：私が放送大学に入学したのは長女の高校で役員をした時、一人の人が「放送大学の授業って面白いのよ」と言われたからでした。もう一度、文学関係の授業を聞きたいと思い入学しました。私の入学した年は東日本大震災が起こり、こんな時に「私が勉強していいのか」と迷いましたが、東北の小学生がダンボール箱を机にして勉強している姿を見て「私も勉強しよう」と女の子に背中をおされました。苦手な科目もあったけど、知識が増え、入学して良かったと思います。あと会報誌で高校の生徒会長だった神谷君が大学院で研究していた事にびっくりです。

◆**萩野榮子** 横須賀市：皆様ですべておまかせ

で申し訳なく思っております。何もできませんが今後ともよろしくお願いいたします。

◆**萩原文子** 横浜市神奈川区：ご連絡ありがとうございます。コロナの大変な時期に本当にお疲れ様です。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

◆**服部高重** 鎌倉市：私の学生番号は 881・・・で 881 は 1988 年 1 学期入学を意味し、今年で 32 年間在学していた事になる。現在は教養学部の全 6 コースを卒業する名誉学生を目指して生涯学習中で、あと 2 コース残している。現在 81 歳なので、名誉学生達成は寿命との競争のようなものである。

◆**羽生修二** 横浜市南区：神奈川同窓会創立 30 周年おめでとうございます。20 年位前に放送大学に出会い卒業までに 10 年。一人で学習することが多いなか、スクーリングが学ぶ仲間と出会える楽しい時間だったことを思い出します。

◆**浜 都記子** 横浜市南区：思い出深い期末試験があります。青山昌文先生の「比較思想」です。当時父の入院等があり、ロクに勉強もせず臨んだ初めての期末試験。他は何とかなりりましたが、この科目は記述式でお手上げ、白紙で提出。次回挑戦のことを考え、恥を忍んで受けた次第です。後期の試験がやってきて再挑戦。今度はバッチリ、最高点をいただきました。約 30 年前のことがよく覚えています。

◆**樋口敏江** 横浜市緑区：皆様いつもご活動ありがとうございます。くれぐれもご自愛ください。

◆**土方洋次** 藤沢市：同窓会について思うこと。
1. 対面交流活動、同窓会報、ネットの活用、フェスタ・ヨコハマ、映画研究同好会、太極拳クラブ等々とか、さらに社会貢献活動のプラン、あしなが育英会への支援等々と幅広い活動をされている事を初めて知りました。しかも地道に、継続されていることが素晴らしいです。

2. 「誇り」と「母校意識」をさらに育て継続させるのはこの同窓会と思います。

◆**平澤一俊** 横浜市南区：今年度、再入学しました。よろしく願います。

◆**平瀬 源** 茅ヶ崎市：生涯教育はこの放送大

学で行いたいという信念のもと、1988 年 4 月に入学しました。内容は多種多様で、文系科目から理系科目まで学びたい科目などたくさんありました。そのなかで初めは「発達と教育」専攻を選択しました。心理学や教育学そして発達学など仕事面にもいかされたいと思ひ、その後、継続して今もなお学習中です。益々、学習意欲は旺盛！

◆**深谷八十子** 横浜市磯子区：先生方、友人の方々との交流。現在にも繋がる貴重な出会いをいただきました。

◆**福島三郎** 横浜市旭区：33 年前に仕事が教育関係に変わり、学士取得が目的で入学し、単位取得が主で卒業しましたが、再入学後は余裕ができて多くの学びを体験できました。印象に残った授業は「教育の方法」（東大の池田先生か名前は違うかもしれませんが）その他沢山ありました。また、その後学んだことが大いに役立ちました。15 年以上会っていない学友は、どうしているのか気になります。

◆**藤井孝子** 大和市：ご無沙汰お許しください。夫の介護を 14 年間しております。自分の時間に制限があり、なかなか出かけることが出来ません。そのうちお伺いし出席したいといつも思っております。皆様によろしくお伝え下さい。

◆**藤井 輝** 茅ヶ崎市：私は 60 代半ばから、通っていたスポーツクラブでエアロビクスに嵌り、「波濤ネット」に「腕白おじさんのエッセイ」を 20 数点投稿しました。その後筆が進まず PC の不調を理由にサボってしまい、申し訳なく思っていました。今や同窓会も Web 会議など、新時代を感じます。益々のご発展を祈念致します。

◆**藤田重則** 川崎市川崎区：コロナで卒業式が中止になり残念でした。「再入学して、又やるぞ！」と張り切ったのですが、何やかんやと忙しさにかまけて、うっかり通信指導を出すのが遅れてしまいました。又しても残念！

◆**藤村保夫** 横浜市鶴見区：同窓会活動を運営されている役員の皆様、今年はコロナ禍の最中の活動ご苦勞様です。一刻も早くこの事態が収まり、従来の姿に戻り、同窓会活動が正常に進められま

すことを願っています。

◆**藤本 勲** 横須賀市：横須賀市の観光振興のボランティアガイドとして活動し、7 年目を迎えます。弘明寺サロンの行事として 2020 年 2 月 29 日の「横須賀散策」で、お手伝いする予定でした。「日本遺産の構成文化財を巡る」テーマでご案内する準備をしていましたが、新型コロナウイルス感染予防の為、市から 2 月 22 日～3 月 31 日迄、活動停止命令が発令されました。「横須賀散策」は余儀なく中止になり、大変残念でした。

◆**船澤喜久子** 三浦市：いつも有難うございます。なかなか伺えませんが、ずっと頑張ってお下さっていらっしやることに感謝です。

◆**古内 都** 横浜市金沢区：自称「よつ葉のクローバー見つけ名人」の私も老眼が進んでからというもの、なかなかお目にかかる機会はなかった。コロナ禍、近くの野島公園は訪れる人も少なく、いつにも増して白詰草が気持ち良く育っている。木の根元に目をやると片隅によつ葉のクローバーが！「何かいいことありそうな！」他愛ない報告です。

◆**保坂運規** 横浜市神奈川区：妻とテレビを見ていましたら放送大学という文字が目に入りました。「宇宙船と地球」、宇宙船と地球論です。お二人共、その世界の大先生でしたが、我が家ではオビチャン、ハマチャン、と呼んでいました。濱田先生には小田原で館長をされていた時、退任記念の日にお会いしました。

◆**星 興資子** 横浜市保土ヶ谷区：同窓会役員の皆様にはご多忙のところ、同窓会発展のためご尽力いただき厚く御礼申し上げます。私は定年後すぐ入学させていただき、6 年かけて卒業する事が出来ました。卒業後は同窓会に入会し、そこでプランジャパンに寄付が出来る事を知り、毎年、心ばかりですが寄付させていただくのを喜びとしております。今後ともよろしく願いいたします。

◆**星 礼子** 横浜市港南区：同窓会での一番の思い出は、2000 年にフォスターチャイルドを訪問した事です。私達の援助金がどのように活用

されているか確かめようと、希望者 6 人でラオス国境に近いタイのウドンターニーへ。現地スタッフのお世話でソムチャイ君のいる小学校と彼の家を訪問。その日の感激は今でも忘れられません。

◆**細谷富士子** 横浜市港南区：放送大学に入学していろいろな人に出会い学びました。それが宝です。ありがとうございます。

◆**本多真実** 鎌倉市：新しい生活様式にどう対応していくべきなのか、考えていかなければならないですね。

◆**松井恵哉** 中郡：放送大学に入学し、2 回目の卒業を経て 10 年余を経過しました。この間、同窓会をはじめ、放友会、レクサークル、源氏の会、短歌の会、種田ゼミ、詩游会等多くのサークルの皆さんと交流でき、多くのことを学び充実した時を過ごせた事を幸せに思います。また、特にレクで濱田嘉昭先生のご指導をいただきましたことは望外の喜びです。今後とも健康の許す限り、学んでいきたいと思っています。

◆**松田江利子** 藤沢市：2017 年 6 月 25 日、7 月 2 日に受講した福田幸男先生の面接授業、「記憶と日常生活」が思い出深いです。それまで幾つかの面接授業を受けましたが、あまり面白いとは言えず、受講した時間が無駄だったときえ思いましたが、福田先生の授業は学生参加型で、笑いもあり、2 日間の講義は非常に興味深く、また福田先生の内容の違う講義があれば、受けてみたいと思いました。現在、放送大学生ではないので、その機会はありませんが、福田先生の授業がとても懐かしく思い出されます。

◆**丸田英代** 川崎市幸区：日頃お世話になります。今後共よろしくお祈りします

◆**万場由美子** 大和市：「今更勉強して何になるの？」という進言を有り難く受けて、そして「私の人生、私持ち」。この線で歩んでいます。今もこれからも。

◆**三木嘉一** 横浜市戸塚区：同窓会運営、御苦労様です。心からお礼申し上げます。コロナ収束の早からんことを願っています。学習センターの一日も早いオープンを心から願っています。

◆**三戸 薫** 横浜市磯子区：特別な目標があったわけでもなく、仕事に役立つかな？となんの気もなしに入学した放送大学でしたが、勉強をしていくと楽しくなり、いつの間にか卒業できていました。特に楽しかった授業は「社会の中の芸術」です。美術館に行く回数が増え、絵の見方も変わりました。昔をよく知る恩師から「放送大学で勉強したお陰で成長したね」と言ってもらえた事も嬉しかったです。これからもマイペースで勉強を続けたいです。

◆**宮崎安博** 横須賀市：神奈川学習センター職員在職（平成 20 年～ 25 年）中に同窓会役員や在学生・卒業生との出会いを契機に、職員退職と共に学びを開始し、「生活と福祉コース」を卒業。今回、時間に余裕ができたことから脳トレを兼ねて二つ目のコースに入学しました。

◆**村上利枝** 相模原市中央区：神奈川同窓会 30 周年おめでとうございます。私は、神奈川県内のがん拠点病院でピア相談や、がん啓発活動をさせて頂いております。より良い相談のため、「心理と教育コース」に編入致しました。学びはとても充実し、卒業時には、念願の認定心理士も取得できました。心理学以外ですが、「がんを知る講座」は、がん相談に従事する者にとって、有意義な知識・最新情報が網羅され大きな力になりました。

◆**村田カズ子** 横浜市栄区：神奈川学習センターにサークル“韓国語同好会”を立ち上げ「近くて遠い国」隣国、韓国放送通信大学と国際交流が 2009 年から現在も続いています。学生に寄り添ってご指導くださる H 教授のお力添えがあったからのこと、『徳恵翁主』研究論文は主人公が生きた同時代の母を思い出し殊更、感慨深いものがあります。

◆**森 茂房** 横浜市金沢区：今から 8 年前、当時小学一年生の孫から「じいじの大学は入学試験があったの？」と、突然の質問で返答に窮した思い出があります。この孫も今では中学二年生です。じいじが勉強している姿を見せれば、孫も勉強に励むかなと期待しましたが、なかなか思うようにいかないのが現実です。最近孫に

関係なく、暇つぶし・認知症予防・運動（学習センター通学）と目的を変えての放送大学在籍です。

◆**森田千代子** 横浜市磯子区：一期生として入学し、多くの友人と楽しく有意義に 4 年間を過ごしました。当時、会社員だった私は、その後看護師として新たな人生をスタートし、現在も働いています。次の目標として、放送大学大学院に入学する計画を立てています。

◆**保田昌男** 大和市：お世話になります。

◆**山下部晃一** 千葉市中央区：放送大学在学中の思い出は、何と言ってもスクーリングの時の色々な方々との出会いがあったことです。特に心に残っているのは、全盲、お勤め、結婚、お子様がおられるという女性が熱心に学習されているのを拝見したことです。困難な学習環境にも関わらず、熱心に学習されている態度に心を打たれ、感心致しました。学習センターでの色々な出会いは自分にとっても色々な面で自身の心の支えになっております。素晴らしい出会いの場を得ることができた放送大学の「勉強の機会」があったことに大変感謝いたしております。ありがとうございました。

◆**山口一雄** 横浜市南区：平成 21 年 NHK 学園高等学校卒業、放送大学への推薦を頂き入学しました。多くの思い出の中で特に、単位認定試験には現場からトラックのままセンターへ。車の置き場にはセンター長様から特別のご配慮を頂き、試験場に駆け込んだ事も度々。お陰様で平成 26 年には卒業する事が出来ました。夢のような出来事でした。同時に同窓会に入会し、皆さまと親しくさせて頂いております。コロナ問題の昨今、早く収束する事を願う毎日です。

◆**山田 勇** 旭川市：昭和 60 年に放送大学開設を新聞で知り「これだ！」と決意し、入学しました。在学中に福岡に転勤となり、当時は単位認定試験会場が千葉学習センターのため飛行機と電車乗り継いで、日帰りで試験に臨むこともありました。平成 4 年の卒業ではゼミの仲間と坂井素思先生にお世話になりました。今思えば、素晴らしい経験をしたと思います。放送大学の益々のご発展を

願っております。

◆**山田和嘉子** 横浜市旭区：家庭の事情で大学進学を諦めた 30 数年後、娘 2 人の大学入学後の成長は私の「大学に行きたい」という思いを刺激したのです。50 数歳で願いを実現し放送大学に入学しました。意欲満々でスタートしたのに鉛筆を 5 秒と持ってられない病を患って休学する事に！初めての面接授業「生物学実験 1」を受講した経験が忘れられません。それは、毎回顕微鏡をのぞいて観察してレポートにまとめて次回に提出というもの。図書室で閉所時間まで調べて書き上げたときは、単純に大学生をしていると喜んだのでした。また、視覚障害者の方の受講する姿に感銘を受け私も頑張ろうと強く思ったのです。

◆**山中眞仁** 川崎市川崎区：30 年かけて教養学部を卒業し、そのまま大学院に進学して修士の学位を得ました。勉強はいつでも出来るということを実感した。今は、放送大学はお休みしていますが、また勉強したくなったら学びたいと思います。これが出来るのが放送大学だと思います。

◆**吉岡敏子** 相模原市南区：健康生活を継続するために毎日行っていることを書きます。①毎日 6000 歩以上歩くこと②30 段以上の階段を登ること③3 分間日記をつけることです。3 分間日記の目標欄に①「毎日健康第一。おおらかに！」をあげ、②今日行うことを具体化し、①から⑦まで文章に書いて、終了したら消していく事にしています。これは一目瞭然で終わったこと、明日への宿題などがはっきりします。楽しみつつ日々前進できます。放送大学生活などから生き方として、生まれ出たものかもしれません。皆様、いつまでもお元気でお過ごし下さいませ。

◆**吉門憲宏** 横浜市瀬谷区：お世話になります。

◆**吉田啓子** 横浜市南区：今を生きる。参加して良かった面接授業の思い出は、鹿の生態を求めて宇都宮大学へ。真夜中に茂みの中からキラッと目が光り、思わずパチリとカメラに収めた。とても可愛い鹿であった。弘前大学では白神山地の中を熊よけの鈴を付け、植物と動物の生態

を求めて先生達と一緒に歩き回った。白樺と新緑に包まれての楽しい実習であった。

◆**吉田とよ子** 茅ヶ崎市：放送大学で一番の思い出は、卒論に取り組んだ時のことです。今までで一番真剣に勉強し、ゼミで知り合った皆さんと励まし合ったこと、先生の熱心なご指導に感激したことは、私の大切な宝物です。

◆**和田洋子** 鎌倉市：放送大学で学んだ心理学を支えに、福祉の仕事が続けています。若い頃、横浜国立大学の宮脇先生の植林を知り、いつか先生について植林ができるようになればと思っていました。思いがけず学友から、先生の一番弟子の藤原先生が指導して下さいるサークル「植生研究会」を知り、先生たちの引率で南相馬、外国の植林に参加できました。植林、外国の人達との交流は、一生の喜びになりました。

◆**渡辺和子** 横浜市港南区：役員の皆様、いつもありがとうございます。感謝しております。

◆**渡邊武治** 茅ヶ崎市：ご苦労様です。今後とも宜しくお願い致します。

◆**渡邊久江** 横浜市神奈川区：平成 16 年の面接授業（琉球大学）「楽しい水泳」を受講し、テーマのとおり「楽しかった」ことがまるで昨日のこのように思い出されます。朝、羽田をたち午後の授業に出席、校内で集合場所を尋ねた男性は担当の先生。持参したランチを食したのは先生の研究室でした。プールの大きさに目を丸くし、足に付けた大き過ぎるフィンに悩まされましたが、最後には泳ぐことの心地よさを十分味わいました。

◆**渡辺芙美江** 横浜市金沢区：日本には東大をはじめ、私学を含め 700 校以上の大学があります。それらの大学で多くの人々が専門知識を学んできました。事情で大学生活を送れなかった人も。卒業して資格を取った方も。更に、新たな分野の学びを考えている人々に立派な教授陣を擁している放送大学を宣伝したいと思います。生涯学習をめざす人々に充実した学問を提供できる放送大学。宣伝していきます。

会員特別寄稿

木村勝紀さんを偲んで



永井藤樹
神奈川同窓会の元会長で、放送大学同窓会連合会の元会長でもあった木村勝紀さんは2017年3月16日、横浜鶴ヶ峰病院でお亡くなりになりました。今年で4年になります。2017年3月12日には喜寿を迎えられたばかりでした。

木村さんは血色もよく筋肉質の引き締まった体躯で、およそ「病」とは縁のない人だと思っていました。木村さんと私とは私鉄沿線の隣り合った駅がお互いの最寄り駅になるので、同窓会の役員会が終わると一緒に帰ることがしばしばで、ある時お父さんの名が「岩吉」と話されるのを聞いて強く納得できたことを覚えています。お名前の通り巖のようにがっしりした体躯の方を想像し木村さんはお父さんから、それを受け継がれたのだと思ったからです。ですから私には木村さんが亡くなられたことが信じられませんでした。訃報に接した時は、驚天動地・青天の霹靂、これは何かの間違いではないか。なぜなら5日前の3月11日に同窓会役員会で元気に歩かれている姿を拝見し、話しましたからです。

木村さんは放送大学卒業という誇りと母校意識の絆と社会貢献を理念とする「Kanagawa Way」を提唱され、神奈川同窓会の進むべき道を示され、優れた指導力を発揮されました。

木村さんはあるサークルの「食文化研究会」を主催され、谷中・根津・千駄木を中心に、下町の有名な食べ物のお店を案内してくれました。岡本かの子の短編『家霊』に登場する「どじょう店」の描写は、隅田川に架かる駒形橋近くの「駒形どぜう」をモデルにしたかのような雰囲気のお店です。また、鶯谷駅近くの「笹乃雪」では多彩な豆腐料理が味わえ、風味豊かな絹ごし豆腐を頂きました。「笹乃雪」近くの「子規庵」は虚子をはじめ漱石ら多くの文化人が集まった所です。「子規庵」と道路を隔てて、書家として著名な中村不折のコレクションを展示した「書道博物館」もあります。木村さんの謙虚で惜しみ

なく溢れる奉仕の精神から「食」を「文化」として教えられ、同時に今まで知らなかった数々の名所旧跡を案内してくださいました。

木村さんは「ミラクルカムバック」を宣言しました。私は木村さんの言葉を信じました。最初は杖を突いて歩き次第に杖なしで人混みを歩けるまでになりました。特に横浜駅のコンコースは毎日がお祭り騒ぎのような人出で、急ぎ足の無秩序な雑踏の中の歩行は容易ではありません。

木村さんは2014年3月の放送大学の卒業祝賀会の実行委員長に就任し、それをどうしてもやり遂げたいという心念から、医者への承諾を得て無事、祝賀会を成功させました。木村さんの責任感の激しさを感じます。

木村さんは姿勢を正しフットワークよろしく、血糖値を下げるべく1日8000歩を課し、1年かけて徹底的に運動療法、食事療法に取り組んだ結果、ヘモグロビンA1cが10から5.9まで下がり白内障の手術に堪え得る状態に持ち込み、視力を快復させ、読書を何よりの楽しみにして嬉しそうに何度も読後感を発信してくれました。

木村さんは悪性リンパ腫（血液のがん）で「5年生存率は60%」と告げられると「よし！それなら60%に入るよう頑張る」と。「5年生存率60%」とは、この病気にかかった10人中、6人までは5年後まで生きていますが、4人は5年以内に亡くなるという意味です。木村さんは発病して、3年半で亡くなりました。不幸にも5年以内に該当してしまったわけです。一時はがんが寛解し退院もされましたが、病魔は片時も木村さんを追い詰める手を緩めなかったのです。何という痛恨事、何という不条理なことでしょう。

リンパ腫は現在の医学では、完治できない病と聞きます。生涯、抗がん剤を服用しなければならず、薬の副作用で免疫力が低下し、多臓器疾患になって亡くなるようです。

私が市立図書館に行くとき、木村さんのお住まいが近いバス通りを通ります。必然的に木村さんを思い出します。私の中では今も木村さんが生きています。



故木村勝紀元会長

20周年後の活動報告

フェスタ・ヨコハマにおける活動

植地勢作

2020 年度は新型コロナウイルス (COVID-19) の蔓延にともない中止となってしまいましたが、神奈川同窓会は例年フェスタ・ヨコハマの中でホームカミングデー、お茶席、太極拳、大福引大会の運営を担ってきました。

これらの諸活動について、各活動の発足順に経過を振り返りながら概要をご紹介します。

1. 大福引大会

1983 (昭和 58) 年に放送大学が設立され、1985 年に授業が開始されました。当時は毎日通ってくる若い学生が多く、学生間の交流を図ろうと、1987 (昭和 62) 年に第 1 回学園祭 (フェスタ・ヨコハマ) が開催されました。伊東廣明氏 (第 6 期会長) によれば、「ビンゴや短歌などを楽しくやった」ということですから、フェスタ・ヨコハマ発足当初から福引大会は行われたようです。

さて、出席者が心待ちにし、フェスタの最後を飾るイベントはなんとといっても「大福引大会」です。「ビンゴ」は時間がかかりすぎるので、2012 (平成 24) 年に「福引」方式に改められ、さらにパソコンの導入によってスピードアップが図られて、商品も豪華になりました。抽選方法は、一連番号の捺印された入場券購入者の半券から当選者を決める方法です。箱の中から半券を引き抜き、当選番号を読み上げ、スライドで表示する仕組みです。



2. お茶席

同窓会主催の「お抹茶コーナー」は 2009 (平成 21) 年に初めて開催されました。受付で先着 100 名の方にクジを引いていただき、当選した 30 名の方に参加していただきました (基本的には現在も同じ方式)。第 1 回では同窓会会員の今井宗慶先生他 2 名の方に協力を得ました。また、石弘光学長にも飛び入りで参加していただいています。

2013 (平成 25) 年に「茶道同好会」が発足し、同窓会員でもある表千家の家田禮 (宗禮) さんの指導の下に大岡地区センターで年 9 回ほど稽古を重ね、同年から「お抹茶コーナー」を担当し、現在に至っています。

極めて好評で、毎回、「日本文化と礼儀作法に触れた」「忙しい日々を追われているが、我を取り戻すひとときとなった」など好意的なメッセージが数多く届いています。

2014 (平成 26) 年からは、同年に始まった「ホームカミングデー」とコラボしました。ちなみに 2019 (令和元) 年は、1 日目には 2 回開催して参加者は 30 名、2 日目は 5 回で 64 名、合計 94 名の方に「お抹茶」を楽しんで頂きました。

なお、茶席は椅子と卓を使用しています。これは、明治時代になって茶道の衰退を憂えた裏千家の玄々斎千宗室が明治 5 年に考案した「立礼 (りゅうれい)」という作法です。



3. 太極拳

高齢になると足腰が弱くなり、バランス機能も低下し転倒しやすくなります。また、高齢者は心肺機能が低下し、呼吸が浅くなり、風邪や肺炎に罹りやすくなります。太極拳は高齢者の足腰とバランス機能の強化と心肺機能を高めるのに効果的な運動です。

2013 (平成 25) 年 11 月に大岡地区センターで、同窓会の澤村雅嗣さんの指導の下に、石田弘子さん、尹秀蘭さんにも手伝っていただき初めて太極拳を開催しました。澤村さんは中国の大連市にある遼寧師範大学に留学され、本場で太極拳をしっかりと身に付けてこられた方です。

こののち慣例として、映画上映会、弘明寺サロンの終了後にはほぼ毎回太極拳を行い、参加者の凝り固まった体をほぐし、皆さんから感謝されてきました。

ホームカミングデーでは懇談会終了後、第 3 講義室に会場を移し、澤村さんの解説の後太極拳を行い、さらには、石田さんや尹さんの模範表演を楽しみながら、健康増進に努めています。



4. ホームカミングデー

「弘明寺サロン」が軌道に乗ったある日のこと、金田事務局長 (当時) から「同窓会と疎遠になっている卒業生を呼び戻したい。最近『ホームカミングデー』というのが注目を浴びている。『フェスタ・ヨコハマ』でやりたい。検討していただけないか」と、それとなく相談を受けました。

「無から有を生み出す」ことほど難しいことはありません。役員の方々の知恵を借りながら、素案を作り、センターの協力を得ようと所長に相談したところ、「何とかして入学者を増加させたい」と考えていた学校側と意気投合、共同開

催ということになりました。

2014 (平成 26) 年に第 1 回ホームカミングデーを開催、昨年で 6 回を数えました。会場は第 4 講義室、机・椅子をフルに活用して座席をつくり、座談形式にしました。

初日のメインは所長、事務長に出席していただき、所長・同窓会長の挨拶のあと、軽食付きで親しく懇談をし、参加者から自己紹介をしていただくという趣向です。再入学の勧誘に向けて、壁際、窓際をフルに活用しています。

- ・学習センターは、入学勧誘のためのパンフレット (土産付き) を配置します。

- ・同窓会は、会の PR 看板を始め、『波濤』のバックナンバー、「弘明寺サロン」「プラン」と「あしなが育英会」「企画行事」の各紹介パネルの展示、活動記録 DVD の上映など。さらに茶道同好会とのコラボで、お茶席券を発行するという魅力満点な企画となっています。懇談終了後には第 3 講義室に、先述のように移し、太極拳で緊張をほぐします。

2 日目には会場の設営を残し、来場者が気楽に利用できるようにしています。

参加者からは、「所長と親しく話げできた」「とても和やかな雰囲気」「アットホームな雰囲気」など多くの好意的な感想をいただいております。参加者は 2 日間で 200 名近くに上っています。



学習センター所長の挨拶



参加者からの一言

20周年後の活動報告

卒業・修了祝賀茶話会

浅井 公子

10 年前の 2010 年度（平成 22 年度）学位記授与式は、2011 年 3 月 11 日の未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」により大学本部での式典は中止になり、急遽、神奈川学習センターでは「学位記授与式」が挙行され、渡邊センター所長から一人ひとりに卒業証書が授与されました。同窓会では桜茶とテーブル花にささやかなお祝いの気持ちを込め卒業・修了生をお迎えし、式典が始まるまで思い思いの時間を過ごして頂きました。正面テーブルには被災者の方々への義捐金箱が神奈川学習センター・同窓会・サークル協議会・K サポート共同で設置されました。

秋の卒業証書・学位記授与式は、毎年、神奈川学習センターで挙行され、記念撮影後の祝賀茶話会は、大学内の講義室で開催され、参加された卒業・修了生の一人ひとりに、この日を迎えるまでの思いの丈を存分に語って頂き、学ぶことの楽しみや喜びを実感しながら和やかな雰囲気の中で終了します。

2015 年には、「秋の卒業生だけでなく、春の卒業生もぜひ神奈川学習センターでお祝いしましょう」との池田センター所長のご意向で 3 月の「卒業生の集い」が実現し、その後、祝賀茶話会が学習センターと同窓会の共催で開催される事になり、現在に引き継がれています。

神奈川同窓会では春の「卒業生の集い」と「秋の学位記授与式」の式典行事に先立ち、茶道同好会を中心に出席者の皆様に、式典会場前で桜茶を差し上げ、お祝いの気持ちをお伝えしています。桜茶はおめでたい象徴の飲み物で、お湯の中で花が開く事に「今後の未来が開く」という意味が込められているそうです。祝賀会場は 5 島にテーブルが配置され、テーブルの一輪挿しは季節の野花で彩られ、心尽くしのお茶菓子と飲み物で卒業・修了生をお迎えします。各テーブルには、学習センター所長はじめ客員教授のご出席を頂き、同窓会では、同窓会活動の

説明や様々な質問に対応出来る体制で臨みます。

式典が終了し、晴れ晴れとした面持ちで入場される皆様には、お名前とコース名を書き込んだ名札を付けて頂きます。学習センター所長と同窓会会長の簡単なご挨拶の後、卒業・修了生の「一分間スピーチ」が始まり、この晴れの日を迎えるまでの体験談や苦労話、今後の抱負を披露したり、仕事の紹介依頼をするなど打ち解けた和やかな雰囲気の中で交歓が行われ、披露されるスピーチに周りの皆様は大きな拍手を送ります。スピーチが終了すると自由にテーブル間を移動し、テーブルに入って頂いた先生方との忌憚のない会話も弾みます。皆様にとり、共に学んだお仲間の貴重な体験談を聞く機会を得て、卒業・修了の喜びを分かち合い、次に繋げる方々の名刺交換などが続きます。帰宅時にはご自分の名札をお持ち帰り頂くのですが、名刺入れに大切そうに仕舞われ記念にする姿に、今後の未来が花開いてほしいと願いながらお見送りしています。

そして、この日を機に同窓会にも関心をお持ち頂き、いずれ同窓会会員になられ各種の活動に参加して頂ける日をお待ちしています。



桜茶に祝意を込めてお迎え



卒業・修了祝賀茶話会

20周年後の活動報告

春・秋の行事

勝山悌治

2011 年から 2015 年までは「弘明寺サロン」
として実施された行事があり、それ以外の行事
としては次の内容のものがありました。

- ・ 2011 年 7 月 3 日
：歌舞伎鑑賞教室（国立劇場）
- ・ 2011 年 11 月 26 日
：日本民家園と岡本太郎美術館
- ・ 2012 年 6 月 19 日
：能と狂言観賞教室（国立能楽堂）
- ・ 2012 年 11 月 21 日
：蕎麦打ち体験教室
- ・ 2013 年 11 月 23 日
：鎌倉の秋を歩こう（本覚寺～由比ヶ浜）

2016 年からは春・秋の行事を行事担当が企画・
実施することになりました。その内容について
報告します。なお文末の氏名は各行事の報告者
です。

◆2016 年春の行事：江ノ島ヨットセーリング

6 月 3 日（金）参加者 21 名は大型帆船「や
まゆり」に乗船しセーリングを楽しみました。

「やまゆり」は 1964 年東京オリンピックのヨッ
ト競技の運営のために建造された木造帆船です。

約 3 時間鎌倉、逗子、葉山、方向転換して江
の島の裏側を回り茅ヶ崎と海から一望する湘南
海岸の景色も新鮮で素晴らしいセーリングでし
た。昼食は江の島の「しらす丼」をいただき、
江の島を丸ごと堪能した一日でした。

（万場由美子）

◆2016 年秋の行事：シーサイドラインに乗って
学び楽しむ旅

11 月 8 日（火）26 名で金沢シーサイドライ
ンの見学会を実施しました。並木中央駅に隣接
した車両基地の指令区で無人運転の仕組み、検
修区では車両構造などの説明を受けました。

次に横浜テクノタワーホテルで昼食をとり、
その後ホテル近くにある各食品工場の直売所で

買い物を楽しみました。

次いで野島公園に向かい、伊藤博文公によつ
て建築された茅葺屋根の建築物を見学。客間棟
の「夕照の間」では、参加された同窓会会員の
古内さん自作の掛け軸が掛けられており、その
説明を受けることができました。

そのあと、野島山の展望台まで行き、八景島
など 360 度の眺望を楽しみ、希望者は懇親会へ
と向かいました。（佐藤 敬）



旧伊藤博文金沢別邸

◆2017 年春の行事：能楽鑑賞

6 月 23 日（金）参加者 30 名が国立能楽堂で、
能・狂言を楽しみました。写真撮影の後、資料
展示室を見学しました。

11 時より、満席の中、全員が最高の正面席で、
恐ろしい鬼女の能（黒塚）と滑稽な狂言（附子）
を堪能しました。今回の流派は、能はシテ金春
流であります。13 時過ぎより、お食事処＜向日
葵＞で昼食を共にし、団欒の後、お開きとなり
ました。（勝山悌治）

◆2017 年秋の行事：2 つの工場見学

11 月 10 日（金）参加者 30 名は東京ガス根
岸 LNG 基地を見学しました。ホールで LNG の説
明を受けたあと構内をバスで見学し、そして LNG
による実験、その後活発な質疑応答がありました。

そのあとホールで昼食を済ませて集合写真を
撮り、次の見学地キリンビール工場へ向かいま
した。

この工場はキリンビール工場の中で一番古く、
また最も大きな工場です。ガイドの説明を受け
ながら見学通路を歩き、設備機器や映像で製造
ラインを見学するものでした。

見学後、試飲コーナーで 3 種のビールやソフトドリンクを楽しみました。その後は希望者による懇親会を行いました。(佐藤 敬)



東京ガス根岸 LNG 基地

◆2018 年春の行事：能楽鑑賞

6 月 22 日(金) 参加者 34 名が国立能楽堂で、能・狂言を楽しみました。写真撮影の後、資料展示室を見学し、大変感銘を受けました。

11 時より満席の中、全員が最高の正面席で、嫉妬と恨みの感情でいっぱいになった六条御息所の生霊(能：葵上)、清水に鬼が出たと嘘をつく太郎冠者(狂言：清水)を堪能しました。今回の流派は、能はシテ喜多流、狂言は和泉流であります。その後、<向日葵>で昼食を共にし、団欒の後、お開きとなりました。(勝山悌治)

◆2018 年秋の行事：2 か所の歴史博物館の見学

11 月 2 日(金) 小春日和の中、参加者 33 名は JR 桜木町駅を出発、神奈川県立歴史博物館に到着し、集合写真を撮り、学芸員の出迎えを受けて入館しました。初めに、特別展<鎌倉ゆかりの芸能と儀礼>、次に常設展<都市鎌倉と横浜開港>について、ボランティアの方の説明を受けました。

その後、老舗(天吉)で昼食を済ませ、地下鉄に乗り、横浜市歴史博物館に到着、学芸員の説明と VTR による横浜の歴史の鑑賞。常設展(生活の歴史)、企画展(寄木細工)を見学しました。

大塚・歳勝土遺跡公園でも学芸員の説明を受け見学し帰路につきました。(勝山悌治)

◆2019 年春の行事：能楽鑑賞

6 月 28 日(金) 天候にも恵まれ、参加者 36 名は国立能楽堂で能・狂言を楽しみました。集合写真撮影、チケットの配布後、資料展示室では、所蔵の能楽資料を見学しました。

11 時より満席の中、全員が最高の正面席で、源義経と静御前の別れの舞、平家の怨霊との立廻り(能：船弁慶)、間抜けた 2 人の山賊の遺書騒ぎ(狂言：文山立)を堪能しました。今回の流派は、能はシテ観世流、狂言は和泉流であります。

13 時過ぎより、併設のお食事処<向日葵>で昼食のひと時を過ごし、団欒のあとお開きとなりました。(勝山悌治)



国立能楽堂

◆2019 年秋の行事：3 か所の資料館見学

11 月 1 日(金) 小春日和の中、参加者 32 名は JR 桜木町駅を出発、海上保安資料館に到着し、入館して説明を受けました。当館では、特に九州南西海域工作船事件にかかる北朝鮮工作船及び回収物などが展示されており、正当防衛射撃とその後の自爆の生々しさに衝撃を受けました。



海上保安資料館

次に税関資料展示室に移動し、DVD による麻薬・銃器・爆発物などの取り締まり、関税の徴収、貿易の円滑化の取り組み等が紹介されました。そのあと、館内の説明を受け展示品を見学。

その後、横浜開港資料館に入館し、横浜開港時などの歴史資料を見学しました。そして老舗(天吉)で和食を共にし、団欒のあと帰路につきました。(勝山悌治)

20周年後の活動報告

社会貢献活動（プラン）

石橋正彦

放送大学の全国の同窓会の中で、神奈川同窓会が活動として特筆すべきことは、社会貢献活動です。初期の先輩方が、先ず同窓会としてなすべきことは社会貢献活動で、それも「途上国の子ども達に対する支援」という課題に着目したという先見の明に驚かされます。

この Plan International Japan（以下プランと略。当初はフォスター・プランの名称でした）を通じて、会員の皆様のご賛同を得て、1992年（平成4年）から毎年、1人当たり6万円を教育と生活環境改善のために途上国の子ども達への支援として、プラン事務局へ送ってきました。最初は2名の支援から始まったのですが、暫時増やして、2003年（平成15年）からは5名の子ども達（年間30万円）を支援し、さらに2019年後期からは会員の皆様からのご寄付額が増加したことから6名の子ども達の支援が可能となり、支援額も年額36万円になりました。

さらに2015年からはプラン事務局からの自然災害などに対する緊急支援要請にも対応するようになりました。こうして会員の皆様のご支援とご理解により、2019年は約200口、40万円ものご寄付を会員の皆様から頂くようになり、これまでの29年間で総額7,495,000円にもなりました。まさに継続は力なりです。

私達の支援の実績が目に見える形になっている実例を紹介しましょう。2019年に、それまでの「バングラデシュの男の子の支援を終了する」という連絡がプラン事務局からありました。以前、年齢が18歳になったからという理由で、支援が終了になった例がありましたが、このバングラデシュの男の子の場合はまだ10歳くらいなので、支援年齢終了ということではなく、支援している地域そのものがプランの目的達成となり、地域全体の子ども達の支援が終了したのです。この支援目的達成というのは本当に喜ぶべきことで、私達も事務局ともども嬉しく思ったものでした。そしてこのバングラデシュの男の子の代

わりにフィリピンの4歳の男の子の支援が始まりました。

私は以前、個人的にフィリピンのマリンドケという小島に住む子どもの支援をしていた時に、機会があって、現地訪問をしたことがあります。マニラから飛行機で30分位の静かな島でしたが、プランの支援により川からポンプで水を汲み上げ、地域の人たちが飲料水などにしていました。また、支援している子どもの家の台所の床がコンクリートで作られていました。そして、地域の子ども達の学校には教科書が用意されていました。

プランを通じて地域の子どもの教育・生活環境がこのような改善されている実態を見て、途上国の子ども達への支援の大切さを実感しました。



最近では地球温暖化の影響もあって、自然災害が多くなっています。今までに経験したこともないような異常気象が頻発しています。しかしわが国は自然災害に直面しても、時間はかかっても復興することが出来ます。また、世界は今コロナ禍の中にあります。先進国はそれなりに対応出来ていますが、途上国では、「手を洗う水がない」「生活するための食糧が十分でない」など感染防御以前の絶対貧困の問題が山積しているようです。

私達は社会貢献という同窓会の活動を単に施し、あるいは自己満足と受け止めることなく、放送大学であるからこそ取り組める生涯学習の一つの在り方として、この社会貢献活動から多くのことを学び取ることが出来ると思います。これからもプランを通じての社会貢献活動に積極的なご支援とご理解をよろしくお願い申し上げます。

20周年後の活動報告

社会貢献活動（あしなが育英会）

村田カズ子

放送大学の叢書販売が 2011 年から始まったことを『波濤』42 号、46 号で紹介しています。国内の社会貢献活動は同窓会役員の奉仕活動で左右社発行の叢書の委託販売を行い、販売手数料を「あしなが育英会」に寄付することで始まりました。

2009 年 3 月 30 日、『茶の湯と生け花の歴史』『動物の生存戦略』『音楽家はいかに心を描いたか』この 3 冊の叢書の創刊が契機でした。

当時の副学長、柏倉康夫放送大学名誉教授が学内に「叢書委員会」を立ち上げられました。叢書誕生の秘話は『波濤』53 号で柏倉先生と同窓会会員の古内都さんお二人の語らいの中で、対談形式で掲載されています。

放送授業終了後は著作権が著者に返されますので、一般読者にも読んで貰える本として印刷教材（テキスト）に専門分野の最新の知識を盛り込んだ放送大学叢書として出版されています。

ところが、この春、突然起こった「新型コロナウイルス'19」コロナ禍で新刊の入庫が滞っています。

① NO. 48 『現代中国・都市と農村の 70 年』

著者浜口充子教授 2019. 9 既刊。

② NO. 49 『となりの心理学』

著者星薫教授 2020. 6. 30 刊行。

③ NO. 50 『新・住宅論』

著者難波和彦教授 2020. 7. 31 刊行。

学習センターの諸行事が中止になり、皆さんも周知の通り神奈川学習センターは一部の施設利用のみ予約制で、人数制限があります。

コロナ禍で叢書販売は 2020 年 4 月以降行っておりません。生活様式も三密を基本に“新しい生活スタイル”が必須です。

“自由に行動できる”ことのありがたさを地球上の人が今、痛感しています。

学習センターの利用が再開できるようになった時に、年間予定に倣い、次のように叢書とともに、まなびー及び徽章の販売を行います。

(2020 年度)

・卒業生の集い 3 月 (2021 年)

(2021 年度)

・入学者の集い 4 月、10 月

・卒業生の集い 9 月、3 月 (2022 年)

・同窓会総会 5 月

・フェスタ・ヨコハマ 9 月

あしなが育英会の奨学生は給付型(返還なし) + 貸与型(要返還)の奨学金だけではなく、アルバイト収入で学びを続けています。今回のコロナ禍で仕事がなくなり、収入が途絶え、生活に困窮しているのが実情です。

高校、大学教育、学びの場を失いかねない国内の若者に神奈川同窓会会員として、更に救いの手を差し伸べることが責務ではないかとの意見が寄せられています。

この事実を真摯に受け止め、何らかの救済の方向付けが可能になることを神奈川同窓会あしなが育英会担当として願っています。

一刻も早く、新型コロナワクチンが実用化され、新しい生活様式の中での自由が戻り、安心して私たち放送大学生が全国各学習センターでの対面授業が再開できることを願ってやみません。



20周年後の活動報告

会内同好会

映画研究同好会

寺村紀美夫

映画研究同好会は 2013 年度に会員相互の「顔の見える交流の場」として発足しました。今迄に 15 回上映会を開催しています。過去の上映は邦画と洋画に区分けし名画と思われるものを上映致しました（実施日と題名は下表参照）。

現在本同好会の担当は 4 名で、2014 年より邦画を 2 月に、洋画を 8 月に年 2 回開催しています。上映後は会場を移動し懇親会となり「顔の見える交流の場」としています。

| 回数 No. | 実施日 | 題 名 |
|--------|----------------|----------------|
| 1 | 2013年9月18日(水) | 二十四の瞳 |
| 2 | 2013年11月20日(水) | ローマの休日 |
| 3 | 2014年2月19日(水) | 喜びも悲しみも幾年月 |
| 4 | 2014年8月16日(土) | グレンミラー物語 |
| 5 | 2015年2月22日(日) | 南極物語 |
| 6 | 2015年8月8日(土) | サウンド・オブ・ミュージック |
| 7 | 2016年2月13日(土) | ビルマの竖琴 |
| 8 | 2016年8月13日(土) | 風と共に去りぬ |
| 9 | 2017年2月11日(土) | 劔岳・点の記 |
| 10 | 2017年8月12日(土) | タイタニック |
| 11 | 2018年2月10日(土) | 細雪 |
| 12 | 2018年8月23日(木) | 禁じられた遊び |
| 13 | 2019年2月9日(土) | 黒部の太陽 |
| 14 | 2019年8月3日(土) | ドクトル・ジバゴ |
| 15 | 2020年2月8日(土) | 七人の侍 |

20周年後の活動報告

会内同好会
茶道同好会

渡邊久江

この会の発足の目的は、毎年開催されているフェスタ・ヨコハマ「お抹茶コーナー」でのお点前、所作や茶席の設えなどの向上のためでした。当時の会長木村勝紀さんのもと女性役員が中心となって準備をし、お茶碗などを買い揃え、また一般会員の方々から寄付をいただき、お道具一式を揃えることができました。

そして 2013 年 5 月の通常総会で、神奈川同窓会の「会内同好会」として他の同好会と共に承認され同年 9 月、11 名で正式に発足しました。発足以来、同窓会役員の家田禮（宗禮）さんのご指導のもと南区大岡地区センターで、年 9 回ほど第三水曜日に稽古を続けてきました。毎年行われるフェスタ・ヨコハマの「お抹茶コーナー」は大変好評で、抽選で参加者を決めています。

また 2018 年は新たな催しに参加しました。一つは、1 月 13 日に大岡インターナショナルレジデンスと神奈川学習センター国際交流グループ共催の「お正月体験会」でした。国内外の学生の皆さんの英語と日本語の飛び交う中、炉の切られている茶室のお点前は同好会にも良い経験となりました。

そしてもう一つは 6 月 23 日には神奈川学習センターで行われた韓国語同好会主催の「日韓文化交流」でした。19 名の韓国の皆さんにもお抹茶と和菓子でおもてなしをし、茶道の一端を体験していただきました。

しかし 2020 年 3 月からは新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を見合わせております。



家田禮（宗禮）さん

20周年後の活動報告

会内同好会
太極拳クラブ

澤村雅嗣

神奈川同窓会としては、2009 年より 2013 年まで、例年サークル成果発表会で太極拳を行い、好評を得ておりました。

2013 年 5 月の通常総会において、交流事業の一環として「太極拳クラブ」が正式に承認され、岡本、金田、澤村が担当することになり、第一回目の活動は、2013 年 11 月「大岡地区センター」で行いました。

2014 年よりフェスタ・ヨコハマで同窓会主催のホームカミングデーが開催されるようになり、毎回懇話会終了の後、太極拳クラブの指導の下、参加者全員で簡単な気功と呼吸法を行い、その後「太極拳／太極剣」の模範実技を行ってきました。また弘明寺サロンや映画上映後、参加者全員で気功、呼吸法を行っています。

太極拳は運動の三要素（有酸素、筋力、バランス）を兼ね備えており、特に高齢者には適した運動です。呼吸法は心肺機能を高め、精神の安定をもたらす効果があります。

太極拳クラブは、今後とも会員の皆様の健康維持に役立つよう、活動して行きたいと考えております。



模範演技「剣舞」



太極拳の実技

20周年後の活動報告

ホームページとメーリングリスト

宮崎博之

2010 年代の神奈川同窓会ホームページ（メーリングリストを含む）の移りかわりは、利用可能なインターネットサービスの変化への対応と、担当者を次の世代へ引き継ぐことに精一杯努めてきました。

ホームページ、メーリングリストともに、2007 年度総会にて年度内に開設することが承認され、ホームページは、寺村紀美夫氏の尽力により Yahoo 社（ソフトバンク系）のサービスを利用して、2008 年 1 月 1 日に正式公開されました。アドレスは、http://www.geocities.jp/hatoh_net/

メーリングリストは、故岡本興和氏により、hatoh-net@yahoogroups.jp のアドレスにて、2007 年 11 月 11 日 67 名登録でスタートしました。

放送大学の各同窓会の中でも、先行したホームページとメーリングリストの開設で、担当者は独学で技術を学び、おおきな労力を使って作成、運営してきました。ゆたかな内容で、時宜を得た情報の提供も可能になり、会員間のコミュニケーションになくてはならないものになってきています。

ところが、2014 年。突如 yahoo 社のメーリングリストがサービス終了になることが発表されました。急遽、引き継ぎ可能なサービスを探すことになりました。メーリングリストとして確実に機能すること、参加会員に手数料がかからないことを重点として、検討の上、IIJ 社のメーリングリストサービスに移転することになりました。現在 hatoh-net@iijnet.or.jp にて継続運用されています。

この経験を教訓として、インターネット技術の進歩により、今後もサービス打ち切りおよび新サービスへの切り替えが予想されるため、移転等の対応を容易にするために、ホームページも <http://hatoh.net> のアドレスを独自に取得して、万一サービスが中止されても、途切れることなく、運用できる体制を整えました。

また、総会資料や役員会議事録等を掲載する

ために、会員専用のホームページを、パスワードを設定して公開しました。

時の流れは、技術だけでなく人のところにも及んでいました。2015 年 9 月、現役の担当者の岡本興和氏が急逝されました。氏が中途になっている仕事を残さなかったことと、役員みなさんの努力で、各種の活動が中断されることはありませんでした。けれど、世代間をどう引き継いで行くか、難しい課題と、気づくきっかけになりました。

そして、ホームページも、重責を担ってきた寺村氏が、次世代への引き継ぎを希望されました。引き継ぎを容易にし、負担を低減することを目標として、検討を重ねました。そして、2019 年 7 月に、ワードプレスという仕組みを利用したシンプルなホームページにリニューアルしました。



神奈川同窓会ホームページ（2020 年 11 月現在）

リニューアルされたホームページは、コーナー設置の自由度が高くなっています。今後、会員投稿コーナーなどの発展の余地が大きい特徴があります。8 月にメーリングリストで、「戦争の記憶」の投稿募集がありましたが、整理のうえ、ホームページ上での掲載を計画しています。

これからも、ホームページとメーリングリスト、会員のみなさまに、有効に利用いただければ幸いです。

思い出のスナップ写真（2011年～2020年）



弘明寺サロン初会合（2011/8/17）



弘明寺サロン海辺の観察（2015/5/20）



生命の星・地球博物館（2012/11/14）



関東7センター30周年記念（2015/11/1）



入学者の集い 神奈川合唱団（2016/4/3）



ホームカミングデー（2016/9/3）



がん体験と教訓・木村勝紀元会長 (2016/10/15)



シーサイドライン車両基地見学 (2016/11/8)



フェスタ・ヨコハマ 福富所長講演 (2017/9/3)



シーサイドライン車両基地見学 (2016/11/8)



フェスタ・ヨコハマ 親睦パーティ (2017/9/3)



神奈川学習センター学位記授与式 (2017/9/23)



卒業・修了祝賀茶話会 (2017/9/23)



福富所長学位記授与



佐菜会長来賓祝辞



東京ガス根岸 LNG 基地見学 (2017/11/10)



キリンビール横浜工場見学 (2017/11/10)



東京ガス根岸 LNG 基地 (2017/11/10)



卒業・修了祝賀パーティ (2018/3/24)



上：銘酒コーナー
右：佐葉連合会会長の挨拶



神奈川の卒業・修了生の皆様 (2018/3/24)



ホームカミングデー (2018/9/1)



フェスタ・ヨコハマ 来生学長講演 (2018/9/2)



大塚・歳勝土遺跡公園 (2018/11/2)



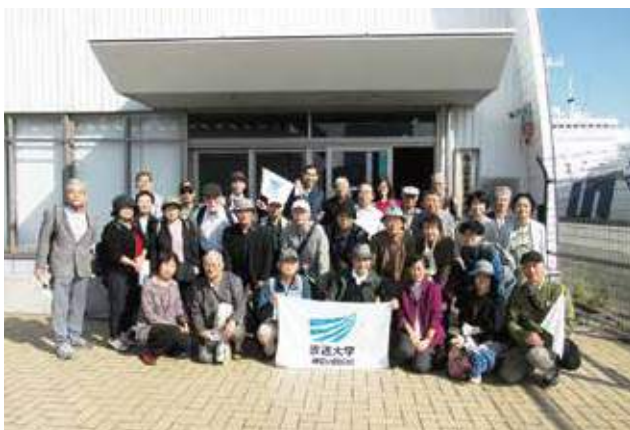
第 30 回通常総会 (2019/5/16)



近隣同窓会の皆さんと (2019/9/1)



総会に出席された皆様 (2019/5/16)



海上保安資料館横浜館 (2019/11/1)



2019 年忘年会 (2019/12/12)



神奈川学習センター学位記授与式 (2020/9/20)



福富所長式辞



金田会長来賓祝辞

2020 年 9 月学位記授与式

2020 年（令和 2 年）9 月の放送大学「卒業証書・学位記授与式」は、神奈川学習センターで 9 月 20 日（日）に開催されました。卒業者は 158 名、うち式典出席者は第 1 部 10:00～11:00（31 名）第 2 部 13:00～14:00（30 名）の 2 回に分けて挙行されました。今回は新型コロナウイルス（COVID-19）の感染状況により、開催が危惧されておりましたが、神奈川学習センター所長および教職員の方々の周到な諸対策の上で開催に至りましたことは大きな喜びです。他の学習センターの中には残念ながら学習センターでの式典を断念、オンラインでの学位記授与式を行わざるを得なかったセンターもありました。式典は三密を避けるため、短時間に簡素化され、学位記の授与の方のみ本人に手渡され、成績優秀者・最高齢者・名誉学生紹介はお名前のみ紹介されました。

福富所長より祝辞とともに「学位授与式」を英語では commencement といい、卒業と同時に開始も意味する日本には無い概念ですが、これからも学習を続けて下さいとのお話でした。

来賓祝辞では神奈川同窓会の会長として、金田より「人生 100 年時代」といわれ、果てしなく遠い道程も仲間がいれば楽しく頑張れる。「旅の良い道連れは、旅路を短くさせる」（Izaak Walton）を引用し、卒業を機に同窓会に入会し良き道連れとして一緒に活動して頂きたい旨話しました。また当日これまで行われてきた学習センター・同窓会共催の「卒業・修了祝賀茶話会」は中止の報告をしました。続いて 3 名の客員教授からそれぞれ祝辞を頂き、簡素ながら旅立ちに相応しい式典になりました。（金田保男）



卒業生の言葉

道半ば・・・まだまだです

小笠原 郁恵



私の職業は看護師です。仕事柄、日本看護協会、協会ニュースという業界新聞が定期的に配布されます。その紙面の下部に各種通信制大学の広告があり、放送大学もその中の一つにあり

ましたが、目にはしていても気にもしていませんでした。

平成 25 年に認定看護師の資格取得のため養成校に通学しました。そこには全国から同じ目的を持った看護師が 30 名集まりました。学んでいる仲間の看護師の一人が、放送大学に籍を置いて論文を書いていると聞き、論文はどうやったら書けるのか興味を持ちました。

養成校を修了し職場に復帰するとすぐに放送大学に入学しました。あれから 5 年の月日が経ってしまいましたが、やっと昨年、卒業研究を成し遂げることができました。しかし、最終目標は「看護学士取得」なので道半ばです。研究レポートには未だに着手できていません。構想はあるので成し遂げたいと思っています。

5 年間で一番の思い出は、神奈川学習センターのバス研修旅行で、上野にある国立西洋美術館や大田区城南島のごみ処理施設を見学したことです。バスの中では校歌を聞くことができました。また、手作りの資料の配布があり、皆様が旅行中も勉強していることに感心し驚きました。また向学心が高く、一人でいくつものコースを卒業されている方ばかりでした。当時は、自分にはあり得ないと思っていました。

しかし、勉強したい科目が見つかり、新たに「心理と教育」コースに入学しました。自分の思っていることを的確に表現するには沢山の語彙が必要です。印刷教材を読んでいると表現に学ぶことが多く、「大変！」と覚えることも多いのですが単位認定試験に合格し、一つずつ積み上げる過程が楽しいです。

次は、統計が理解できるようになりたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

卒業生の言葉

これからの生き方を求めて

山田悦子



家庭の事情で短期大学の進学しか許されなかったの
で、四年制大学卒業は私の
夢でした。40 代の頃、仕事
のスキルアップのため選科
生として入学しましたが、

保育士としての仕事と子育てで勉強を続けることが
できませんでした。

定年退職をして時間に余裕ができたので、短大
で学んだ栄養学を学び直そうと栄養専門学校に入
学しました。そこを卒業すると、もっと栄養学を
深めたい気持ちが強くなっていました。「医学が
進歩しているのになぜ成人病が増えていくのか」、
「難病や精神疾患が増えるのだろうか」という疑
問が湧いてきました。世の中の進歩により早く、
大きく、多く、きれいに、を求めすぎて自然に育
つ食べ物ではなく、添加物が複合的に作用してい
るのではないかという仮定をもとに研究を深めて
いきたいという気持ちが膨らんでいきました。

大学院で研究をしてみたい気持ちが強くなり、
大学院受験を目指したのです。そのためには、全
科生となり大学を卒業しなければなりません。卒
業をした今こそ目標に向かってのスタートです。

学生生活で一番楽しかったことは同じ思いを
持って学ぶ仲間と出会えたバス旅行でした。世話
役の方々の行き先についての下調べを行った説明
や先生方の深いお話が聞けました。何よりも世話
役の方が率先して物事を進めるその態度に、これ
からの人生の過ごし方を学び取れたことが大きな
収穫でした。授業では視点の広がりを持つことが
できました。生涯現役でいられるのは通信教育だ
からこそですね。

卒業生ショートメッセージ

◆茅ヶ崎市 井堀園美：学歴にコンプレックスが
あり、50歳から働きながら学びました。大人になっ

てからの学習は充実しており、現在達成感を味
わっております。

◆藤沢市 田岡眞理：定年までに卒業できるよう
に頑張りました。コロナ禍の中、面接授業がなく
なり、どれだけ身に付いたか心配は残りますが、
また新しいコースを始めるので、新しい学びに期
待しております。

◆横浜市 小笠原 郁恵：「生活と福祉」コースを卒
業して「心理と教育」コースに再入学しました。
これからお世話になります。よろしく願います。

◆横浜市 村上卓三：2016年10月に入学し2020
年9月に126単位を取得し卒業。会社員の仕事柄、
専門分野での学問を深めるために入学し、卒業し
ました。現在大学院修士課程本科生を受験し結果
待ち状態です。

◆横浜市 曾我将之：科目の履修についてですが、
科目は自分の好きな分野や興味のある事柄につ
いて科目を選ぶのが良いでしょう。しかし全て好き
な分野や事柄の科目を履修するのは難しい。そこ
で新しい分野にチャレンジするのが良いと思いま
す。知見を広めて下さい。

◆横須賀市 長谷川将樹：なかなか時間が取れず、
私は他の方より卒業までに時間がかかっている
と思います。それでも諦めずに卒業できて良かった
です。様々な知識を身に付けることで、物事に対
処する時の考え方の幅が広がり、社会に出てから
も勉強することの大切さを知りました。また面接
授業では、他の学生の方とお話する機会もあり楽
しかったです。これからも勉強は続けていきたい
と思います。

◆鎌倉市 山田悦子：仕事を持ちながら学士の資
格を取りたくて、放送大学を選びました。同じ仲
間を得たくて参加したバス旅行の充実した内容は
とても得難いものでした。行く先の選び方や、バ
スの中での先輩の方々の積極的な、行く先々の説
明に感動すら覚えました。これからの人生も充実
したものになりそうです。

◆小田原市 天明浩之：理系一筋で仕事に勤しん
できましたが、文系の知識を身につけようと2015
年に「社会と産業」コースに入学。自分自身が納
得するまで学習し、5年半かけて卒業しました。
今期からは異分野の学習を続けるため「生活と福
祉」コースに入学しました。

「ミニサロン」開催のお知らせ

これまでの「弘明寺サロン」は主として神奈川学習センター内で、会員による発表や外部講師による講演などを開催してきました。

しかし新型コロナウイルス感染防止のため、この開催もできなくなり、「ミニサロン」と称してオンライン形式の Zoom を活用して行うことになりました。

第1回は12月12日、発表者は永井藤樹氏でスタートしました。なお発表者は、当面これまでに「弘明寺サロン」で発表された方をお願いし、参加者の皆様には事前に申し込んでいただきます。第2回は2月の予定です。その後の案内も「波濤ネット」でお知らせしますので、皆様のご参加お待ちしております。



大船フラワーセンター バラ園 (2020/10/30)

《事務局だより》

2020年8月18日(『波濤』59号掲載)以降の新入会者は下記の通り16名の方です。心より歓迎申し上げます。(敬称略)

| | | | |
|------|------|------|-------|
| 曾我将之 | 井堀園美 | 谷口俊一 | 小笠原郁恵 |
| 田岡眞理 | 今泉純二 | 天明浩之 | 吉崎久仁子 |
| 大野愛子 | 村上卓三 | 山田悦子 | 釜倉真紀子 |
| 勾坂行男 | 中村健志 | 長坂昌子 | 長谷川将樹 |

《お願い》

住居移転のあった方は、神奈川同窓会に連絡をお願いします。ハガキまたはホームページの URL: <http://hatoh.net/> の「入会案内欄」にて結構です。また Mail アドレスの変更があった場合も同様に連絡をお願いいたします。

(年会費納入のお願い) 例年「総会案内」と一緒に年会費「払込取扱票」を同封しておりますので未納の方はご協力の程お願いいたします。

口座名 放送大学神奈川同窓会
 口座記号番号 00250-4-□□16183 (右詰め)
 年会費 1,000 円 (送料はご負担願います)
 お問い合わせ 金田 保男
 Tel. 045-333-4426
 E-Mail: yasuo-kaneta-626531@hotmail.co.jp

2020年神奈川の秋 (撮影 佐藤 敬)



くりはま花の国 コスモス園 (2020/10/28)



三溪園 紅葉の聴秋閣 (2020/12/8)

『波濤』第59号記載氏名訂正について

「名誉学生」の後藤様のお名前に誤りがありました。お詫びし、訂正させていただきます。
 (正) 後藤 初江 (誤) 後藤 初枝

神奈川同窓会 30年の歩み

| 年 | 月日 | 神奈川同窓会の歩み | 会員数 |
|------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 1983年(昭和58年) 1985年(昭和60年) 1989年(平成元年) 1990年(平成2年) | 3.11 | 放送大学設立 授業開始(放送大学開学) 教養学部第1期生卒業 放送大学同窓会設立 | |
| 1990年(平成2年) | 6.30 7.08 10.07 10.20 11.11 12.16 12.19 | 同窓会神奈川学習センター支部設立準備委員会発足 (別所委員長、嶺田・加藤副委員長) 第2回設立準備委員会 規約・活動・支部総会準備委員会発足 第6回設立準備委員会 会則等まとめ 神奈川学習センター支部設立総会開催 初代会長 別所敏明 第1回役員会 役員業務分担および役員会運営について 第2回役員会 支部活動施策について、および賀詞交歓会参加 支部会報「創刊号」発行 | 119 |
| 1991年(平成3年) | 1.05 2.17 4.13 5.12 6.16 7.13 7.30 12.01 | 賀詞交歓会参加 第3回役員会 役員の出費の取り扱い 社会貢献への具体的活動および会報のネーミング募集 第5回役員会 本部役員を選任・在学生サークルとの連絡会 および社会貢献のテーマについて 第6回役員会 本部総会報告、第2回支部総会について 第2回支部総会開催(別所会長) 講演会 放送大学講師 仙洞潤子氏「ゴルバチョフ大統領 の来日以降の日ソ関係」懇親会 第8回役員会 支部会報のタイトルは『波濤』に決定 会報『波濤』第2号発行 第10回役員会 F・P(フォスター・プラン)実行委員会発足 F・P活動の資金確保は、寄付金および支部会計からの支出等 による。男女各一名の援助を当面の目標とする | 160 |
| 1992年(平成4年) | 会報 1.12 3.01 5.02 6.14 6.25~30 9.01 11.01 | 2.10 『波濤』第3号発行 9.09 『波濤』第4号発行 大学関係者・在学生による「'92ニューイヤーパーティー」 F・P 一人目のフォスターチャイルド グアテマラのピラール ちゃんの援助を開始 F・P (財)F・P協会による全国主要新聞掲載の広告に、 当支部の活動を紹介 第3回支部総会開催 役員改選第2代会長 加藤あいし 平成4年度よりフォスター・プランを別会計にする講演会 (財)F・P協会 後藤みどり氏「国際貢献について」 「大学の窓」でフォスター・プラン支援活動について放送 F・P タイのソムチャイ君援助開始 講演座談会：相模福祉村理事長 赤間一之氏「福祉と行政 について」 | 221 |
| 1993年(平成5年) | 会報 2.07 2.14 5.30 6.13 7.04 11.14 12.23 | 2.26 『波濤』第5号発行 8.28 『波濤』第6号発行 支部連絡協議会準備委員会(東京第二支部主催)出席 第20回役員会 第4回支部総会開催(加藤会長) 講演会 千葉工業大学 清水義夫先生「思考は柔軟ですかー 私の言っていることは嘘である」懇親会 第23回役員会支部運営費の件・第1回支部連絡協議会参加 第1回支部連絡協議会(東京第一支部主催)出席 講演会 坂井素思助教授「イギリス経済の文明的視点」 第2回支部連絡協議会(東京第二支部主催)出席 | 279 |

| 年 | 月日 | 神奈川同窓会の歩み | 会員数 |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 1994年(平成6年) | 会報 2.27 3.01 6.05 6.26 9.03 12.04 | 3.09 『波濤』第7号発行 8.25 『波濤』第8号発行 第27回役員会 支部運営費の収支現状から活動の縮小 を検討・本部へ給付金の増額を要請 F・P ケニヤのルーシーちゃん援助開始 第5回支部総会開催 役員改選 第3代会長 稲葉恒夫 講演会 神奈川学習センター所長 浜口充子教授 「中国における『公平』について」 第30回役員会 第3回支部連絡協議会は神奈川支部主催と決定 第3回支部連絡協議会(神奈川支部主催) 講演会およびF・P活動の紹介 F・P協会 煙草屋事務次長 第23回役員会「支部運営に関するアンケート調査」実施 のための小委員会発足・アンケート調査項目の検討等 | 341 |
| 1995年(平成7年) | 会報 2.05 3.18 6.01 6.11 7.09 7.09 10.29 11.01 11.19 11.26 | 2.25 『波濤』第9号発行 8.28 『波濤』第10号発行 第34回役員会 アンケート調査の結果によって想定される 支部運営等について 第4回支部連絡協議会(埼玉支部主催) 第35回役員会「支部運営に関するアンケート」の調査報告 ・支部会費等に関する会則改訂の件 F・P グアテマラのピラールちゃん小学校卒業の為援助辞退 第6回支部総会(稲葉会長) 支部年会費(1000円)制導入を承認 講演会 S・R・L 山下友一氏「あなたの体からSOS(健康診 断の数値についての知識)」 第37回役員会 支部年会費納入方法・記念誌発行の件 第5回支部連絡協議会(千葉支部主催)出席 「浜口先生を囲み組織について考える会」(本部主催)出席 F・P グアテマラのラモス君援助開始 F・P F・P活動についての勉強会 講師F・P協会 丸山和子氏 第39回役員会 記念誌発行委員会報告 | 462 |
| 1996年(平成8年) | 会報 5.01 5.30 6.30 9.01 9.28 10.19 12.01 | 2.29 『波濤』第11号発行 8.31 『波濤』第12号発行 F・P グアテマラのラモス君援助圏外へ移住の為援助終了 神奈川学習センター支部創立六周年記念誌『波濤特集号』発行 第7回支部総会開催 役員改選 第4代会長 押山睦生 講演会 同窓会事務局長 五十嵐一成氏「インターネットについて」 F・P グアテマラのエリザンドロ君援助開始 9月度卒業生へ同窓会会員のお誘い 講演会 本部初代会長 藤田茂光氏「自己と出会うまでの長い道」 F・P バングラディッシュのバロ・バラちゃん援助開始 | 571 |
| 1997年(平成9年) | 会報 1.19 3.14 5.25 9.21 10.01 | 3.01 『波濤』第13号発行 9.01 『波濤』第14号発行 臨時役員会 同窓会組織改編に関する神奈川支部の意見の纏め 第1回学習センター事務職員との懇談会開催 第8回支部総会開催(押山会長) 講演会 中島保寿牧師「心のケアについて」 講演会 F・P協会 伊勢崎賢治氏「現地から見たF・P制度」 F・P グアテマラのエリザンドロ君援助年齢を過ぎた為終了 | 632 |
| 1998年(平成10年) | 会報 1.31 3.08 5.24 5.24 6.01 6.28 | 3.01 『波濤』第15号発行 9.01 『波濤』第16号発行 第56回役員会 同窓会組織改編に関する神奈川支部の意見集約 第57回役員会 第9回総会開催 役員選出 第5代会長 藤井 輝 同窓会組織改編により各支部が独立 「放送大学神奈川学習センター同窓会」に改名 会則の新設 年会費納入者を会員の条件の一つとする 講演会 藤井洋子助教授「楽しみながら英語を学ぶ方法」 F・P エクアドルのレオニダス君援助開始 支援対象者4名に増員 F・P エルニーニョ災害緊急対策特別援助 | 645 |

| 年 | 月日 | 神奈川同窓会の歩み | 会員数 |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 1998年(平成10年) | 9.06 9.26 | 第61回役員会 パソコン購入の検討 9月度卒業式パーティーで祝辞 会員募集 (入会金5000円・年会費1000円) | 645 |
| 1999年(平成11年) | 会報 2.28 3.14 5.16 9.19 9.25 11.14 | 3.01 『波濤』第17号発行 9.01 『波濤』第18号発行 第64回役員会 同窓会内規等見直し 講演会 F・P協会 松本紀子氏、広本正郁子氏 第10回総会 (藤井会長) 講演会 放送大学 笠原潔助教授「洋楽移入の入り口ー横浜ー」 第67回役員会 10周年記念誌編集委員会発足 9月度卒業式パーティーで祝辞 会員募集 第68回役員会 10周年記念行事等の検討 | 671 |
| 2000年(平成12年) | 会報 会報 2.11 5.14 6.04 9月 | 3.12 『波濤』第19号発行 9.01 『波濤』第20号発行 9.01 創立10周年記念誌『波濤』特集号発行 F・P タイのソムチャイ君訪問 第11回総会 役員改選 第6代会長 伊東廣明 講演会 神奈川学習センター所長 新飯田宏教授 「私の見たアメリカン・ライフ」 創立10周年記念行事 「鎌倉散策・花巡り」 F・P 支援チャイルド5名に増員 | 749 |
| 2001年(平成13年) | 会報 4月 4.15 5.13 8.26 9.30 11.11 11.30 12.09 | 3.01 『波濤』第21号発行 9.01 『波濤』第22号発行 大学院設置 連合会参画 第4回総会および連合会開催 第12回通常総会 講演会 演題「ゲーテの業績について」 講師：放送大学助教授 隈部正博先生 第15回フェスタ・ヨコハマへの協力 会員募集 神奈川学習センター卒業式にて 神奈川学習センター卒業祝賀会への協力 同窓生による体験発表 ・佐藤 美津留氏「晩学で私が出たもの」 ・田沢 誠一氏「皆既日食で綴る太陽活動一周期」 同窓会連合会参画 13年度第2回連合会開催 人間学研究会主催講演会への協力 | 760 |
| 2002年(平成14年) | 会報 1.20 2.14 2.17 3.17 3.25 4.14 5.12 8.25 10.06 11.10 12.02 | 3.01 『波濤』第23号の発行 9.22 『波濤』第24号発行 1/20～2/24 センター談話室にチャイルド写真・手紙等パネル展示 映画鑑賞とお話「初恋のきた道」 西浦 久晏氏 同窓会連合会参画 13年度第3回連合会開催 平成13年度卒業パーティー開催 F・P タイのソムチャイ君援助圏外転出のため援助終了 同窓会連合会参画 第5回総会および連合会開催 第13回通常総会 会長 五十嵐一成氏 講演会 演題「産業空洞化と闘う中小企業」 講師：神奈川学習センター長 神代 和欣教授 第16回フェスタ・ヨコハマへの共催 会員募集 神奈川学習センター卒業式会場にて 神奈川学習センター卒業祝賀会への共催 同窓生による体験発表 ・片岡 久雄氏「第一次南極観測隊の輸送業務について」 ・坪井 英子氏「ご自分の死について考えたことありますか？」 同窓会連合会参画 14年度第2回連合会開催 | 761 |
| 2003年(平成15年) | 会報 1月 2.23 3.16 5.14 | 3.30 『波濤』第25号発行 9.01 『波濤』第26号発行 F・P エクアドルのレオニダス君が生活環境向上により終了 映画鑑賞とお話「グラディエータ」 西浦 久晏氏 会員募集 T o k y o B a y N, K, H a l lにて 14年度第3回連合会開催 14年度卒業パーティー開催 第14回通常総会 (五十嵐会長) | 835 |

| 年 | 月日 | 神奈川同窓会の歩み | 会員数 |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 2003年(平成15年) | 5.14 5.18 8.24 9.15 10.05 10.25 11.16 12.02 | 講演会 演題「思春期のつまずきをめぐって」 講師：東洋英和女子学院大学・人間科・矢吹 和美教授 同窓会連合会参画 第6回総会および連合会開催 第17回フェスタ・ヨコハマへの共催 F・P バロ・バラちゃんに代りバングラディッシュのピュチュルちゃんへ 会員募集 神奈川学習センター卒業式会場にて 神奈川学習センター卒業祝賀会への共催 同窓会連合会参画 臨時役員会開催 勉強会 藤井 輝氏「ペリー来航と開国前後の日本について」 同窓会連合会参画 15年度第2回連合会開催 放送大学と同窓会連合会との懇談等 | 835 |
| 2004年(平成16年) | 会報 2.15 2.28 3.05 3.14 4.04 5.16 5.22 6.06 6.19 6.20 8.29 9.05 10.03 11.14 12.10 | 4.01 『波濤』第27号発行 9.01 『波濤』第28号発行 映画鑑賞とお話「活きる」西浦 久晏氏 講演会実行委員会への参画(神代所長講演) F・P ピュチュルちゃん援助辞退バングラディッシュのロ・ジーナちゃんへ 会員募集 TokyoBayN, K, Hallにて 埼玉同窓会と神奈川同窓会との交流会 第15回通常総会「放送大学神奈川同窓会」へ名称変更 講演会： 演題「宇宙のロマン・最近の天文学のトピックスと星空への誘い」 同窓会連合会参画 臨時役員会 F・P ルーシーちゃん援助終了バングラディッシュのスバシユ君援助 同窓会連合会参画 第7回総会・16年度第1回連合会開催 講演会 演題「ブロードバンドとユビキタス時代を迎えて」 フェスタ・ヨコハマへの共催 同窓会連合会参画 同窓会設立15周年記念座談会 会員募集 神奈川学習センター卒業式会場にて 神奈川学習センター卒業祝賀会への共催 講演会 演題「禅と心」講師：藤田 重光氏 連合会参画 放送大学との懇談会・16年度第2回連合会開催 | 830 |
| 2005年(平成17年) | 会報 2.12 2.13 2.27 3.12 5.08 5.15 5.21 8.28 9.23~24 10.02 11.20 | 4.01 『波濤』第29号発行 9.01 『波濤』第30号発行 同窓会設立15周年記念フォーラムへの共催 ・公開講演会「青少年の非行と犯罪について」：加藤あいし氏 ・パネルディスカッション「放送大学の明日を語る」パネリスト： 中川 英子氏、池永 康子氏、古野 高根氏、加藤あいし氏 同窓会連合会参画 16年度第3回連合会開催 映画鑑賞会とお話「シカゴ」西浦 久晏氏 会員募集 TokyoBayN, K, Hallにて F・P 協会主催バングラディッシュ・デーに参加(現地活動報告)を聞く 第16回通常総会 講演会 演題「自活できる能力を保持するために」 講師：放送大学助教授 医学博士 白井 永男先生 同窓会連合会参画 第8回連合会総会・17年度第1回連合会 フェスタ・ヨコハマの共催 公開講演会 演題「徒然草・・・現代に生きる兼好」 講師：放送大学助教授 島内 裕子先生 同窓会連合会参画 第1回全国同窓会会長懇談会 ・9.23 演題「放送大学の明日へ向けての同窓会の役割」 ・9.24 議題 1. 同窓会の諸問題 2. 設立運営に関して 会員募集 神奈川学習センター卒業式会場にて 神奈川学習センター卒業祝賀会への共催 同窓会連合会参画 17年度第2回連合会 | 851 |
| 2006年(平成18年) | 会報 2.05 2.11 2.13 2.19 | 4.01 『波濤』第31号発行 9.01 『波濤』第32号発行 公開講演会 演題「産業における競争と共存」 講師：神奈川学習センター所長 森谷 正規先生 同窓会連合会参画 17年度第2回連合会 2/13~28 F・P センター談話室にチャイルド写真・手紙等資料展示 公開講演会 演題「物忘れの心理」 講師：放送大学助教授 星 薫先生 | 867 |

| 年 | 月日 | 神奈川同窓会の歩み | 会員数 |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 2006年(平成18年) | 3.11 5.14 6.03 8.27 10.01 12.01 | 会員募集 放送大学卒業祝賀会 幕張メッセにて 同窓会連合会 第17回通常総会 第8代会長 笠井政記 講演会 演題「なぜ日本人は珈琲を好きになったのか？」 講師：放送大学教授 坂井 素思先生 同窓会連合会参画 第9回同窓会連合会総会 フェスタ・ヨコハマの共催 公開講演会 演題「今我々のいるところ」 講師：放送大学学長 丹保 憲仁先生 会員募集 神奈川学習センター卒業式会場にて 神奈川学習センター卒業祝賀会への共催 第1回全国同窓会会長懇談会 | 867 |
| 2007年(平成19年) | 会報 2.18 2.16 2.25 3.24 6.03 6.24 8.26 8.26 10.07 11.11 | 4.01 『波濤』第33号発行 9.01 『波濤』第34号発行 映画鑑賞とお話 お話の演題「戦後ヨーロッパ映画の輝き」 講師：西浦 久晏氏 映画「ひまわり」1970年イタリア映画 役員用ネット「yakuin-net」開設 フェスタ・ヨコハマ実行委員会と共催 公開講演会 演題「科学的な見方・考え方」講師：神奈川学習センター所長 濱田 嘉昭先生 会員募集 「高輪プリンスホテル」放送大学卒業祝賀会会場にて 放送大学卒業祝賀会 連合会主催 品川高輪プリンスホテル 第18回通常総会 講演会：演題「今後の放送大学について」 講師：放送大学神奈川学習センター所長 濱田嘉昭先生 同窓会連合会参画 第10回同窓会連合会総会 (笠井会長 連合会副会長に就任) F・P協会主催トークイベント&写真展参加(横浜市開港記念会館) フェスタ・ヨコハマ実行委員会と共催 公開講演会 演題： 「マスコミの裏側」講師：放送大学附属図書館長 柏倉康夫先生 F・P協会主催トークイベント&写真展参加(横浜市開港記念会館) F・P フェスタ・ヨコハマでビデオ上映、パネル展示 会員募集 神奈川学習センター卒業式会場にて 神奈川学習センター卒業祝賀会 神奈川学習センターとの共催 役員用ネット「hatoh-net」開設 | 836 |
| 2008年(平成20年) | 会報 1.01 1.23 2.16 2.17 2.17 5.31 6.07 6.29 7.14 8.24 9.08 10.05 | 4.01 『波濤』第35号発行 10.01 『波濤』第36号発行 ホームページ正式開設 1/23～2/18 F・P談話室にチャイルドの写真・手紙等資料展示 会員募集 「ホテルニューオータニ」放送大学卒業祝賀会会場にて 放送大学卒業祝賀会・謝恩パーティ 同窓会連合会主催 F・P 講演会開催 F・P協会員 大橋氏、小峰氏 映画鑑賞会とお話 演題：「映画に観る多彩な人間模様」 講師：西浦久晏氏 上映映画「LOVERS」中国映画 平成20年度通常総会開催(笠井会長が連合会長に就任) 第19回通常総会(笠井会長) F・P 社会貢献活動とするため会則第5条の六改定 講演会 演題「日本人はいかに情報を受け入れてきたか」 講師：放送大学助教授 坂井素思 先生 社会貢献F・P 横浜開港記念会館で開催のプラン・ジャパンに参加 社会貢献F・P パキスタンのフェイザン君が登録終了となる フェスタ・ヨコハマの共催 フォスタープラン ビデオ上映 記念講演会 演題：「ベトナム・フランス・ヨコハマ～多文化共生～」 講師：放送大学 工藤庸子先生、放送大学講師 小川有子先生 交流会：ビンゴ大会(同窓会主催) 社会貢献F・P インドネシアのリファルダス・ムベル君新チャイルドに 神奈川同窓会卒業祝賀会(神奈川学習センターと共催) | 847 |
| 2009年(平成21年) | 会報 2.28 2.28 | 4.01 『波濤』第37号発行 10.01 『波濤』第38号発行 社会貢献 F・P 講演会 F・P協会員 大橋氏、小峰氏による 映画鑑賞とお話 演題：「ヨーロッパの芸術」講師：西浦久晏氏 上映映画：「真珠の耳飾の少女」 | 529 |

| 年 | 月日 | 神奈川同窓会の歩み | 会員数 |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 2009年(平成21年) | 3.28 6.13 6月 7月 8月 8.30 10.11 11.04 | 放送大学卒業祝賀会 同窓会連合会主催(神奈川同窓会担当) 品川新高輪プリンスホテル 第20回通常総会 会長 笠井政記 講演会 演題「裁判員制度」 社会貢献F・P 中国のジュンメイ・ドアンさん18歳に達し支援終了 社会貢献F・P 協会より10年を超える当同窓会支援に感謝状受領 社会貢献F・P 西アフリカ・マリ国のマドウ・ドニコ・シセ君 支援開始 フェスタ・ヨコハマ参画 記念講演 演題:「今後の日本経済・財政の行方」 講師 石 弘光 放送大学学長 社会貢献F・P フェスタ・ヨコハマ会場でネパールビデオ上映 神奈川同窓会卒業祝賀会(神奈川学習センターと共催) 社会貢献F・P 談話室にチャイルドの写真や手紙等資料展示 | 529 |
| 2010年(平成22年) | 会報 2.28 3月 3.27 4月 5月 5.16 9.05 9.05 10.03 11.01 11.27 | 6.01 『波濤』第39号発行 11.吉日 『波濤』第40号記念誌発行 講演会 演題:「学問のススメ」 講師:神奈川学習センター所長 渡邊 慎介先生 映画鑑賞とお話 演題「映像文化(映画)と文字文化(文学)」 講師:西浦久晏氏 上映映画「日の名残り」イギリス映画 社会貢献F・P インドのラビ・ナリゲ君コミュニティ環境向上援助終了 放送大学卒業祝賀会 連合会主催 ホテル ニューオータニ 社会貢献F・P グアテマラのジャクリーンカロレイスちゃん支援開始 社会貢献F・P 談話室掲示板に新チャイルドの写真プロフィール紹介 第21回通常総会 第9代会長 木村勝紀 講演会 演題:「なまはげ伝道師」 講師 小野鐵雄氏 フェスタ・ヨコハマ参画 記念講演 演題:「幽玄の系譜」～和歌に始まり、能を経て美術 工芸品にいたる日本の美意識～ 講師 横浜国立大学教授 三宅晶子 先生 社会貢献F・P フェスタ・ヨコハマにてPRビデオ上映 神奈川学習センター卒業・修了祝賀会(学習センターとの共催) 創立20周年事業:①創立20周年記念誌発行(『波濤』40号) ②同窓会「シンボルマーク」策定と同窓会旗作製 ③「神奈川 同窓会会員証」発行 ④神奈川学習センター施設利用証を発行 企画行事:「錦秋の小田原へ」地球博物館と松永記念館 | 563 |
| 2011年(平成23年) | 会報 3.06 3.26 5.22 5.28 7.03 8.17 8.17 9.03 9.03 10.02 11.26 | 7.01 『波濤』第41号発行 11.01 『波濤』第42号発行 映画鑑賞会:『アラビアのロレンス』の上映と講演 学位記授与式(神奈川SC)「東日本大震災義援金募金箱」設置 第22回通常総会 第9代会長 木村勝紀 講演会:「今、日本人に 求められている国際人のマナーとは」講師:吉門憲宏氏 同窓会連合会総会参加(連合会理事として通年参加) 企画行事:春「歌舞伎鑑賞会」 〔弘明寺サロン開催〕原則毎月第3水曜日(平成23年度5回開催) 〔叢書販売制度発足〕:純益は慈善活動団体「あしなが育英会」 に全額寄付 第25回フェスタ・ヨコハマへ参画 社会貢献FP フェスタ・ヨコハマ会場にてFPのPRビデオ上映 神奈川学習センター卒業・修了祝賀会(学習センターとの共催) 企画行事:秋「日本民家園」「岡本太郎美術館」 | 563 |
| 2012年(平成24年) | 会報 2.12 3.04 3.24 4.18 5.26 5.27 | 7.07 『波濤』第43号発行 11.01 『波濤』第44号発行 春のフェスタ:「太極拳」、F・P講演「スッパ」の形について 講師:プラン平田氏 映画鑑賞会:「フラガール」 放送大学卒業祝賀会 連合会主催 ホテル ニューオータニ 弘明寺サロン「モロッコの旅の思い出・紙の話」植地勢作氏 (サロン年10回) 同窓会連合会総会参加 第23回通常総会開催 | 589 |

| 年 | 月日 | 神奈川同窓会の歩み | 会員数 |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 2012年(平成24年) | 5.27 6.19 9.01 9.01 9.30 11.21 | 〔准役員制度〕：会則への条文化 〔Kanagawa way〕を標榜して活動開始 〔会計帳簿組織の整備〕：会計帳簿システムの構築計画打ち出し 総会講演会：「現代のICT技術について」葛貫氏 企画行事：春「古典芸能（能と狂言）鑑賞教室」 第26回フェスタ・ヨコハマへ参画 社会貢献FP フェスタ・ヨコハマ会場にてFPのPRビデオ上映 神奈川学習センター卒業・修了祝賀会（学習センターとの共催） 企画行事：秋「蕎麦打ち体験教室」 | 589 |
| 2013年(平成25年) | 会報 3.03 3.10 3.23 4.17 5.25 6.01 6.19 9.07 10.05 11.23 | 7.01 『波濤』第45号発行(カラー版化) 11.11 『波濤』第46号発行 映画鑑賞会：「わが母の記」 春のフェスタ：「太極拳」、F・P講演「自立を目指して」(プラン安野氏) 放送大学卒業祝賀会 同窓会連合会主催 ホテルニューオータニ サロンぶらり旅：飛鳥山・紙の博物館・渋沢資料館(合計年9回) 第24回通常総会開催 対面交流事業の拡大 〔茶道同好会〕 発足 〔太極拳クラブ〕 〃 〔映画研究同好会〕 〃 総会講演会：「放送大学に学んで」森岡氏 神奈川は連合会副会長兼「卒業・修了祝賀パーティ」実行委員長に 企画行事：春「東方見聞録の世界とジャズ喫茶」 第27回フェスタ・ヨコハマへ参画 神奈川学習センター卒業・修了祝賀会（学習センターとの共催） 企画行事：秋「鎌倉の秋を歩こう」 | 596 |
| 2014年(平成26年) | 会報 3.02 3.15 3.21 5月 5.23 5.31 6.16 9.06 9.19 9.28 10.20 | 7.07 『波濤』第47号発行 11.11 『波濤』第48号発行 映画鑑賞会：「少年H」 春のフェスタ：「太極拳」、FP講演「世界のおんなの子に教育を」 講師：プラン大重氏 放送大学卒業祝賀会 連合会主催 ホテルニューオータニ 木村神奈川同窓会会長は連合会卒業・修了実行委員長兼任 連合会総会にて木村神奈川同窓会会長は連合会会長兼任 第25回通常総会開催 会長代行 佐栞慎二 社会貢献プラン：国内外特別支援開始（大災害時の支援） 社会貢献プラン：「書き損じ葉書」の収集による寄付の増額 社会貢献ユニセフ：「外国コイン」の収集により、ユニセフに寄贈開始 総会講演会：「生物の色や形にも理由がある」 種田客員教授 同窓会連合会参加：木村会長は連合会会長兼任、神奈川は 事務局長・会計担当 企画行事：春「味の素川崎工場・河港水門・川崎大師」 第28回フェスタ・ヨコハマへ参画 『ホームカミングデー』初めて開催 弘明寺サロン 9月17日 海藻の研究他（合計年9回） 神奈川学習センター卒業・修了祝賀会（学習センターとの共催） 企画行事：秋「日本民家園見学と講演会」 | 627 |
| 2015年(平成27年) | 会報 3.14 3.15 3.20 3.21 4.01 5.23 | 7.11 『波濤』第49号発行 11.11 『波濤』第50号記念号として 発行（特別企画：記念座談会） 神奈川学習センター「卒業生の集い」3月に初開催 春のフェスタ：「太極拳」、F・P講演山形氏「カンボジアの給食事情」 社会貢献ユニセフ：外国コインを収集ユニセフを通して寄贈 放送大学卒業祝賀会 連合会主催 ホテルニューオータニ 事務効率化「会計帳簿」完成 実務開始 第26回通常総会開催 第10代会長 佐栞慎二 放送大学リジナルバッジ（まなびーと徽章2個セット）販売開始 （放送大学との帰属意識高揚のため） 総会講演会：「占領下の神奈川県」 天川客員教授 | 616 |

| 年 | 月日 | 神奈川同窓会の歩み | 会員数 |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 2015年(平成27年) | 5.30 6.12 6.20 8.08 9.05 9.19 9.27 11.26 12.16 | 同窓会連合会参加：神奈川は事務局長および会計を担当 企画行事：春「元気に笑いましょう」能楽堂・にぎわい座 社会貢献プラン：特別援助 ネパール地震 支援費 映画上映会：「サウンド・オブ・ミュージック」他 年2回 第29回フェスタ・ヨコハマへ参画 「ホームカミングデー」を2日間に延長 弘明寺サロン 9月19日「なぜ、いま「紙芝居」他(合計年10回) 学位記授与式および卒業・修了祝賀会(学習センターとの共催) 企画行事：秋「クラシッククルーズ」 日本赤十字救急法講習会初開催：講師 桐ヶ谷氏 16名参加 | 616 |
| 2016年(平成28年) | 会報 3.12 3.20 3.26 5.21 6.03 8.13 9.03 9.25 10.15 11.08 11.19 11.20 | 7.16 『波濤』第51号発行 春のフェスタ(協議会と共催) FP講演「女の子の元気が世界を変える力になる」(プラン山形氏) 社会貢献ユニセフ：外国コインを収集ユニセフを通して寄贈 放送大学卒業祝賀会 同窓会連合会主催 品川プリンスホテル 第27回通常総会開催 総会講演会：「哲学を楽しむ」 杉田客員教授 企画行事：春「大型ヨットセリング」 秋11月8日「金沢サイドラインの車両基地」 映画上映会：「風とともに去りぬ」他 年2回 第29回フェスタ・ヨコハマへ参画 「ホームカミングデー」太極拳披露 学位記授与式および卒業・修了祝賀会(学習センターとの共催) 弘明寺サロン「ガン体験と教訓」他(合計年7回) 企画行事：秋11月8日「金沢サイドラインの車両基地」 同窓会連合会：「第4回関東甲信越地区交流会」を神奈川で初開催 「フェスタ・ヨコハマの状況とホームカミングデーについて」：神奈川発表 同上講演会：「ナト横浜の魅力と放送大学」池田センター所長 同上2日目：「港湾施設の見学」関東甲信越地区参加者：55名 | 614 |
| 2017年(平成29年) | 会報 2.12 3.18 3.20 3.25 5.18 5.27 6.23 7月 8.12 9.02 9.23 10.14 11.10 11.11 | 1.14 『波濤』第52号発行 7.14 『波濤』第53号発行 日本赤十字救急法講習会初開催：講師 桐ヶ谷氏 18名参加 神奈川学習センター「卒業生の集い」 「卒業・修了祝賀茶話会」行う 社会貢献ユニセフ：外国コインを収集ユニセフを通して寄贈 放送大学卒業祝賀会 連合会主催 ハイアットリージェンシー東京 実行委員15名選出 第28回通常総会開催 総会講演会「疲労：解ってきたこと」小泉客員教授 同窓会連合会総会 企画行事：春「能楽鑑賞」 7月 社会貢献プラン：特別援助 九州北部豪雨対象 映画上映会：「タイタニック」 2018.2.10「細雪」年2回 第30回フェスタ・ヨコハマ参画 学位記授与式および卒業・修了祝賀会(学習センターとの共催) 連合会第5回関東甲信越地区交流会(山梨SC)3名参加 企画行事：秋「横浜市内2つの工場見学」 弘明寺サロン「サクッと肢体不自由者の余暇外出と自尊感情」他 (合計年8回) | 605 |
| 2018年(平成30年) | 会報 2.17 2.18 3.17 3.24 5.18 | 1.13 『波濤』第54号発行 7.14 『波濤』第55号発行 サークル成果発表会 F・P講演：ネパール活動報告(プラン海藤氏) 日本赤十字救急法講習会：講師 桐ヶ谷氏 7名参加 「卒業・修了祝賀茶話会」(学習センターと共催)行う 放送大学卒業祝賀会 連合会主催 ハイアットリージェンシー東京 佐藤神奈川同窓会会長は連合会「卒業・修了祝賀委員長」兼任 ：実行委員15名選出 第29回通常総会 2年後の30周年記念事業の企画検討 | 605 |

| 年 | 月日 | 神奈川同窓会の歩み | 会員数 |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 2018年(平成30年) | 5.18 6.22 7月 8.23 9.01 9.01 9.22 10.05 10.13 11.02 | <p>総会講演会「ゴントワ大陸の誕生を探るーナブ砂漠の地質調査」 講師：有馬客員教授</p> <p>企画行事：春「能楽鑑賞会」</p> <p>社会貢献プラン：特別援助（西日本豪雨、インドネシア地震）</p> <p>映画上映会：「禁じられた遊び」、2019.2.10「黒部の太陽」</p> <p>第31回フェスタ・ヨコハマ参画：「お茶席」「福引大会」を担当</p> <p>ホームカミングデー：太極拳も披露（学習センターとの共催）</p> <p>「神奈川学位記授与式」および「卒業・修了祝賀茶話会」</p> <p>弘明寺サロン：「おもしろ科学たんけん工房での活動」他 年6回</p> <p>連合会「第6回関東甲信越地区交流会」：足立SCにて 神奈川から5名参加</p> <p>企画行事：秋「横浜市2か所の歴史博物館」</p> | 605 |
| 2019年(平成31年) (令和元年) | 会報 3.16 3.23 5.16 6.28 8.03 8.31&9.1 8.31&9.1 2019下期 9.22 9.07 11.03 11.01 | <p>1.12『波濤』第56号発行 7.12『波濤』第57号発行</p> <p>神奈川学習センター：「卒業・修了祝賀茶話会」（学習センターと共催） 卒業生茶話会参加者43名</p> <p>放送大学卒業祝賀会 連合会主催 ハイアトリージェンシ東京 佐葉神奈川同窓会会長は連合会会長兼任：神奈川から実行委員 他18名参加</p> <p>第30回通常総会 来年度30周年記念事業の企画検討</p> <p>総会講演会『have a speak って何が変？』高橋邦年客員教授</p> <p>企画行事：春「能楽鑑賞会」</p> <p>映画上映会：「ドクトルジバゴ」、2020.2.7「七人の侍」</p> <p>第31回フェスタ・ヨコハマ参画：「お茶席」「福引大会」を担当</p> <p>ホームカミングデー：太極拳も披露（学習センターとの共催）</p> <p>社会貢献プラン：アフリカのベナン国 Fabrice Yebe(8歳) 6人目の支援開始</p> <p>「神奈川学位記授与式」および「卒業・修了祝賀茶話会」 卒業生参加者：40名</p> <p>弘明寺サロン「グランドスラムを超えて」他年7回開催。 2月：新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>連合会「第6回関東甲信越地区交流会」：高崎市にて 神奈川から5名参加</p> <p>企画行事：秋「海上保安資料館・税関資料展示室・横浜開港資料館」</p> | 610 |
| 2020年(令和2年) | 会報 3.21 3.27~4.08 6月 7.09 9.12 9.20 9.20 | <p>1.11『波濤』第58号発行 8.18『波濤』第59号発行</p> <p>放送大学学位記授与式および卒業・修了祝賀パーティ急遽中止 (新型コロナウイルス(COVID-19)感染予防のため) 佐葉神奈川同窓会会長は連合会会長兼任：パーティ会費入金と 返却の為、会計処理はダブル処理となる。</p> <p>Web会議(Zoom)利用に向け勉強会行う (新型コロナウイルスの影響により対面会議が不能になった為)</p> <p>企画行事 春：(能楽鑑賞)中止</p> <p>第31回通常総会(書面)総ての議案可決 第11代会長 金田 保男</p> <p>学園祭フェスタ・ヨコハマおよびホームカミングデー中止</p> <p>神奈川学習センター学位記授与式開催</p> <p>「卒業・修了祝賀茶話会」中止</p> | 590 |

凡例

- 年号の表記： 西暦・和暦を併記した。
- 数字の表記： アラビア数字(算用数字)、漢数字の別は「波濤」表記を準用した。
- 社会貢献： プラン(PIJ)；旧フォスター・プラン(F・P)については、2008年
第19回総会より、社会貢献を冠として表記した。
- 会報表記： 会報は年2回発行されるため、当該年の1行目に表記した。

20周年後の歴代役員一覧 (1/2)

| 創立20周年後の神奈川同窓会役員 | | | | | |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 第11期 2010年4月～ 2012年3月 | 第12期 2012年4月～ 2014年3月 | 第13期 2014年4月～ 2015年3月 | 第13期 2015年4月～ 2016年3月 | 第14期 2016年4月～ 2018年3月 |
| 会長 | ㊿木村勝紀 | ㊿木村勝紀 | ㊿木村勝紀 | ㊿佐栞愼二 | ㊿佐栞愼二 |
| 副会長 | 浅井公子 | 吉原司郎 | 佐栞愼二 浅井公子 | 浅井公子 | 浅井公子 金田保男 |
| 事務局長 | 吉原司郎 | 金田保男 | 金田保男 | 金田保男 | 大木陸夫 |
| 理事 | 岡本興和 寺村紀美夫 大木陸夫 高橋照夫 渡邊久江 市川つわ 山田和嘉子 西山哲郎 金田保男 後藤雄二 赤松孝子 家田禮 | 岡本興和 寺村紀美夫 大木陸夫 高橋照夫 西山哲郎 山田和嘉子 赤松孝子 家田禮 佐栞愼二 ※姫田忠明 櫛田政五郎 植地勢作 柳澤明男 高垣和子 ※渡邊久江 ↑H25姫田→渡邊 | 高橋照夫 高垣和子 大木陸夫 渡邊久江 石丸迪子 寺村紀美夫 岡本興和 永井藤樹 松下正博 赤松孝子 家田禮 村田カズ子 植地勢作 安達美帆子 | 高橋照夫 高垣和子 大木陸夫 渡邊久江 石丸迪子 寺村紀美夫 岡本興和 永井藤樹 赤松孝子 家田禮 村田カズ子 植地勢作 安達美帆子 万場由美子 石橋正彦 | 高橋照夫 高垣和子 渡邊久江 寺村紀美夫 永井藤樹 赤松孝子 家田禮 村田カズ子 植地勢作 万場由美子 石橋正彦 澤村雅嗣 菅崎博之 大野貴司 小田野哲 17佐藤敬 17勝山悌治 17田代和嘉 |
| 監事 | 龍造寺寛 志賀健三 | 浅井公子 市川つわ | 市川つわ 山田和嘉子 | 市川つわ 山田和嘉子 | 五十嵐一成 志賀健三 |
| 相談役 | | 藤井輝 笠井政記 | 藤井輝 笠井政記 吉原司郎 | 藤井輝 笠井政記 吉原司郎 木村勝紀 | 藤井輝 笠井政記 吉原司郎 16木村勝紀 |
| 准役員 | | | 五十嵐一成 菅崎博之 後藤雄二 澤村雅嗣 柳澤明男 万場由美子 林 和 堀籠悦子 宮川京 木下義則 佐藤敬 櫛田政五郎 | 五十嵐一成 菅崎博之 後藤雄二 澤村雅嗣 柳澤明男 林 和 堀籠悦子 宮川京 木下義則 佐藤敬 櫛田政五郎 古本教子 小野寺愛子 | 後藤雄二 柳澤明男 木下義則 16佐藤敬 櫛田政五郎 古本教子 小野寺愛子 山田和嘉子 16勝山悌治 17武田きみよ 17赤坂英子 17山中眞仁 |

㊿は、連合会役員兼務

姓名の前の数字：16⇒2016年度のみ、 17⇒2017年度のみ担当を表示
数字記載のない場合2016&2017年度担当を表わす。

出典：役員名簿は「総会議案書」による。

20周年後の歴代役員一覧 (2/2)

| 創立20周年後の神奈川同窓会役員 | | |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 第15期 2018年4月～ 2020年3月 | 第16期 2020年4月～ 2022年3月 |
| 会長 | ㊿佐栞慎二 | ㊿金田保男 |
| 副会長 | 浅井公子 金田保男 石橋正彦 | 高橋照夫 中島悦子 |
| 事務局長 | 金田保男(兼任) | 中島悦子(兼任) |
| 理事 | 大木陸夫 高橋照夫 18高垣和子 渡邊久江 寺村紀美夫 永井藤樹 家田禮 村田カズ子 植地勢作 万場由美子 澤村雅嗣 菅崎博之 大野貴司 佐藤敬 勝山悌治 田代和嘉 飯塚武夫 中島悦子 19清水丈正 19安達美帆子 19小田妙子 | 石橋正彦 渡邊久江 永井藤樹 家田禮 村田カズ子 植地勢作 万場由美子 澤村雅嗣 菅崎博之 佐藤敬 勝山悌治 田代和嘉 飯塚武夫 清水丈正 安達美帆子 小田妙子 小野寺愛子 大森百合子 田辺桂子 森茂房 佐々本幹夫 |
| 監事 | 五十嵐一成 志賀健三 | 五十嵐一成 浅井公子 |
| 相談役 | 藤井輝 | 佐栞慎二 |
| 准役員 | 山田和嘉子 柳澤明男 木下義則 櫛田政五郎 小野寺愛子 武田きみよ 18山中眞仁 小田野哲 呉 春美 18清水丈正 19大森百合子 19田辺桂子 19森 茂房 | 寺村紀美夫 柳澤明男 大野貴司 呉 春美 木下義則 |

歴代会長一覧

| 歴代会長 | | |
|-----------------------------|------|-------|
| 就任期間 | 歴代会長 | 氏名 |
| 第1期 1990年2月～ 1992年3月 | 初代会長 | 別所 敏明 |
| 第2期 1992年4月～ 1994年3月 | 第2代 | 加藤あいし |
| 第3期 1994年4月～ 1996年3月 | 第3代 | 稲葉 恒夫 |
| 第4期 1996年4月～ 1998年3月 | 第4代 | 押山 睦生 |
| 第5期 1998年4月～ 2000年3月 | 第5代 | 藤井 輝 |
| 第6期 2000年4月～ 2002年3月 | 第6代 | 伊東 廣明 |
| 第7期 2002年4月～ 2004年3月 | 第7代 | 五十嵐一成 |
| 第8期 2004年4月～ 2006年3月 | 〃 | 〃 |
| 第9期 2006年4月～ 2008年3月 | 第8代 | 笠井 政記 |
| 第10期 2008年4月～ 2010年3月 | 〃 | 〃 |
| 第11期 2010年4月～ 2012年3月 | 第9代 | 木村 勝紀 |
| 第12期 2012年4月～ 2014年3月 | 〃 | 〃 |
| 第13期 2014年4月～ 2015年3月 | 〃 | 〃 |
| 第13期 2015年4月～ 2016年3月 | 第10代 | 佐栞 慎二 |
| 第14期 2016年4月～ 2018年3月 | 〃 | 〃 |
| 第15期 2018年4月～ 2020年3月 | 〃 | 〃 |
| 第16期 2020年4月～ 2022年3月 | 第11代 | 金田 保男 |

- ・ 出典：役員一覧は「総会議案書」による。
- ・ ㊿は、連合会役員兼務
- ・ 姓名前の数字：18⇒2018年度のみ、19⇒2019年度のみ
- ・ 数字記載のない場合2018&2019年度担当を表わす。
- ・ 紙面の都合により「歴代会長」のみ初代から掲載した。

20 周年後の『波濤』の歴史

第 41 号から第 59 号までの発行記録

| 号数 | タイトル | 投稿者 |
|---------------------------------|--------------------------------------|--------------------|
| 第 41 号 (2011/7/1) 震災特集含む | | |
| | 今回の大震災で感じたこと | 神奈川学習センター所長 渡邊 慎介 |
| | 会長挨拶「絆」 | 神奈川同窓会会長 木村 勝紀 |
| | 第 22 回通常総会報告 | 事務局長 吉原 司郎 |
| | 神奈川同窓会によせて | 客員教授 藤原 一繪 |
| | フォスター・プラン活動について | 赤松 孝子 |
| | 小さい春が私にも | 堀 誠 |
| | 桜茶に祝意を込めて | 浅井 公子 |
| | 「弘明寺サロン」&「気儘なブラリ旅」へのお誘い | 木村・浅井 |
| | 「錦秋の小田原へ」に参加して | 山田 和嘉子 |
| | 春の公開講演会「東京タワーと東京スカイツリー」 | 木下 義則 |
| | 同窓会ホームページの状況 | 寺村 紀美夫 |
| | 同窓会連合会の動向 | 木村 勝紀 |
| | 東日本大震災に係わる義援金集計結果について（報告） | 渡邊 慎介 |
| 「特集：東日本大震災」 | | |
| | ・東日本大震災体験記 | 浅井 公子 |
| | ・二度目の震災 | 永井 藤樹 |
| | ・適切な情報および地域社会との「繋がり」の大切さ | 竹村 和巳 |
| | ・その時私は | 大木 陸夫 |
| | ・バスツアーで東日本大震災に直面して | 村田 カズ子 |
| | ・その時私は・・・ | 姫田 忠明 |
| | ・震災と帰宅支援体制について | 金田 保男 |
| 第 42 号 (2011/11/1) | | |
| | 「同窓会と ICT」 | 神奈川同窓会会長 木村 勝紀 |
| | 経営学徒の視点から見た震災後の円高 | 准教授 原田 順子 |
| | 「前へ！被災地へ!!」 | 西山 哲郎 |
| | 震災視察報告 | 永井 藤樹 |
| | 「弘明寺サロン」への思い | 木村 勝紀 |
| | 「弘明寺サロン」印象記 | 倉田 寿代子 |
| | 「因と縁」を結ぶ楽しさにドブプリ | 植地 勢作 |
| | 「義経千本桜」渡海屋の場・大物浦の場 | 好見 さち代 |
| | 国立劇場で歌舞伎鑑賞 | 柳澤 明男 |
| | 第 25 回フェスタ・ヨコハマ（記念講演会・ビンゴ大会・お抹茶コーナー） | 木下・志賀・大木 |
| | 叢書販売 | 高橋 照夫 |
| | 同窓会連合会の動向 | 木村 勝紀 |
| | 平成 23 年 9 月卒業証書・学位記授与式 | 岡本 興和 |
| | フォスター・プラン活動について | 家田 禮 |
| 第 43 号 (2012/7/7) | | |
| | 「志」と「情熱」をもって「絆」に！ | 神奈川同窓会会長 木村 勝紀 |
| | 知識循環型の社会の実現に向けて | 神奈川学習センター所長 濱田 嘉昭 |
| | 放送大学の存在意義 | 神奈川学習センター前所長 渡邊 慎介 |
| | 第 23 回通常総会 | |
| | 平成 23 年度学位記授与式 | 岡本 興和 |
| | 『千里之行、始于足下』千里の道も一歩から | 尹 秀蘭 |
| | 「映画観賞会」報告 | 西山 哲郎 |
| | 第 4 回サークル合同講演会報告「生命を守るみどりを考える」 | 村田 カズ子 |
| | 私流、モロッコの思い出（その 1） | 植地 勢作 |
| | 講演会報告「現代の ICT 技術について」 | 金田 保男 |
| | 同窓会ホームページの状況について | 寺村 紀美夫 |
| | 「叢書販売」実施と「あしなが育英会」への寄付 | 浅井 公子 |
| | 放送大学同窓会連合会の動向 | 木村 勝紀 |
| | 弘明寺サロンの歩み | 金田 保男 |
| | 「岡本太郎美術館見学記」 | 森脇 早代子 |
| | フォスター・プラン活動報告 | 赤松 孝子 |
| 第 44 号 (2012/11/1) | | |
| | 「粋」は「意気」に通ず！ | 神奈川同窓会会長 木村 勝紀 |
| | 黄昏に夢を求めて | 客員教授 影井 清一郎 |

| | | |
|-----------------------------------|-------------|----------|
| 喧嘩をしないと仲良くなれません | 客員教授 | 村田 忠禧 |
| 第3回古典芸能の観賞 能と狂言観賞教室 | | 高橋 照夫 |
| 第26回フェスタ・ヨコハマ | | 寺村 紀美夫 |
| ・お抹茶コーナーの感想・福引大会 | | 尾澤・大田・金田 |
| 本郷和人教授講演「六波羅幕府・福原幕府・そして鎌倉幕府」 | | 高橋 昭善 |
| 卒業証書・学位記授与式。卒業・修了祝賀会 | | 寺村 紀美夫 |
| 社会貢献活動（プラン・ジャパンについて） | | 西山 哲郎 |
| 私流、モロッコの思い出（その2） | | 植地 勢作 |
| 放送大学同窓会連合会の動向 | | 木村 勝紀 |
| 第45号 (2013/7/1) 本号よりカラー版化 | | |
| 神奈川学習センターの永続発展を願って | 神奈川同窓会会長 | 木村 勝紀 |
| It's a Small World | 神奈川学習センター所長 | 池田 龍彦 |
| 第24回神奈川同窓会総会開催 | 神奈川同窓会副会長 | 吉原 司郎 |
| 新旧センター長・事務長の歓送迎会 | | 木下 義則 |
| 森岡加代氏の公開講演会「放送大学に学んで」 | | 金田 保男 |
| 同窓会ホームページのアクセス情況 | | 寺村 紀美夫 |
| 「欲窮千里目、更上一层楼」「更に上る一層の楼」の想いを抱いて | | 澤村 雅嗣 |
| 卒業に寄せて“心に響く出会い” | | 村田 カズ子 |
| 50年後の卒業 | | 服部 高重 |
| 「4月ぶらり旅」飛鳥山散策と3つの博物館見学 | | 植地 勢作 |
| 「飛鳥山のブラリ旅」に参加して | | 肥後 照雄 |
| ～世界の女の子のために手を上げよう～ | | 赤松 孝子 |
| 平成24年度学位記授与式 | | 岡本 興和 |
| 第46号 (2013/11/11) | | |
| 愛着と情熱 | 神奈川同窓会会長 | 木村 勝紀 |
| 我が師の恩 | | 後藤 雄二 |
| 神秘的なブルーの海としばしの恐怖体験 | | 榎田 政五郎 |
| 同窓会連合会の動向 | | 木村 勝紀 |
| 池田龍彦所長記念講演「日本の国際化と開発途上国への協力」 | | 服部 高重 |
| 第27回フェスタ・ヨコハマ（放送大学30周年記念） | | 金田 保男 |
| ・お抹茶コーナーも楽しんでいただきました | | 大木 陸夫 |
| 社会貢献活動 | | 西山 哲郎 |
| 学位記授与式に参加して | | 吉原 司郎 |
| 3つの交流事業が始まる（茶道同好会・映画研究同好会・太極拳クラブ） | | 渡邊・寺村・岡本 |
| 第47号 (2014/7/7) | | |
| 『kanagawa way』を全国へ | 神奈川同窓会会長 | 木村 勝紀 |
| 「春の講演会」垣添忠生先生 | | 木下 義則 |
| 第25回通常総会と種田先生の講演会 | | 佐栞 愼二 |
| ・種田客員教授の公開講演会「生物の色や形にも理由がある」 | | 金田 保男 |
| 弘明寺サロンで絆を!! | | 植地 勢作 |
| 「日本の宝」放送大学と社会貢献活動 | | 西山 哲郎 |
| 「先輩への報告」 | | 永井 藤樹 |
| 放送大学と私 | | 佐藤 ひろ子 |
| 大学院を修了して | | 桐ヶ谷 政行 |
| 卒業してしまった | | 印南 英敏 |
| 学位記授与式・祝賀パーティ | | 赤松・高橋・大木 |
| 第48号 (2014/11/11) | | |
| 絆を深め、広げましょう | 神奈川同窓会副会長 | 佐栞 愼二 |
| 大成功だったホームカミングデー | | 安達 美帆子 |
| フェスタ・ヨコハマを振り返り | | 金田 保男 |
| ・記念講演：來生新副学長「沿岸域の総合的管理と横浜」 | | 佐栞 愼二 |
| 「弘明寺サロン」は楽しい!! | | 植地 勢作 |
| 春の行事「味の素川崎工場見学と川崎大師拝観」 | | 飯塚 武夫 |
| 韓国放送通信大学訪問とその後・・・ | | 村田 カズ子 |
| 学籍と同窓会を楽しむ毎日 | | 吉原 司郎 |
| 平成26年9月卒業証書・学位記授与式 | | 永井 藤樹 |
| 国際社会貢献活動 | | 赤松 孝子 |
| 国内社会貢献活動 | | 松下 正博 |
| 第49号 (2015/7/11) | | |
| 皆で一緒に楽しい同窓会を作りましょう! | 神奈川同窓会会長 | 佐栞 愼二 |
| 神奈川同窓会第26回通常総会開催 | | 金田 保男 |

| | |
|------------------------------------|--------|
| ・天川晃先生講演会 | 佐乗 慎二 |
| 平成 27 年 3 月卒業生の集い | 山田 和嘉子 |
| 学んだことは何時か役に立つ | 熊倉 小六 |
| 卒業に寄せて | 山城 洋子 |
| 放送大学を卒業して | 大野 貴司 |
| 平成 26 年度卒業・修了祝賀パーティ開催 | 高橋 照夫 |
| 神奈川サークル協議会主催「春のフェスタ・ヨコハマ」 | 木下 義則 |
| 魅力あふれる「弘明寺サロン」を | 植地 勢作 |
| 秋の企画行事「民家園見学」 | 高橋 佐年 |
| 韓国放送通信大学訪問とその後（48 号の続き） | 村田 カズ子 |
| プラン・ジャパンの活動報告 | 家田 禮 |
| 〈叢書販売〉社会貢献活動に携わって！ | 村田 カズ子 |
| 第 50 号 (2015/11/11) 記念号 | |
| 『波濤』50 号記念会長挨拶 神奈川同窓会会長 | 佐乗 慎二 |
| 豊かな生涯学習空間の拡充に向けて 神奈川学習センター所長 | 池田 龍彦 |
| 『波濤』50 号記念座談会（藤井、星、大野、伊藤、：司会浅井、金田） | 永井 藤樹 |
| 神奈川同窓会と私～会長退任の挨拶に代えて～ 前会長 | 木村 勝紀 |
| 第 29 回フェスタ・ヨコハマ（授業開始 30 周年記念） | 金田 保男 |
| ・横浜市歌と作曲家南能衛（講師：南次郎放送大学考直） | 永井 藤樹 |
| 平成 27 年 9 月学位記授与式 | 高垣 和子 |
| 卒業生寄稿：学んで己の「無学を知る」 | 清水 孝 |
| ：頑張った私 | 古本 教子 |
| 会員寄稿：私の恩師 井上勲さん | 高橋 昭善 |
| ：伊予大洲藩と「いろは丸」の歴史 | 藤本 勲 |
| ：スキエンティア | 大橋 陽子 |
| ：太極拳と健康について | 岡本 興和 |
| 「弘明寺サロン」へのお誘い | 安達 美帆子 |
| 企画行事報告 | 渡邊 久江 |
| 特別緊急支援：ネパール大地震 | 赤松 孝子 |
| 第 51 号 (2016/7/16) | |
| 「學而時習え 不亦説乎 有朋自達方来 不亦樂乎」 同窓会会長 | 佐乗 慎二 |
| 第 27 回通常総会 | 大木 陸夫 |
| ・杉田先生特別講演「哲学を楽しむ」 | 金田 保男 |
| 平成 28 年 3 月「卒業生の集い」 | 寺村 紀美夫 |
| 卒業生の言葉：放送大学での出会いと別れ | 吉田 啓子 |
| ：何か新しいことが始まる予感 | 山中 眞二 |
| ：生涯学習をめざして | 栗山 芳光 |
| 卒業生ショートメッセージ掲載始める | |
| 卒業・修了祝賀パーティ | 高橋 照夫 |
| 春のフェスタ・ヨコハマ「午前映画、午後神代先生講演」 | 木下 義則 |
| 会員投稿：5 年生存率 60%と宣告された日 | 木村 勝紀 |
| 「弘明寺サロン」へ是非お越しを!! | 万場 由美子 |
| 「春の行事」江ノ島ヨットセーリング | 万場 由美子 |
| 社会貢献活動（プラン） | 石橋 正彦 |
| 社会貢献活動（あしなが育英会） | 村田 カズ子 |
| 第 8 回映画上映会のお知らせ（風と共に去りぬ） | 寺村 紀美夫 |
| 第 52 号 (2017/1/14) | |
| 関東甲信越地区交流会の集い 神奈川同窓会会長 | 佐乗 慎二 |
| 第 30 回フェスタ・ヨコハマ：白井理事長特別講演 | 木下 義則 |
| ：同窓会からの報告 | 大木 陸夫 |
| 平成 28 年 9 月学位記授与式 | 武田 きみよ |
| 卒業生の言葉：名誉学生と呼ばれることになりました。 | 金井 彰彦 |
| ：内面を磨く | 三戸 薫 |
| ：3 回目の卒業、そして 4 回目の入学 | 本多 真実 |
| ：第 2 の人生は、晴耕雨読 | 小林 隆次 |
| 会員投稿：中国人の「孝」に対するあるエピソード | 澤村 雅嗣 |
| 弘明寺サロンへのいざない | 万場 由美子 |
| 「秋の行事」シーサイドラインに乗って学び楽しむ旅 | 佐藤 敬 |
| 社会貢献活動（プラン・ジャパン） | 赤松 孝子 |
| 社会貢献活動（あしなが育英会） | 村田 カズ子 |
| 第 9 回映画上映会のお知らせ（劔岳・点の記） | 寺村 紀美夫 |

| | | | |
|---------------------------------------|-------------|----|-----|
| 第53号 (2017/7/14) | | | |
| Anyone Who Keeps learning Stays Young | 神奈川同窓会会長 | 佐栞 | 愼二 |
| 就任のご挨拶 | 神奈川学習センター所長 | 福富 | 洋志 |
| 第28回通常総会 | | 大木 | 陸夫 |
| ・小泉先生特別講演会「疲労：解ってきたこと」 | | 金田 | 保男 |
| 池田所長歡送会をふり返って | | 垣谷 | 江里子 |
| 故木村勝紀元会長追悼の言葉 | | 佐栞 | 愼二 |
| 卒業生の言葉：知ることはよろこび | | 関口 | 静子 |
| ：私の大学生生活 | | 高橋 | 知成 |
| 28年度学位記授与式・祝賀パーティ | | 永井 | 藤樹 |
| 会員投稿：「放送大学叢書」誕生のエピソード | | 古内 | 都 |
| 健康のために太極拳を始めてみませんか | | 金田 | 保男 |
| 弘明寺サロン・レポート | | 万場 | 由美子 |
| 社会貢献活動（プラン） | | 石橋 | 正彦 |
| 社会貢献活動（あしなが育英会） | | 村田 | カズ子 |
| 第10回映画上映会のお知らせ（タイタニック） | | 大野 | 貴司 |
| 第54号 (2018/1/13) | | | |
| リベラルアーツを求めて | 神奈川同窓会会長 | 佐栞 | 愼二 |
| 第31回フェスタ・ヨコハマ：福富センター所長記念講演会 | | 木下 | 義則 |
| ：同窓会の活動 | | 金田 | 保男 |
| 平成29年度9月学位記授与式 | | 渡邊 | 久江 |
| 卒業生の言葉：9月卒業にあたり思うこと | | 長尾 | 壯七 |
| ：80にして、学ぶことの魅力に震える | | 渡辺 | 芙美江 |
| ：好奇心の継続 | | 楳田 | 恵造 |
| 会員投稿：生涯学習と地域活動 | | 飯塚 | 武夫 |
| ：移動する人生 | | 安達 | 美帆子 |
| ：蝶に魅せられて、60年の夢 | | 松井 | 恵哉 |
| 弘明寺サロン・レポート | | 高橋 | 照夫 |
| 「春の行事」能楽鑑賞 | | 勝山 | 悌治 |
| 「秋の行事」二つの工場見学 | | 佐藤 | 敬 |
| 社会貢献活動（プラン） | | 石橋 | 正彦 |
| 社会貢献活動（あしなが育英会） | | 村田 | カズ子 |
| 第11回映画上映会のお知らせ（細雪） | | 寺村 | 紀美夫 |
| 第55号 (2018/7/14) | | | |
| 放送大学で学んだ誇りと感謝 | 神奈川同窓会会長 | 佐栞 | 愼二 |
| 第29回通常総会 | | 浅井 | 公子 |
| ・有馬眞先生特別講演会「ゴンドワナ大陸の誕生を探る」 | | 金田 | 保男 |
| サークル成果発表会「ネパール地震からの復興とチャイルド達の暮らし」 | | 石橋 | 正彦 |
| 卒業生の集い・祝賀茶話会 | | 澤村 | 雅嗣 |
| 学位記授与式・祝賀パーティ | | 永井 | 藤樹 |
| 卒業生の言葉：無事の航海 | | 前原 | 俊浩 |
| ：知ることの喜び | | 木戸 | 光 |
| 名誉学生の言葉：名誉学生の表彰を受けて | | 古本 | 教子 |
| ：「名誉学生」の称号の付与を受けて | | 寺村 | 紀美夫 |
| ：グランドスラムを達成して | | 高橋 | 照夫 |
| 会員投稿：面接授業「熊野の古式捕鯨」に参加して | | 小林 | 光 |
| ：学ぶは醍醐味 | | 中島 | 悦子 |
| 弘明寺サロン・レポート | | 高橋 | 照夫 |
| 社会貢献活動（あしなが育英会） | | 田代 | 和嘉 |
| 第12回映画上映会のお知らせ（禁じられた遊び） | | 寺村 | 紀美夫 |
| 第56号 (2019/1/12) | | | |
| 学びは最高の贅沢の一つ | 神奈川同窓会会長 | 佐栞 | 愼二 |
| 第32回フェスタ・ヨコハマ：來生学長記念講演会 | | 木下 | 義則 |
| ：同窓会の活動 | | 金田 | 保男 |
| 2018年9月学位記授与式・祝賀会 | | 飯塚 | 武夫 |
| 卒業生の言葉：学問と人との良き出会いに感謝して | | 今井 | 勇 |
| ：卒業を迎えて | | 今井 | 慶子 |
| ：これからの戦線縮小 | | 佐竹 | 信一 |
| 会員投稿：放送大学での学びと地域での科学教育支援活動 | | 神谷 | 邦子 |
| ：気象予報の重要性について | | 片岡 | 久雄 |
| 弘明寺サロン・レポート | | 高橋 | 照夫 |

| | | |
|-----------------------------------|-------------|--------|
| 「春の行事」 能楽鑑賞 | | 勝山 悌治 |
| 「秋の行事」 2カ所の歴史博物館の見学 | | 勝山 悌治 |
| 社会貢献活動 (プラン) | | 石橋 正彦 |
| 社会貢献活動 (あしなが育英会) | | 村田 カズ子 |
| 第13回映画上映会のお知らせ (黒部の太陽) | | 寺村 紀美夫 |
| 第57号 (2019/7/12) 平成から令和へ | | |
| 学びて時にこれを習う また説ばしからずや | 神奈川同窓会会長 | 佐栞 愼二 |
| 第30回通常総会 | | 浅井 公子 |
| ・高橋邦年先生特別講演会〈have a speak って何が変?〉 | | 金田 保男 |
| 卒業生の集い・祝賀茶話会 | | 飯塚 武夫 |
| 学位記授与式・祝賀パーティ | | 永井 藤樹 |
| 卒業生の言葉：学びの旬 | | 竹内 礼子 |
| ：人とのつながりは財産 | | 呉 春美 |
| 名誉学生の言葉：放送大学との出会いに感謝 | | 櫛田 政五郎 |
| ：平成の終わりと共に | | 石丸 迪子 |
| ：グランドスラムを越えて | | 杉山 秀雄 |
| 「特集：平成時代を振り返って」 | | |
| ・放送大学25年生 | | 大伏 秀一 |
| ・平成の中間地点で出会った放送大学 | | 小田 妙子 |
| ・私の平成時代－東日本大震災 | | 石橋 正彦 |
| ・平成大災害の記憶 | | 金田 保男 |
| ・あざなえる縄 | | 大橋 陽子 |
| ・平成－鍛えと誇りと別れの30年－ | | 後藤 雄二 |
| ・－それは1枚のチラシから始まった－ | | 古内 都 |
| ・平和への希求 | | 永井 藤樹 |
| 弘明寺サロン・レポート | | 高橋 照夫 |
| 社会貢献活動 (プラン) | | 石橋 正彦 |
| 社会貢献活動 (あしなが育英会) | | 村田 カズ子 |
| 第14回映画上映会のお知らせ (ドクトル・ジバゴ) | | 寺村 紀美夫 |
| 第58号 (2020/1/11) | | |
| 「友あり遠方より来る また楽しからずや」 | 神奈川同窓会会長 | 佐栞 愼二 |
| 卒業証書・学位記授与式を終えて | 神奈川学習センター所長 | 福富 洋志 |
| フェスタ・ヨコハマ：記念講演会 (木村昌彦先生) | | 木下 義則 |
| ：同窓会の活動 | | 金田 保男 |
| 2019年9月学位記授与式・祝賀会 | | 飯塚 武夫 |
| 卒業生の言葉：学ぶ10年 | | 遠田 雄子 |
| ：令和の最初の学位記授与式 | | 谷本 美知子 |
| ：放送大学にまなびつつあること | | 佐々本 幹夫 |
| 会員投稿：学ぶということ・生涯学習 | | 伊東 廣明 |
| 弘明寺サロン・レポート | | 高橋 照夫 |
| 「春の行事」 能楽鑑賞 | | 勝山 悌治 |
| 「秋の行事」 3カ所の資料館見学 | | 勝山 悌治 |
| 社会貢献活動 (プラン) | | 石橋 正彦 |
| 社会貢献活動 (あしなが育英会) | | 村田 カズ子 |
| 神奈川同窓会創立30周年記念事業のお知らせ | | 石橋 正彦 |
| 第15回映画上映会のお知らせ (七人の侍) | | 寺村 紀美夫 |
| 第59号 (2020/8/18) | | |
| 会長就任のご挨拶 | 神奈川同窓会会長 | 金田 保男 |
| 副会長就任のご挨拶 | 副会長 | 高橋 照夫 |
| 副会長、事務局長就任のご挨拶 | 副会長・事務局長 | 中島 悦子 |
| 会長退任のご挨拶 | 前会長 | 佐栞 愼二 |
| 副会長退任のご挨拶 | 前副会長 | 浅井 公子 |
| 副会長退任のご挨拶 | 前副会長 | 石橋 正彦 |
| 卒業生の言葉：勉強嫌いの勉強法 | | 山崎 正之 |
| ：卒業までの目標と実行 | | 土方 洋次 |
| 修了生の言葉：これからがスタート | | 宮下 美知子 |
| 弘明寺サロン・レポート | | 高橋 照夫 |
| 会員報告：歓びの詩が私の心を共鳴させた～回想 | | 大澤 常雄 |
| 上川孝夫先生特別講演会「激動の世界経済を読む」 | | 植地 勢作 |
| 社会貢献活動 (プラン) | | 石橋 正彦 |
| 社会貢献活動 (あしなが育英会) | | 村田 カズ子 |

歴代波濤編集責任者一覧（敬称略）

| 号 | 発行日 | 会長 | 編集長 | 号 | 発行日 | 会長 | 編集長 |
|--------------|----------------|-------|-------|-------|----------------|-------|-------|
| 創刊 | 90(H 2)年 12/19 | 別所敏明 | 大貫京子 | 第31 | 06(H18)年 04/01 | 五十嵐一成 | 五十嵐一成 |
| 第2 | 91(H 3)年 07/30 | 別所敏明 | 大貫京子 | 第32 | 06(H18)年 09/01 | 笠井政記 | 岡本興和 |
| 第3 | 92(H 4)年 02/10 | 別所敏明 | 大貫京子 | 第33 | 07(H19)年 04/01 | 笠井政記 | 岡本興和 |
| 第4 | 92(H 4)年 09/09 | 加藤あいし | 岩間吉男 | 第34 | 07(H19)年 09/01 | 笠井政記 | 岡本興和 |
| 第5 | 93(H 5)年 02/26 | 加藤あいし | 岩間吉男 | 第35 | 08(H20)年 04/01 | 笠井政記 | 岡本興和 |
| 第6 | 93(H 5)年 08/28 | 加藤あいし | 大貫京子 | 第36 | 08(H20)年 10/01 | 笠井政記 | 岡本興和 |
| 第7 | 94(H 6)年 03/09 | 加藤あいし | 大貫京子 | 第37 | 09(H21)年 04/01 | 笠井政記 | 岡本興和 |
| 第8 | 94(H 6)年 08/25 | 稲葉恒夫 | 岩間吉男 | 第38 | 09(H21)年 10/01 | 笠井政記 | 岡本興和 |
| 第9 | 95(H 7)年 02/25 | 稲葉恒夫 | 松岡和正 | 第39 | 10(H22)年 06/01 | 木村勝紀 | 岡本興和 |
| 第10 | 95(H 7)年 08/28 | 稲葉恒夫 | 森西節子 | *第40 | 10(H22)年 11/01 | 木村勝紀 | 岡本興和 |
| 第11 | 96(H 8)年 02/29 | 稲葉恒夫 | 森西節子 | 第41 | 11(H23)年 07/01 | 木村勝紀 | 岡本興和 |
| 第12 | 96(H 8)年 08/31 | 押山睦生 | 森西節子 | 第42 | 11(H23)年 11/01 | 木村勝紀 | 岡本興和 |
| 第13 | 97(H 9)年 03/01 | 押山睦生 | 森西節子 | 第43 | 12(H24)年 07/07 | 木村勝紀 | 岡本興和 |
| 第14 | 97(H 9)年 09/01 | 押山睦生 | 森西節子 | 第44 | 12(H24)年 11/01 | 木村勝紀 | 岡本興和 |
| 第15 | 98(H10)年 03/01 | 押山睦生 | 森西節子 | 第45 | 13(H25)年 07/01 | 木村勝紀 | 岡本興和 |
| 第16 | 98(H10)年 09/01 | 藤井 輝 | 伊東廣明 | 第46 | 13(H25)年 11/11 | 木村勝紀 | 岡本興和 |
| 第17 | 99(H11)年 03/11 | 藤井 輝 | 伊東廣明 | 第47 | 14(H26)年 07/07 | 木村勝紀 | 岡本興和 |
| 第18 | 99(H11)年 09/01 | 藤井 輝 | 伊東廣明 | 第48 | 14(H26)年 11/11 | 木村勝紀 | 岡本興和 |
| 第19 | 00(H12)年 03/12 | 藤井 輝 | 伊東廣明 | 第49 | 15(H27)年 07/11 | 佐栞慎二 | 岡本興和 |
| 第20 | 00(H12)年 09/01 | 伊東廣明 | 小山佐枝子 | 第50 | 15(H27)年 11/11 | 佐栞慎二 | 永井藤樹 |
| 創立10周年記念誌 同上 | | 伊東廣明 | 森西節子 | 第51 | 16(H28)年 07/16 | 佐栞慎二 | 永井藤樹 |
| 第21 | 01(H13)年 03/01 | 伊東廣明 | 小山佐枝子 | 第52 | 17(H29)年 01/14 | 佐栞慎二 | 永井藤樹 |
| 第22 | 01(H13)年 09/01 | 伊東廣明 | 小山佐枝子 | 第53 | 17(H29)年 07/14 | 佐栞慎二 | 永井藤樹 |
| 第23 | 02(H14)年 03/01 | 伊東廣明 | 小山佐枝子 | 第54 | 18(H30)年 01/13 | 佐栞慎二 | 永井藤樹 |
| 第24 | 02(H14)年 09/22 | 五十嵐一成 | 五十嵐一成 | 第55 | 18(H30)年 07/14 | 佐栞慎二 | 佐藤 敬 |
| 第25 | 03(H15)年 03/30 | 五十嵐一成 | 五十嵐一成 | 第56 | 19(H31)年 01/12 | 佐栞慎二 | 佐藤 敬 |
| 第26 | 03(H15)年 09/01 | 五十嵐一成 | 五十嵐一成 | 第57 | 19(R 1)年 07/12 | 佐栞慎二 | 佐藤 敬 |
| 第27 | 04(H16)年 04/01 | 五十嵐一成 | 五十嵐一成 | 第58 | 20(R 2)年 01/11 | 佐栞慎二 | 佐藤 敬 |
| 第28 | 04(H16)年 09/01 | 五十嵐一成 | 五十嵐一成 | 第59 | 20(R 2)年 08/18 | 金田保男 | 佐藤 敬 |
| 第29 | 05(H17)年 04/01 | 五十嵐一成 | 五十嵐一成 | **第60 | 21(R 3)年 02/吉 | 金田保男 | 佐藤 敬 |
| 第30 | 05(H17)年 09/01 | 五十嵐一成 | 五十嵐一成 | | | | |

(*) : 第40号は創立20周年記念誌合併号

(**) : 第60号は創立30周年記念誌合併号

出典：歴代会長、副会長、その他当時を知る方からの聞き取り及び『波濤』による

2020年9月30日 小田妙子

弘明寺サロン開催の歴史

| 回 | 開催月日 | テーマ | 講師/世話役 |
|---------------------|--------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 2011年（平成23年） | | | |
| 第1回 | 8月17日 | 初会合＝懇談、サロンの運営方針検討＝ | 木村 勝紀会長 |
| 第2回 | 9月23日 | 生きた中小企業論 | 中山 致 |
| 第3回 | 10月19日 | ヨーロッパ旅行について 「古文書」の研究 | 吉原 司郎 中山 致 |
| 第4回 | 11月16日 | 「不思議な国」鉄道 Wonder Land によるこそ | 菅原 次男 |
| 第5回 | 12月21日 | 「幕末日本のフランス語習得」他 | 元放送大学副学長 柏倉 康夫氏 |
| 2012年（平成24年） | | | |
| 第6回 | 2月15日 | 日本の「洋紙」について | 植地 勢作 |
| 第7回 | 3月21日 | 品川宿について | 二村 国太郎氏 |
| 第8回 | 4月18日 | モロッコの旅の思い出／紙の話 | 植地 勢作 |
| 第9回 | 5月16日 | ネズミ以外の動物についてのおはなし | 石橋 正彦 |
| 第10回 | 6月20日 | 幕末福井藩主・松平慶永（春嶽公）を語る | 高橋 榮輔氏 |
| 第11回 | 8月15日 | ペリー来航と開国前後の日本 | 藤井 輝 |
| 第12回 | 9月19日 | 第1・2次南極観測隊の輸送業務に従事して | 片岡 久雄 |
| 第13回 | 10月17日 | 大聖寺藩正徳一揆の研究 | 永井 藤樹 |
| 第14回 | 11月21日 | 歴代同窓会会長との公開座談会 | 稲葉 恒夫／藤井 輝／伊 東 廣明／五十嵐 一成 ／木村 勝紀（兼司会者） |
| 第15回 | 12月19日 | 対決ではなく対話をー日本と中国の相互理解を深めるために何が必要かー | 神奈川学習センター 客員教授 村田 忠禧氏 |
| 2013年（平成25年） | | | |
| 第16回 | 2月19日 | 放送大学講義「観光の新しい潮流と地域振興」を踏まえて | 植地 勢作 |
| 第17回 | 3月19日 | 海外で育った子どもたちの日本への適応 | 安達 美帆子 |
| 第18回 | 4月17日 | 「4月ぶらり旅」飛鳥山散策と3つの博物館見学 | 植地 勢作 |
| 第19回 | 5月15日 | 西オーストラリアの野の花 | 大木 陸夫 |
| 第20回 | 6月19日 | 春の企画行事 「東方見聞録の世界とジャズ喫茶」（あたまとおなかと心にも）と題し、ユーラシア文化館、ギリシャ料理「SUPARTA」、ジャズ喫茶 | 大木 陸夫 |
| 第21回 | 8月21日 | <大連留学体験談> アカシアの大連にさそわれて | 澤村 雅嗣 |
| 第22回 | 9月18日 | 座禅と体性感覚ーサンゴ研究と座禅のかかわりー | 田丸 重男 |
| 第23回 | 11月20日 | 予想を越えた南極クルーズ | 藤田 緑 |
| 第24回 | 12月18日 | 軍記『石山軍鑑』と私、他 | 神宮 滋 |
| 2014年（平成26年） | | | |
| 第25回 | 2月19日 | 中国古代の紙ー徐福は日本に紙を伝えたかー | 植地 勢作 |
| 第26回 | 3月19日 | DVD 上映：HOW DO THEY DO IT？ | 植地 勢作 |
| 第27回 | 4月16日 | 私の富士 | 佐栗 慎二 |
| 第28回 | 6月16日 | 春の行事：味の素川崎工場ー河港水門ー（昼食：「恵の本」）ー川崎大師 | 大木 陸夫 |
| 第29回 | 8月16日 | 映画上映会：『グレン・ミラー物語』 | 寺村 紀美夫 |

| | | | |
|---------------------|--------|-------------------------------------------|----------------------------|
| 第30回 | 9月17日 | 自然の探求 海藻の研究：わたしの場合 | 高橋 昭善 |
| 第31回 | 10月15日 | 民家園見学と講演 | 民家園：近藤 達也氏 |
| 第32回 | 11月19日 | ‘おもてなし’の原点・茶の湯 | 植地 勢作 |
| 第33回 | 12月17日 | マダガスカルの自然と人びと | 神奈川学習センター客員 教授 有馬 眞氏 |
| 2015年（平成27年） | | | |
| 第34回 | 2月15日 | 映画上映会：『南極物語』 | 寺村 紀美夫 |
| 第35回 | 3月18日 | ストック社会における望ましい住宅像 | 浅井 公子 |
| 第36回 | 4月11日 | 野外型面接授業の紹介 ～野外型面接授業は楽しい～ | 石橋 正彦 |
| 第37回 | 5月20日 | 海辺の観察：海藻 | 高橋 昭善 |
| 第38回 | 6月12日 | 企画行事「元気に笑いましょう」 ＝横浜能楽堂、横浜にぎわい座＝ | 大木 陸夫 |
| 第39回 | 8月8日 | 映画上映会：ミュージカル 『サウンド・オブ・ミュージック』 | 寺村 紀美夫 |
| 第40回 | 9月19日 | なぜ、いま『紙芝居』？ | 平松 英子 |
| 第41回 | 10月10日 | サリン事件等被害者への後遺症ケア支援・活動 | 山城 洋子 |
| 第42回 | 11月26日 | 企画行事：みなとみらいクラシッククルーズ | 大木 陸夫 |
| 第43回 | 12月16日 | 日本は「島国」か「海洋国家」か？ (兼忘年会) | 放送大学神奈川学習セン ター所長 池田 龍彦氏 |
| 2016年（平成28年） | | | |
| 第44回 | 2月13日 | 映画上映会：『ビルマの豎琴』（原作：竹山道雄） | 寺村 紀美夫 |
| 第45回 | 4月9日 | 大田区で町工場を40年 | 中山 致 |
| 第46回 | 6月11日 | 「至誠天に通ず」 2015年ノーベル生理学・医学賞 受賞者 大村智博士の業績 | 石橋 正彦 |
| 第47回 | 8月13日 | 映画上映会：『風と共に去りぬ』 | 寺村 紀美夫 |
| 第48回 | 9月17日 | 「徳恵姫」（日本）「徳恵翁主덕혜옹주」（韓国） 2冊の本から学ぶ | 村田 カズ子 |
| 第49回 | 10月15日 | がん体験と教訓 | 木村 勝紀 |
| 第50回 | 12月10日 | 特別講演会兼忘年会第61回 司馬遼太郎『翔ぶが如く』で読む西南戦争 | 神奈川学習センター客員 教授 山田 俊治氏 |
| 2017年（平成29年） | | | |
| 第51回 | 2月11日 | 映画上映会：『劔岳 点の記』 | 寺村 紀美夫 |
| 第52回 | 3月11日 | 『仮名手本忠臣蔵』-お軽勘平 DVD鑑賞会 | 佐栞 慎二 |
| 第53回 | 4月6日 | ぶらり散歩東海道・戸塚宿 | 佐栞 慎二 |
| 第54回 | 6月13日 | 知る喜びの彼方に『第九演奏会までの軌跡』 | 馬場 信一 |
| 第55回 | 8月12日 | 映画上映会『タイタニック』 | 寺村 紀美夫 |
| 第56回 | 9月9日 | 写真で巡る壱岐・対馬の旅 | 永井 藤樹 |
| 第57回 | 11月11日 | サクッと肢不自由者の余暇外出と自尊感情 | 高橋 知成 |
| 第58回 | 12月9日 | 東京湾、海難への備え、そして海と船の文化 | 角 洋一先生 |
| 2018年（平成30年） | | | |
| 第59回 | 2月10日 | 映画上映会：『細雪』 | 寺村 紀美夫 |
| 第60回 | 6月10日 | 佐藤正雄のシベリア抑留記から読み解くシベリア抑留 | 今井 勇 |
| 第61回 | 8月23日 | 映画上映会『禁じられた遊び』 | 寺村 紀美夫 |

| | | | |
|-----------------------------|-----------|---------------------------------|---------|
| 第 62 回 | 9 月 8 日 | 藤原銀次郎論 | 植地 勢作 |
| 第 63 回 | 10 月 5 日 | 地域に於ける科学教育支援活動報告 | 神谷 邦子 |
| 第 64 回 | 12 月 14 日 | 客員教授特別講演会と忘年会 | 高橋 和子先生 |
| 2019 年（平成 31 年/令和元年） | | | |
| 第 65 回 | 1 月 12 日 | 映画観賞会とフリートーキング | 石橋 正彦 |
| 第 66 回 | 2 月 9 日 | 映画上映会 『黒部の太陽』 | 寺村 紀美夫 |
| 第 67 回 | 8 月 3 日 | 映画上映会 『ドクトルジバゴ』 | 寺村 紀美夫 |
| 第 68 回 | 9 月 7 日 | グランドスラムを超えて –これまでの回想と生涯学習– | 杉山 秀雄 |
| 第 69 回 | 10 月 11 日 | 太極極やってみよう –体を動かし健康維持を目指しましょう | 澤村 雅嗣 |
| 第 70 回 | 11 月 7 日 | 横浜近代産業の始まり –ジェラールと 仏蘭西瓦– | 坂上 克弘氏 |
| 第 71 回 | 12 月 7 日 | 客員教授特別講演会と忘年会 | 上川 孝夫先生 |

弘明寺サロン 10 周年を振り返る

高橋照夫

2011 年 8 月 7 日の第 1 回弘明寺サロンから今年で 10 周年を迎えました。サロンとは 17 ～ 18 世紀のフランス上流社会の教養人が会話を楽しんだり、文学作品を発表したりする交流の場を指します。

弘明寺サロンは第 9 代会長の故木村勝紀さんが、2011 年度の同窓会活動方針で 3 本の柱を提唱された際、「誇りと絆を結ぶ同窓会」の実感の機会を設け会員の皆様と直接お会いして話し合ってみたい] (波濤 42 号「弘明寺サロンへの思い」木村勝紀から転載) が原点となっています。

10 年間で開催は 70 回を重ねました。全内容を時系列で一覧にまとめましたが、おおまかに分類してみますと

- | | |
|-----------------------------------|------|
| ① 会員の報告、発表 | 38 件 |
| ② 映画上映会とのコラボ 会内同好会の映画鑑賞と懇親会 | 11 件 |
| ③ 放送大学諸先生の講演 同窓会主催の客員教授講演会と忘年会 | 8 件 |
| ④ 会員紹介の外部講師 | 8 件 |
| ⑤ その他 | 5 件 |

内容は、施設見学、工場見学、シンポジウムなど、当初の想定より幅が広がっています。

スタートの段階では、1, 7 月の試験月を除き、第 3 水曜日の午後（年 10 回開催）となっておりましたが、現在、定例役員会後を基本とし、開催日は固定しておりません。

本来の趣旨から、ご参加いただいた皆様と会話による交流を図るべく、センター内施設（準備室）での茶話会や場所を変えての懇親会をセットしております。

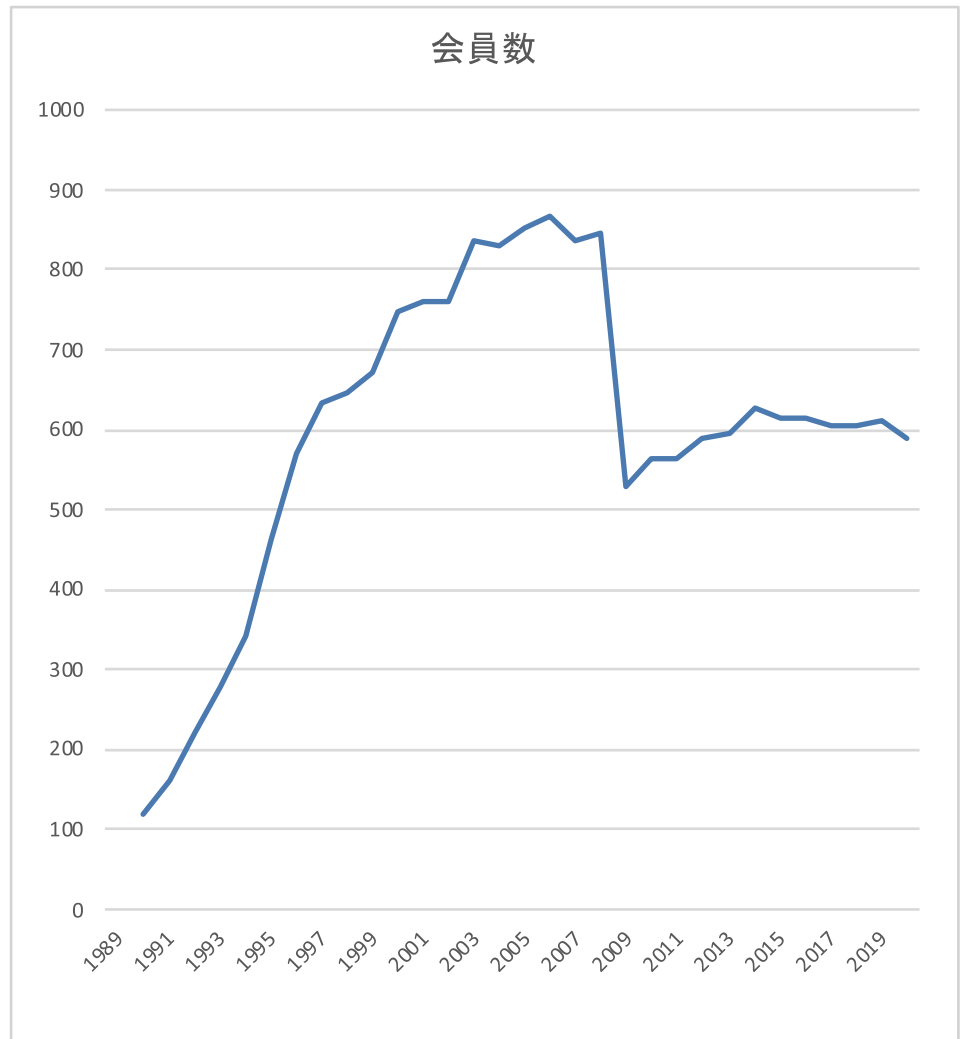
また、会員の発表、報告について卒業研究、修士論文の発表を呼び掛けておりますが、10 年間で数件しかありませんでした。

他の同窓会の事例を見てみますと、学習センターとの共催形式で、研究発表会を定例化し、論文集を発刊しているところもあります。神奈川学習センターでは、サークル内部での発表にとどまっておりますので、サロンで定例化して発表の場をセンター所属の全学生に提供できないかと思っております。

2020 年はコロナ禍の関係で、2 月のサロン「横須賀散策」を急遽延期といたしました。今のところ見通しは立っておりませんが、一日も早い再開を願っております。

神奈川同窓会会員数の推移

| 西暦 | 和暦 | 会員数 |
|------|------|-----|
| 1989 | 平成元年 | |
| 1990 | 平成2 | 119 |
| 1991 | 平成3 | 160 |
| 1992 | 平成4 | 221 |
| 1993 | 平成5 | 279 |
| 1994 | 平成6 | 341 |
| 1995 | 平成7 | 462 |
| 1996 | 平成8 | 571 |
| 1997 | 平成9 | 632 |
| 1998 | 平成10 | 645 |
| 1999 | 平成11 | 671 |
| 2000 | 平成12 | 749 |
| 2001 | 平成13 | 760 |
| 2002 | 平成14 | 761 |
| 2003 | 平成15 | 835 |
| 2004 | 平成16 | 830 |
| 2005 | 平成17 | 851 |
| 2006 | 平成18 | 867 |
| 2007 | 平成19 | 836 |
| 2008 | 平成20 | 847 |
| 2009 | 平成21 | 529 |
| 2010 | 平成22 | 563 |
| 2011 | 平成23 | 563 |
| 2012 | 平成24 | 589 |
| 2013 | 平成25 | 596 |
| 2014 | 平成26 | 627 |
| 2015 | 平成27 | 616 |
| 2016 | 平成28 | 614 |
| 2017 | 平成29 | 605 |
| 2018 | 平成30 | 605 |
| 2019 | 令和元年 | 610 |
| 2020 | 令和2 | 590 |



2009年度(平成21年度)会員数の減少は、会則改訂により
永年会員制から年会費制度に変更。
会費2年以上未納者は自然退会としたことによる。

基準会員数：当該年度の4月1日現在とした。

出典：『波濤』40号神奈川同窓会会員数の推移

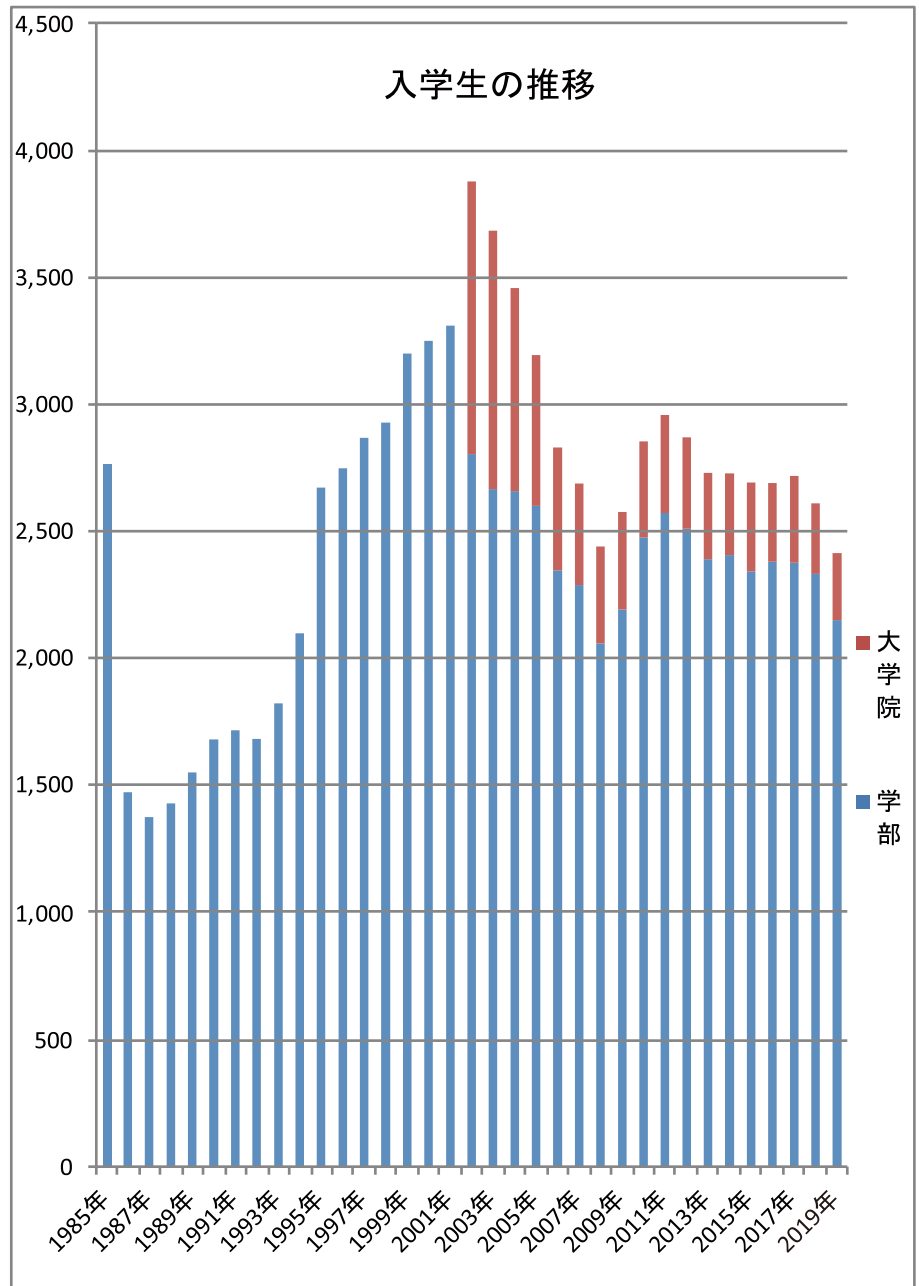
：神奈川同窓会「事務局ノート」

神奈川学習センター入学生の推移

入学生

(単位:人)

| 年度 | 学部 | 大学院 | 合計 |
|-------|--------|-------|--------|
| 1985年 | 2,763 | | 2,763 |
| 1986年 | 1,476 | | 1,476 |
| 1987年 | 1,380 | | 1,380 |
| 1988年 | 1,433 | | 1,433 |
| 1989年 | 1,554 | | 1,554 |
| 1990年 | 1,685 | | 1,685 |
| 1991年 | 1,720 | | 1,720 |
| 1992年 | 1,686 | | 1,686 |
| 1993年 | 1,825 | | 1,825 |
| 1994年 | 2,102 | | 2,102 |
| 1995年 | 2,673 | | 2,673 |
| 1996年 | 2,749 | | 2,749 |
| 1997年 | 2,868 | | 2,868 |
| 1998年 | 2,928 | | 2,928 |
| 1999年 | 3,200 | | 3,200 |
| 2000年 | 3,249 | | 3,249 |
| 2001年 | 3,309 | | 3,309 |
| 2002年 | 2,805 | 1,072 | 3,877 |
| 2003年 | 2,667 | 1,016 | 3,683 |
| 2004年 | 2,660 | 798 | 3,458 |
| 2005年 | 2,602 | 591 | 3,193 |
| 2006年 | 2,349 | 482 | 2,831 |
| 2007年 | 2,291 | 399 | 2,690 |
| 2008年 | 2,062 | 380 | 2,442 |
| 2009年 | 2,194 | 383 | 2,577 |
| 2010年 | 2,478 | 377 | 2,855 |
| 2011年 | 2,573 | 386 | 2,959 |
| 2012年 | 2,512 | 359 | 2,871 |
| 2013年 | 2,392 | 340 | 2,732 |
| 2014年 | 2,408 | 322 | 2,730 |
| 2015年 | 2,345 | 349 | 2,694 |
| 2016年 | 2,383 | 308 | 2,691 |
| 2017年 | 2,378 | 342 | 2,720 |
| 2018年 | 2,334 | 278 | 2,612 |
| 2019年 | 2,153 | 263 | 2,416 |
| 累計 | 82,186 | 8,445 | 90,631 |



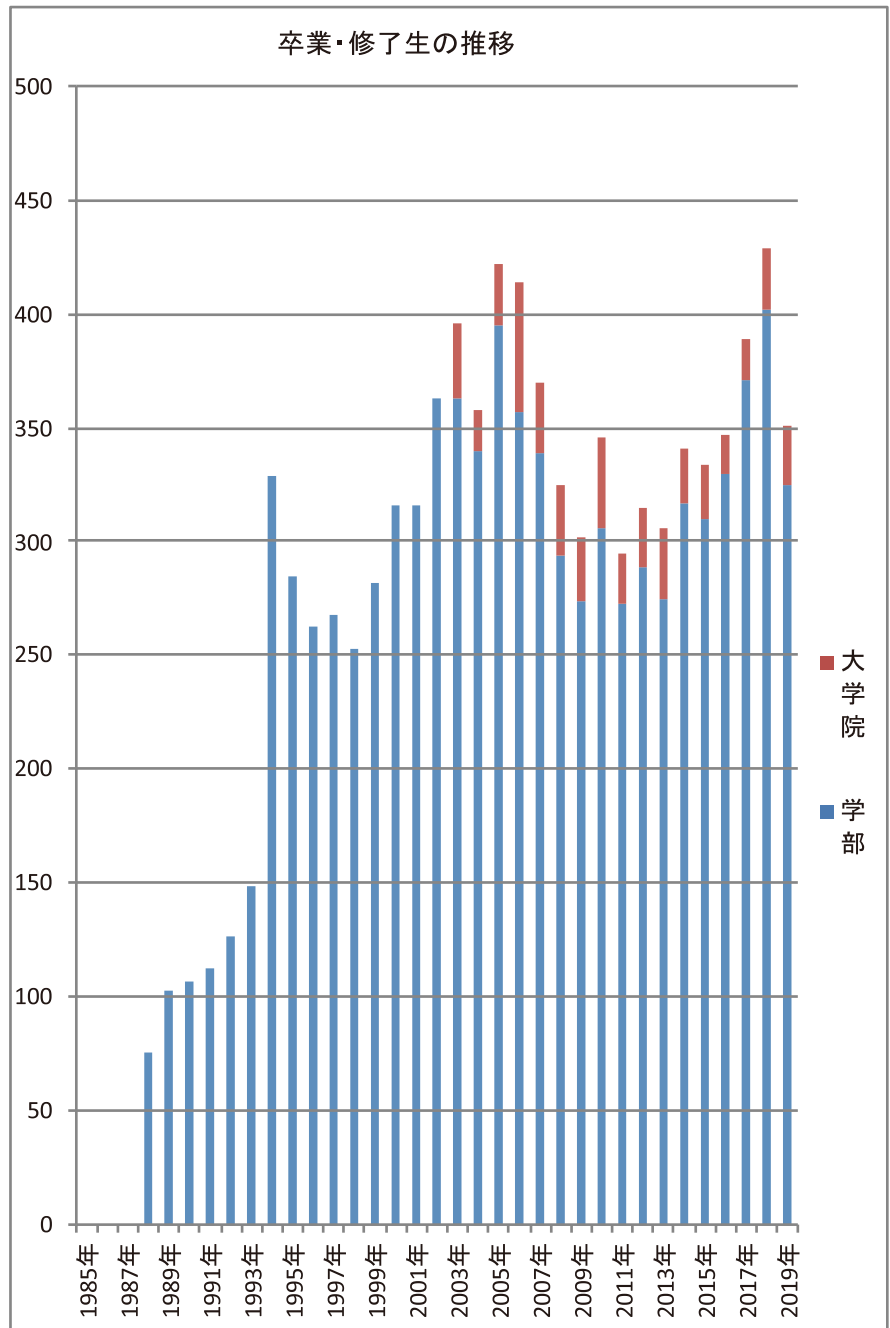
出典: 放送大学神奈川学習センター提供

神奈川学習センター卒業・修了生の推移

卒業・修了生

(単位:人)

| 年度 | 学部 | 大学院 | 合計 |
|-------|------|-----|------|
| 1985年 | | | 0 |
| 1986年 | | | 0 |
| 1987年 | | | 0 |
| 1988年 | 76 | | 76 |
| 1989年 | 103 | | 103 |
| 1990年 | 107 | | 107 |
| 1991年 | 113 | | 113 |
| 1992年 | 127 | | 127 |
| 1993年 | 149 | | 149 |
| 1994年 | 329 | | 329 |
| 1995年 | 285 | | 285 |
| 1996年 | 263 | | 263 |
| 1997年 | 268 | | 268 |
| 1998年 | 253 | | 253 |
| 1999年 | 282 | | 282 |
| 2000年 | 316 | | 316 |
| 2001年 | 316 | | 316 |
| 2002年 | 363 | | 363 |
| 2003年 | 363 | 33 | 396 |
| 2004年 | 340 | 18 | 358 |
| 2005年 | 395 | 27 | 422 |
| 2006年 | 357 | 57 | 414 |
| 2007年 | 339 | 31 | 370 |
| 2008年 | 294 | 31 | 325 |
| 2009年 | 274 | 28 | 302 |
| 2010年 | 306 | 40 | 346 |
| 2011年 | 273 | 22 | 295 |
| 2012年 | 289 | 26 | 315 |
| 2013年 | 275 | 31 | 306 |
| 2014年 | 317 | 24 | 341 |
| 2015年 | 310 | 24 | 334 |
| 2016年 | 330 | 17 | 347 |
| 2017年 | 371 | 18 | 389 |
| 2018年 | 402 | 27 | 429 |
| 2019年 | 325 | 26 | 351 |
| 累計 | 8910 | 480 | 9390 |



出典: 放送大学神奈川学習センター提供

編集後記

2020 年 10 月、放送大学神奈川同窓会は創立 30 周年を迎えました。これを記念し、創立 30 周年記念事業の一つとして、『波濤』第 60 号を記念誌として発行することになり、2019 年 5 月より他の記念事業と共に準備を進め、同年 10 月には波濤編集委員による第 1 回編集会議を行いました。

しかし 2020 年 2 月の編集会議を最後に、新型コロナウイルス（COVID-19）感染防止のため神奈川学習センターの利用ができなくなり、予定していた 5 月の通常総会、30 周年記念式典、記念講演会、祝賀会等の行事も全て中止となり、その後の行事も中止となったため掲載内容を大幅に見直すことになりました。

この記念誌を発行するにあたり特別企画として、会員の皆様の声を聞かせていただきたく、早くから「一言メッセージ」の掲載を予定し 6 月に募集しました。その結果予想を超える多くの皆様からメッセージをいただくことができ、たくさんの原稿が集まりました。編集委員一同大変嬉しい気持ちでその後の編集を進めることができました。会員の皆様ご協力本当に有難うございました。

7 月には書面総会により役員体制も変わり、この記念誌は「30 周年記念誌委員会」として発行することになりましたが、対面での会議が開催できないことから、Zoom による Web 会議とメール交信により進め、発行の運びとなりました。

この記念誌の発行にあたりましては、神奈川学習センター福富所長、藤井事務長をはじめ濱田元所長、池田元所長、そして北野同窓会連合会会長の皆様にもご執筆いただきました。30 周年記念誌委員会一同心より厚く御礼申し上げます。

2021 年 2 月 30 周年記念誌委員会 佐藤 敬

創立 30 周年記念誌『波濤』第 60 号

発行 放送大学神奈川同窓会 30 周年記念誌委員会

責任者 金田 保男

発行日 2021 年 2 月吉日

編集委員 佐藤 敬（編集委員長）

金田 保男 永井 藤樹

高橋 照夫 植地 勢作

中島 悦子 安達 美帆子

小田 妙子 佐棗 慎二

石橋 正彦 浅井 公子

飯塚 武夫

発行協力 株式会社 デザイン印刷長島

電話：045 (252) 2881 FAX：045 (252) 2915

E-mail: nagashima@dezanaga.com



放送大学
神奈川県同窓会